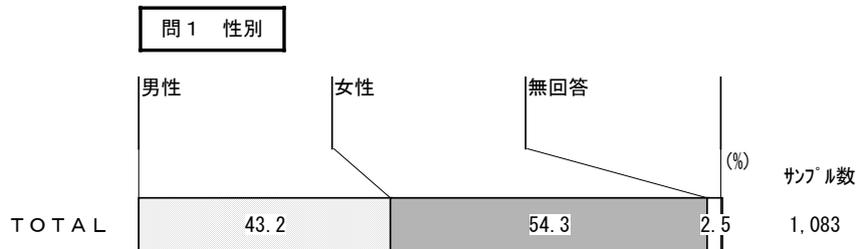


Ⅱ 一般市民調査

1 基本属性

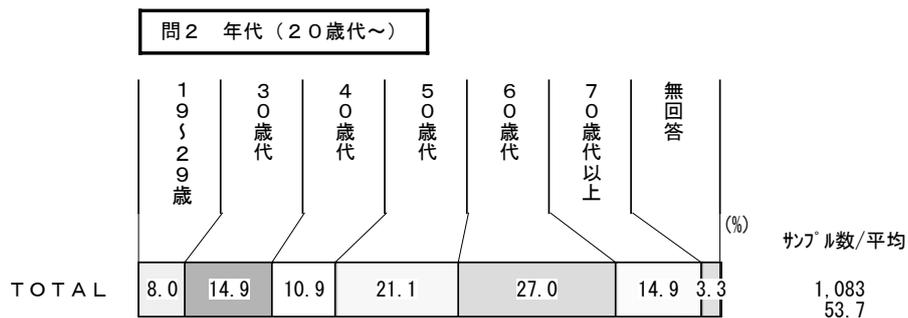
(1) 性別 (問1)

有効回答が得られた1,083人のうち、性別は「男性」が43.2%、「女性」が54.3%で「女性」がやや多い。



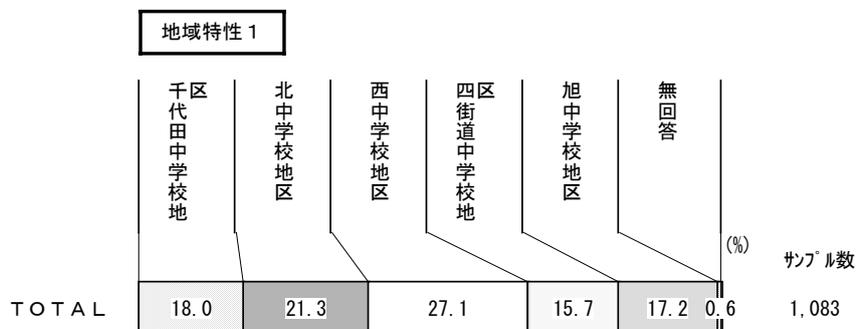
(2) 年代 (問2)

「19～29歳」が8.0%、「30歳代」が14.9%、「40歳代」が10.9%、「50歳代」が21.1%、「60歳代」が27.0%、「70歳代以上」が14.9%である。平均年齢は53.7歳である。



(3) 居住地域 (問3)

居住地域を中学校区で見ると、「千代田中学校地区」が18.0%、「北中学校地区」が21.3%、「西中学校地区」が27.1%、「四街道中学校地区」が15.7%、「旭中学校地区」が17.2%である。



千代田中学校地区	亀崎、物井、長岡、内黒田、千代田、池花
北中学校地区	栗山、萱橋、大日(緑ヶ丘・桜ヶ丘以外)、鹿渡、つくし座、さちが丘
西中学校地区	下志津新田、四街道、大日(緑ヶ丘・桜ヶ丘)、鹿放ヶ丘、さつきヶ丘
四街道中学校地区	和良比、みのり町、美しが丘、めいわ
旭中学校地区	山梨、吉岡、小名木、成山・中台・中野、南波佐間・上野・和田、旭が丘、みそら、鷹の台

※中学校区については、便宜上地域名で区分しており、実際の中学校区とは異なる場合がある。

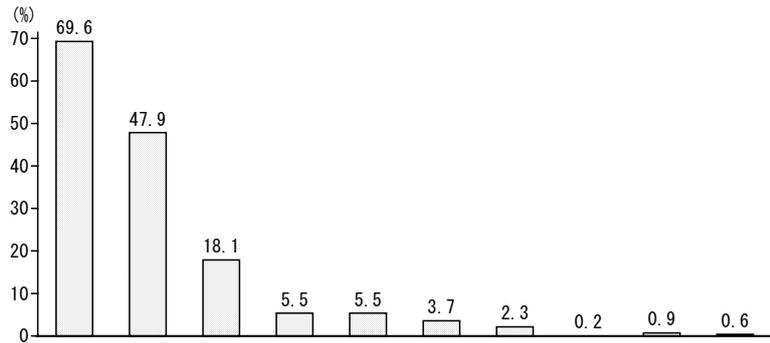
(4) 現在同居している人 (問4)

現在同居している人は、「配偶者」が69.6%で最も多い。次いで「息子、娘（その配偶者も含む）」が47.9%、「父、母」が18.1%である。「ひとり暮らし」は5.5%である。

性別・年代別では、男女ともに19歳～29歳では、他の年代に比べ、「父、母」「兄弟姉妹」「祖父、祖母」と同居している割合が高い。40歳代から60歳代では男女とも「配偶者（夫または妻）」との同居が7割以上である。男性70歳代以上では「配偶者（夫または妻）」が88.8%であるのに対し、女性70歳代以上では、「配偶者（夫または妻）」は60.6%で、「ひとり暮らし」が14.1%である。

問4 現在同居している人（複数回答）

□ TOTAL n=1,083

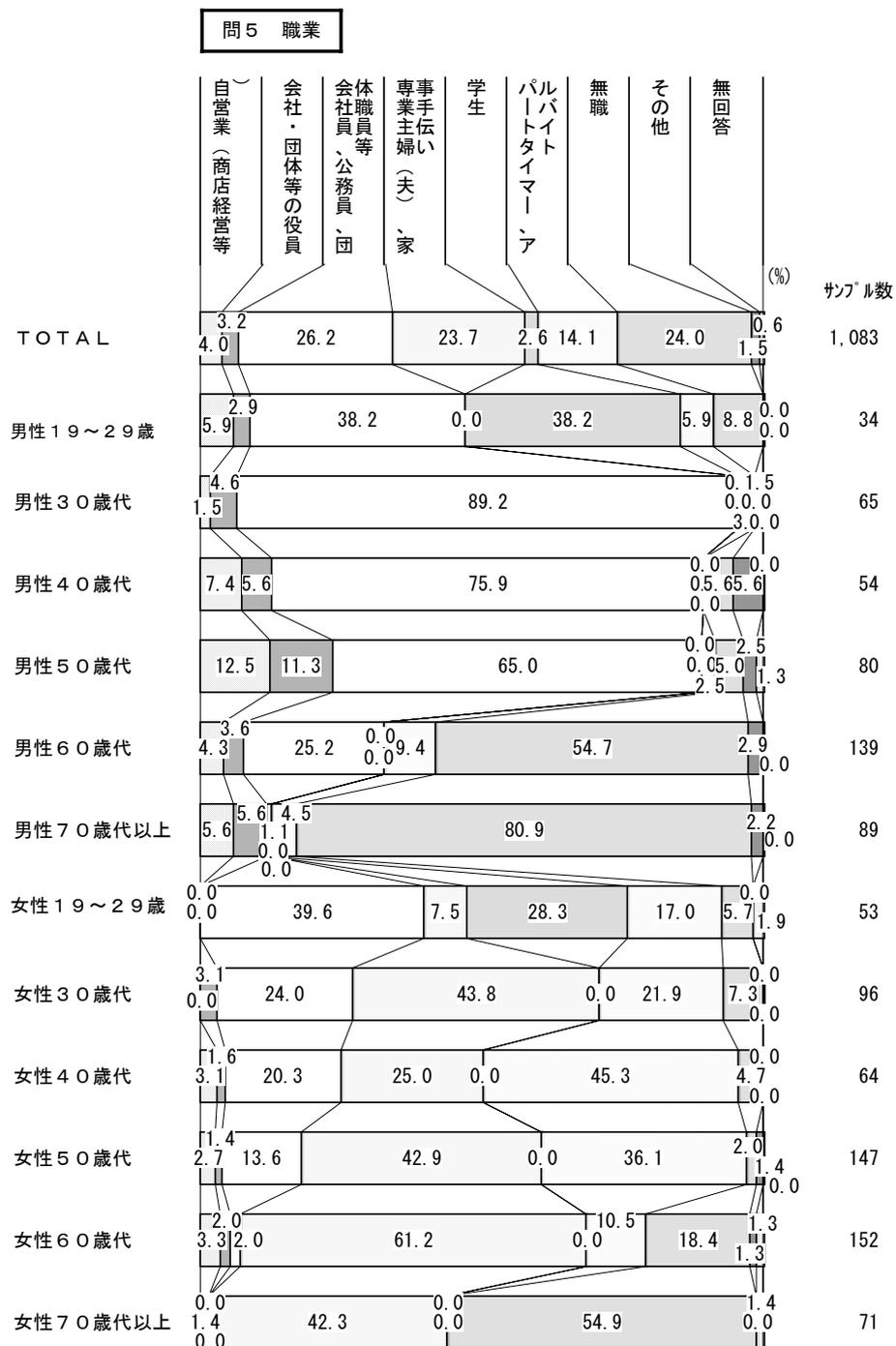


性別・年代別	n	同居している人									
		2 配偶者 (夫または妻)	3 息子、娘 (その配偶者を含む)	4 父、母	1 ひとり暮らし	6 兄弟姉妹	7 孫	5 祖父、祖母	8 その他の親戚	9 その他	10 無回答
0 TOTAL	1,083	69.6	47.9	18.1	5.5	5.5	3.7	2.3	0.2	0.9	0.6
1 男性19～29歳	34	8.8	8.8	73.5	8.8	38.2	0.0	17.6	0.0	0.0	2.9
2 男性30歳代	65	53.8	49.2	38.5	6.2	1.5	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0
3 男性40歳代	54	79.6	74.1	25.9	1.9	3.7	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0
4 男性50歳代	80	73.8	67.5	6.3	8.8	1.3	1.3	1.3	0.0	0.0	0.0
5 男性60歳代	139	88.5	38.1	6.5	2.9	2.9	2.9	0.0	0.7	0.7	0.7
6 男性70歳代以上	89	88.8	37.1	1.1	2.2	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0
7 女性19～29歳	53	13.2	11.3	81.1	1.9	45.3	0.0	17.0	1.9	3.8	0.0
8 女性30歳代	96	56.3	59.4	36.5	2.1	9.4	0.0	2.1	0.0	2.1	0.0
9 女性40歳代	64	76.6	71.9	18.8	1.6	0.0	0.0	1.6	0.0	3.1	0.0
10 女性50歳代	147	79.6	63.3	10.9	4.8	1.4	6.8	0.7	0.0	0.0	0.0
11 女性60歳代	152	80.9	40.8	4.6	5.9	1.3	4.6	0.7	0.0	0.0	0.7
12 女性70歳代以上	71	60.6	40.8	1.4	14.1	1.4	14.1	0.0	0.0	2.8	0.0

(5) 職業 (問5)

有職者の中では、「会社員、公務員、団体職員等」が 26.2%、「パートタイマー、アルバイト」が 14.1%、「自営業 (商店経営等)」が 4.0%、「会社・団体等の役員」が 3.2%である。また、「専業主婦 (夫)、家事手伝い」が 23.7%、「学生」が 2.6%、「無職」が 24.0%である。

「会社員、公務員、団体職員等」は 19~29 歳では男女ともに約 4 割であるのに対し、男性 30 歳代では 89.2%、男性 40 歳代では 75.9%、男性 50 歳代では 65.0%まで増加している。一方、女性 30 歳代では「会社員、公務員、団体職員」が 24.0%に対し、「専業主婦 (夫)、家事手伝い」が 43.8%を占める。女性 40 歳代では、「パートタイマー、アルバイト」が 45.3%で就労している割合が高い。女性 50 歳代では、「専業主婦 (夫)、家事手伝い」が約 4 割、女性 60 歳代では「専業主婦 (夫)、家事手伝い」が約 6 割である。

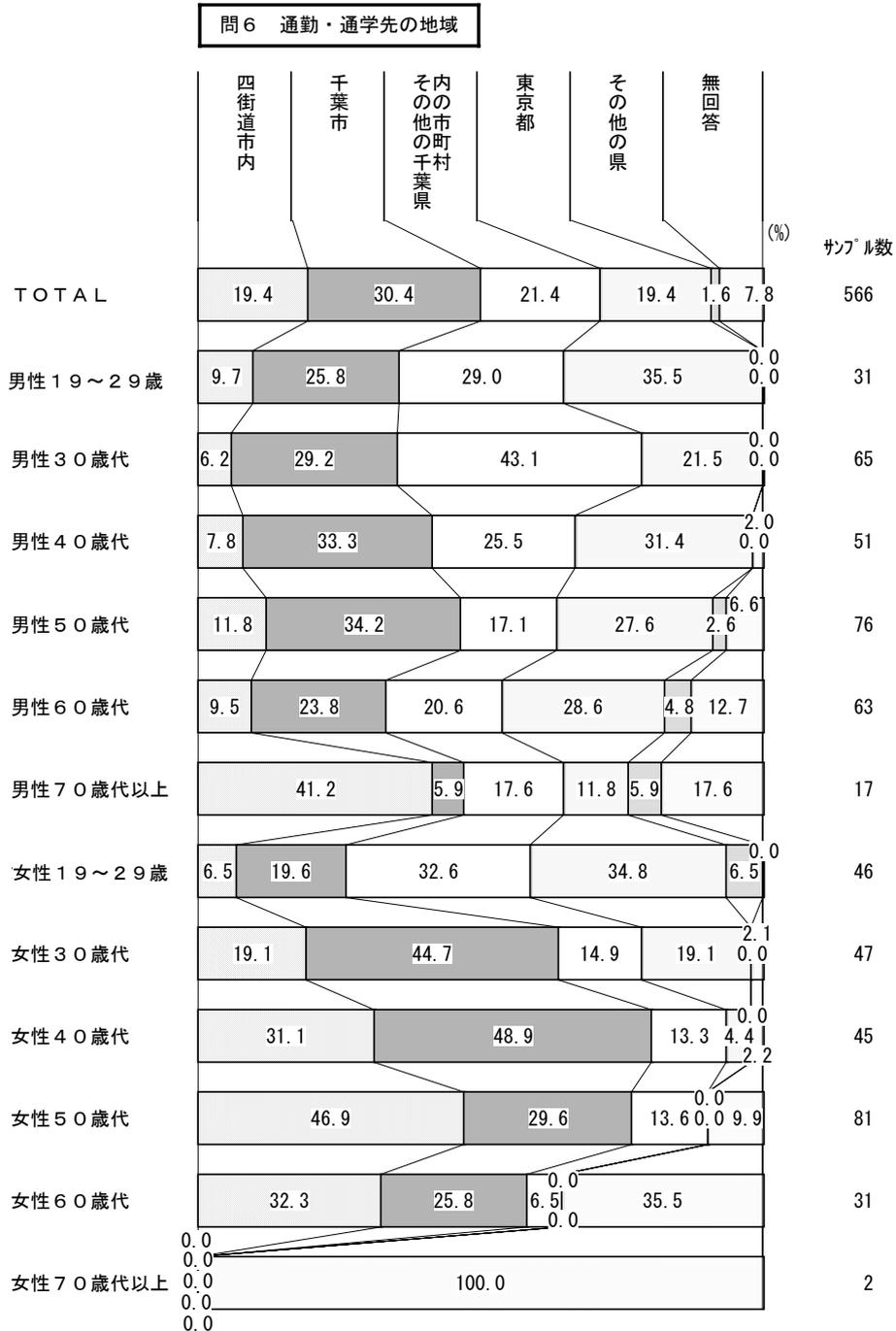


(6) 通勤・通学先の地域 (問6)

通勤・通学をしている人に、通勤通学先の地域をたずねたところ、「千葉市」が30.4%で最も多く、「四街道市内」(19.4%)、「その他の千葉県内の市町村」(21.4%)、「東京都」(19.4%)となっている。

男性は女性に比べ、「東京都」「その他の千葉県内の市町村」への通勤・通学をしている割合が高い。一方、女性では「四街道市内」「千葉市」など、近隣への通勤・通学が多い。

また、女性においては、年齢が高くなるにつれて、「四街道市内」「千葉市」など近隣への通勤・通学者の割合が高い。



(7) 通勤・通学の交通手段 (問7)

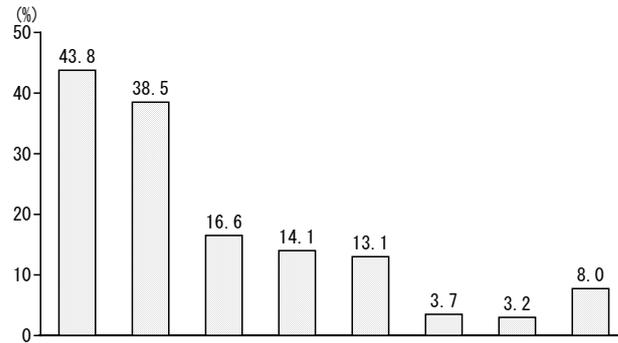
通勤・通学の手段としては、「自家用車」が43.8で最も多く、次いで「鉄道」が38.5%、「自転車」が16.6%、「徒歩」が14.1%、「バス」が13.1%である。

男性19～29歳では「自転車」(32.3%)、「徒歩」(22.6%)、「バイク」(16.1%)が他より多い。男性30歳代では「自家用車」(55.4%)が他より多い。男性60歳代では「鉄道」(50.8%)が他よりも多い。

女性19～29歳では、「鉄道」(76.1%)、「徒歩」(21.7%)、「バス」(21.7%)が他より多い。女性では30歳代から50歳代までは「自家用車」の割合が高く、女性40歳代では「自転車」(28.9%)が他よりも割合が高い。

問7 通勤・通学の交通手段 (複数回答)

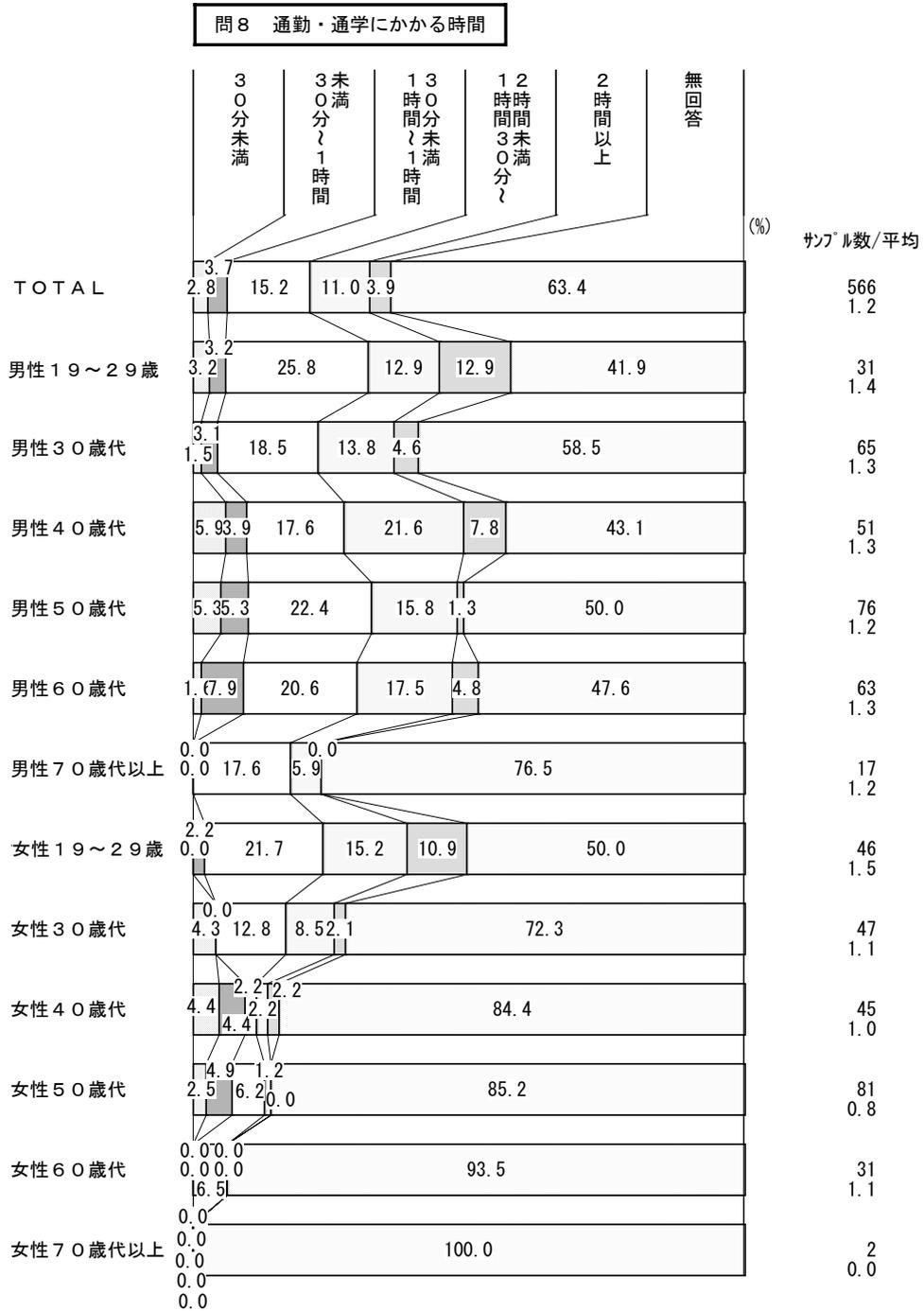
□ TOTAL n=566



性別・年代別	n	4	6	2	1	5	3	7	8
		自家用車	鉄道	自転車	徒歩	バス	バイク	その他	無回答
0 TOTAL	566	43.8	38.5	16.6	14.1	13.1	3.7	3.2	8.0
1 男性19～29歳	31	35.5	61.3	32.3	22.6	9.7	16.1	6.5	0.0
2 男性30歳代	65	55.4	41.5	15.4	7.7	10.8	3.1	1.5	0.0
3 男性40歳代	51	39.2	47.1	7.8	11.8	7.8	5.9	9.8	2.0
4 男性50歳代	76	39.5	43.4	19.7	15.8	15.8	1.3	1.3	9.2
5 男性60歳代	63	42.9	50.8	6.3	12.7	22.2	3.2	1.6	11.1
6 男性70歳代以上	17	41.2	23.5	17.6	17.6	5.9	0.0	0.0	17.6
7 女性19～29歳	46	23.9	76.1	15.2	21.7	21.7	4.3	2.2	0.0
8 女性30歳代	47	57.4	38.3	17.0	10.6	14.9	2.1	2.1	2.1
9 女性40歳代	45	53.3	26.7	28.9	15.6	8.9	4.4	2.2	2.2
10 女性50歳代	81	51.9	13.6	18.5	14.8	11.1	1.2	2.5	8.6
11 女性60歳代	31	35.5	6.5	9.7	12.9	6.5	6.5	3.2	38.7
12 女性70歳代以上	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

(8) 通勤・通学時間 (問8)

通勤・通学にかかる時間では「1時間～1時間30分未満」が最も多く15.2%、次いで「1時間30分～2時間未満」が11.0%、「2時間以上」が3.9%、「30分～1時間未満」が3.7%、「30分未満」が2.8%である。

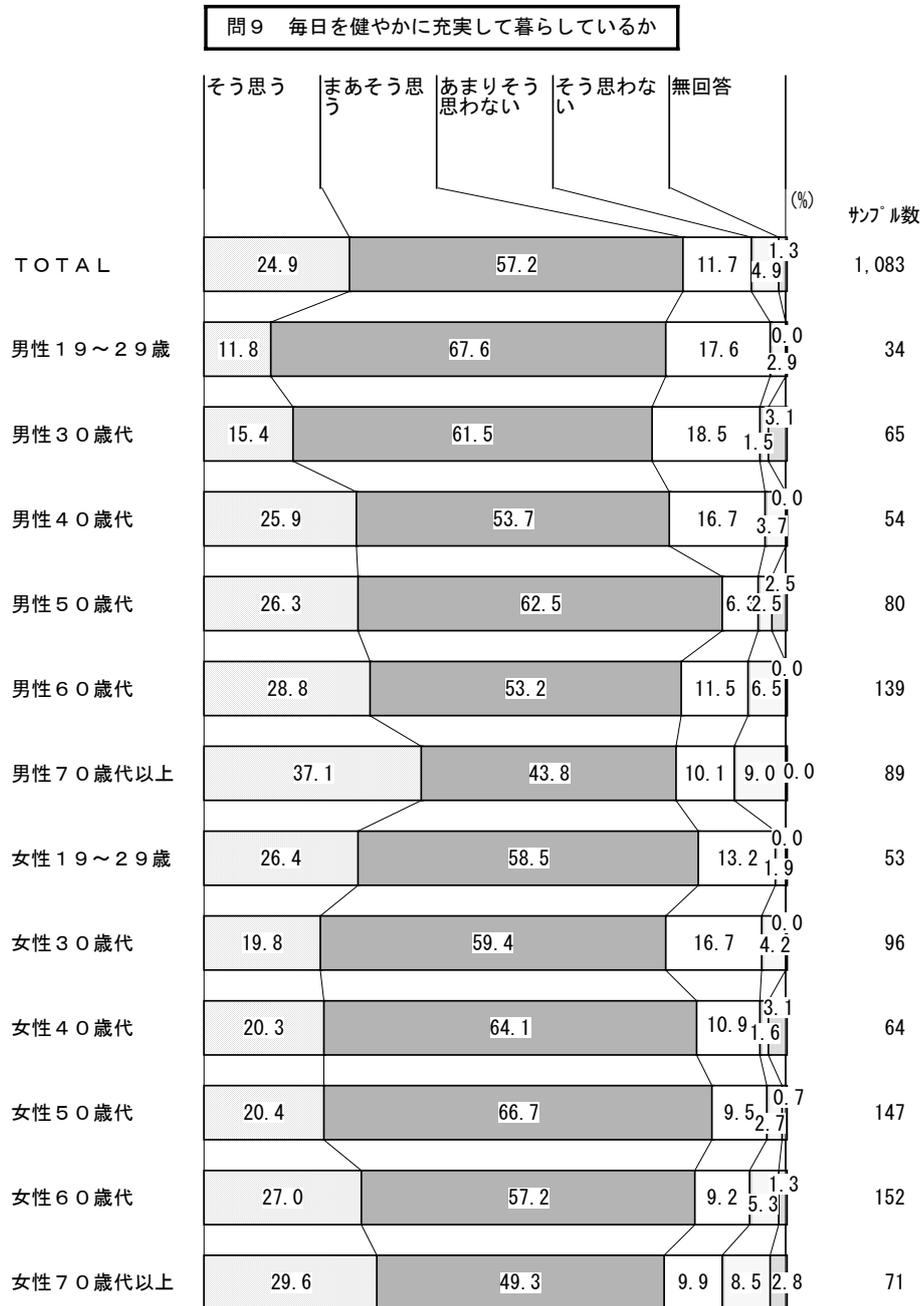


2 健康状態・健康について

(1) 健やかで充実した暮らしへの認識 (問9)

「そう思う」が24.9%、「まあそう思う」が57.2%で、合わせて82.1%が肯定的な認識を持っている。

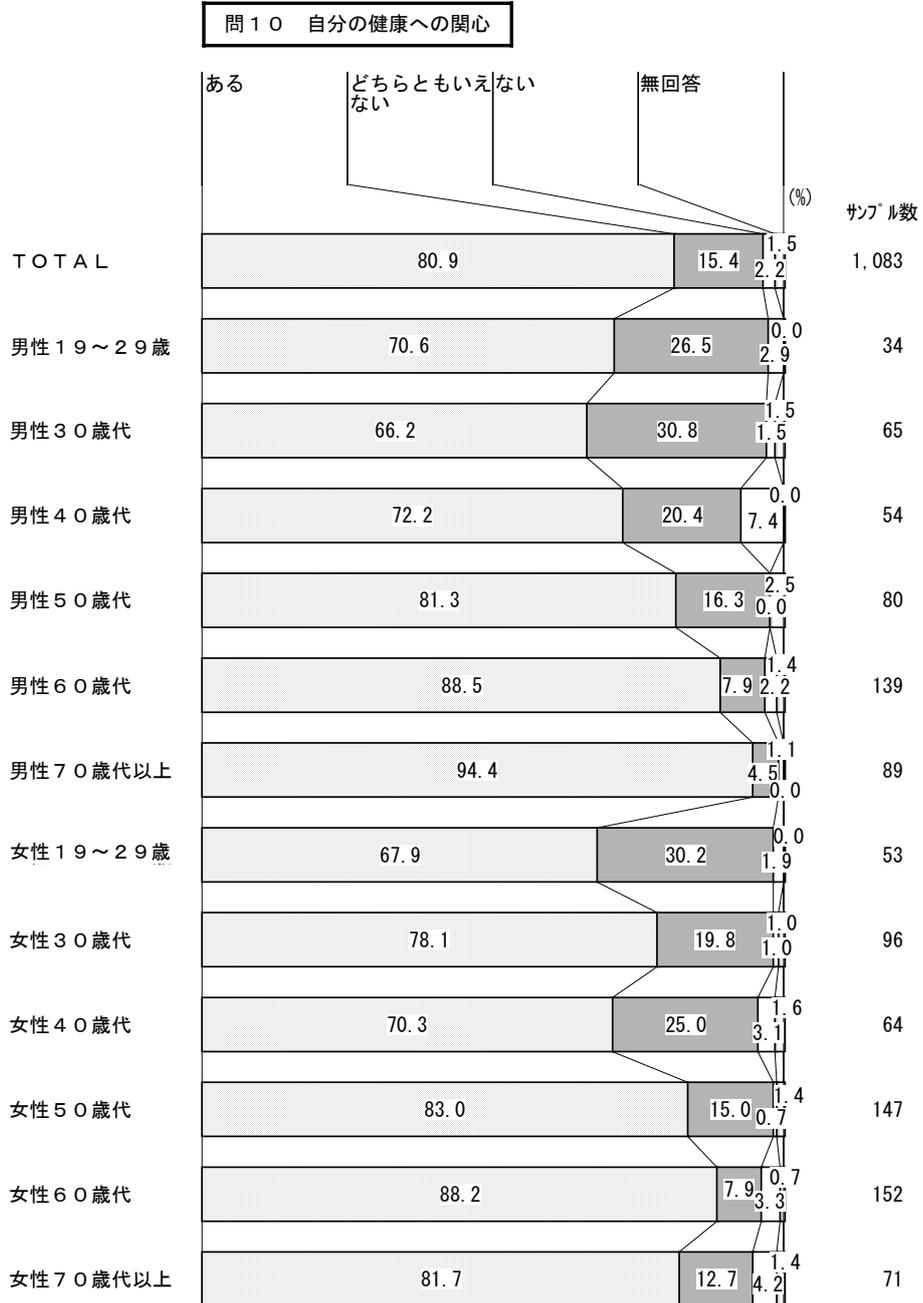
男性では年齢が高いほど、「そう思う」の割合が高い。



(2) 自分自身の健康への関心 (問 10)

自分自身の健康への関心は、「ある」が 80.9%、「どちらともいえない」が 15.4%、「ない」が 2.2%である。

男性 30 歳代と女性 19～29 歳では、「ある」の割合が他よりもやや低い。



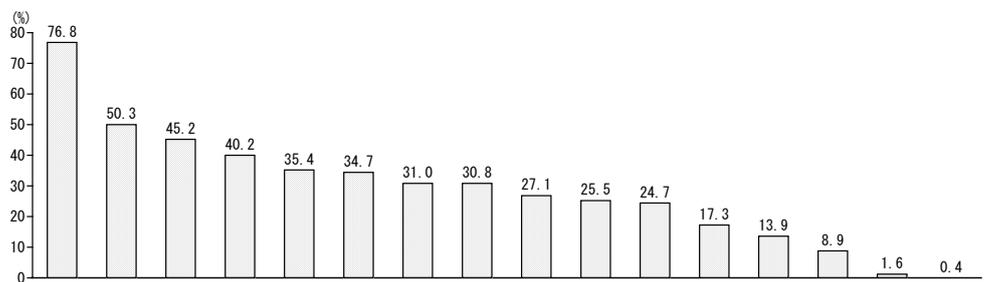
(3) 「健康とはなにか」の問いに対しての自身の考え (問11)

「心身ともに健やかなこと」が76.8%で最も多い。以下、「身体が丈夫で元気がよく調子がよいこと」が50.3%、「病気でないこと」が45.2%、「快食・快眠・快便」が40.2%、「前向きに生きられること」が35.4%、「心も身体も人間関係もうまくいっていること」が34.7%となっている。

「心身ともに健やかなこと」は、どの年代でも割合が高いが、女性40歳代では93.8%と特に高い。男性40歳代・男性50歳代では「仕事ができること」が他の年代よりやや高い。「自分の身の回りのことができ、長生きできること」は年齢が高いほど割合が高く、特に男性70歳代以上・女性70歳代以上で高い。女性19～29歳では「身体が丈夫で元気がよく調子がよいこと」「病気でないこと」「快食・快眠・快便」など身体的な健康面に関する項目が他年代より高い。

問11 「健康とはなんですか」という問いに対しての自身の考え (複数回答)

□ TOTAL n=1,083



性別・年代別	n	項目															
		2	9	6	7	13	10	11	8	12	1	3	14	4	5	15	16
0 TOTAL	1,083	76.8	50.3	45.2	40.2	35.4	34.7	31.0	30.8	27.1	25.5	24.7	17.3	13.9	8.9	1.6	0.4
1 男性19～29歳	34	52.9	55.9	38.2	35.3	26.5	23.5	29.4	8.8	5.9	8.8	23.5	8.8	8.8	5.9	0.0	0.0
2 男性30歳代	65	75.4	61.5	50.8	35.4	20.0	32.3	24.6	27.7	12.3	21.5	26.2	7.7	9.2	9.2	1.5	0.0
3 男性40歳代	54	79.6	53.7	40.7	31.5	31.5	33.3	11.1	37.0	18.5	18.5	46.3	14.8	14.8	13.0	3.7	0.0
4 男性50歳代	80	71.3	52.5	35.0	45.0	25.0	25.0	23.8	28.8	21.3	22.5	38.8	15.0	17.5	13.8	1.3	1.3
5 男性60歳代	139	79.9	45.3	36.7	41.0	40.3	38.1	27.3	38.1	30.2	23.0	26.6	16.5	18.7	12.2	1.4	0.7
6 男性70歳代以上	89	75.3	40.4	46.1	48.3	40.4	42.7	37.1	47.2	46.1	37.1	22.5	27.0	20.2	13.5	4.5	0.0
7 女性19～29歳	53	79.2	60.4	58.5	54.7	24.5	22.6	32.1	17.0	18.9	30.2	15.1	9.4	5.7	7.5	0.0	0.0
8 女性30歳代	96	78.1	64.6	57.3	35.4	25.0	28.1	21.9	17.7	24.0	21.9	12.5	11.5	7.3	5.2	0.0	0.0
9 女性40歳代	64	93.8	54.7	45.3	43.8	35.9	42.2	25.0	29.7	12.5	18.8	26.6	15.6	6.3	7.8	0.0	0.0
10 女性50歳代	147	79.6	53.7	48.3	34.0	40.1	29.9	36.7	26.5	23.1	24.5	23.8	14.3	10.9	8.2	0.0	0.0
11 女性60歳代	152	82.9	44.1	42.1	41.4	49.3	46.1	44.1	36.2	32.9	33.6	22.4	26.3	19.1	5.3	2.6	0.0
12 女性70歳代以上	71	66.2	42.3	56.3	45.1	35.2	36.6	38.0	32.4	53.5	23.9	18.3	26.8	12.7	1.4	2.8	0.0

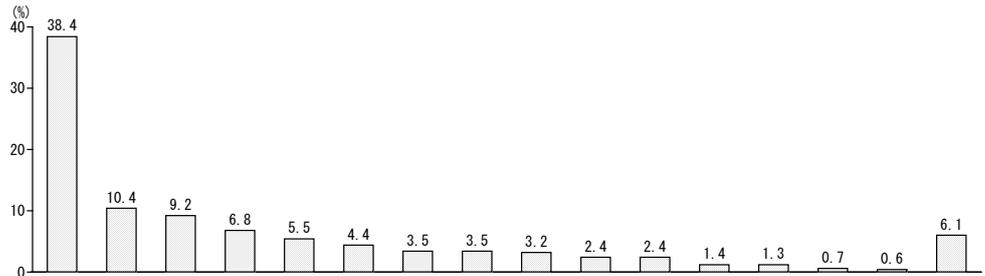
(4)「健康とはなにか」の問いに対して最も自身の考えに合うもの(付問11-1)

「心身ともに健やかなこと」が38.4%、「身体が丈夫で元気がよく調子がよいこと」が10.4%、「心も身体も人間関係もうまくいっていること」が9.2%、「病気でないこと」が6.8%、「幸福なこと」が5.5%である。

問11同様、「心身ともに健やかなこと」がどの年代でも割合が高く、女性40歳代で特に高い。「身体が丈夫で元気がよく調子がよいこと」は、男性19～29歳・30歳代、女性19～29歳・30歳代で他の年代より割合が高い。

付問11-1 「健康とはなんですか」の問いに対して、最も自身の考えに合うもの

□ TOTAL n=1,083



性別・年代別	n	項目															
		2	9	10	6	1	13	8	12	7	5	11	3	4	14	15	16
0 TOTAL	1,083	38.4	10.4	9.2	6.8	5.5	4.4	3.5	3.5	3.2	2.4	2.4	1.4	1.3	0.7	0.6	6.1
1 男性19～29歳	34	20.6	20.6	8.8	2.9	2.9	5.9	2.9	2.9	5.9	8.8	8.8	0.0	0.0	2.9	0.0	5.9
2 男性30歳代	65	36.9	18.5	7.7	12.3	4.6	0.0	3.1	0.0	0.0	6.2	1.5	0.0	1.5	0.0	1.5	6.2
3 男性40歳代	54	42.6	13.0	7.4	5.6	5.6	5.6	5.6	1.9	1.9	1.9	0.0	3.7	0.0	0.0	1.9	3.7
4 男性50歳代	80	41.3	6.3	8.8	10.0	2.5	2.5	7.5	1.3	3.8	2.5	2.5	1.3	3.8	2.5	0.0	3.8
5 男性60歳代	139	37.4	5.0	11.5	5.8	5.0	4.3	4.3	5.0	4.3	2.2	2.9	2.2	2.2	0.7	0.7	6.5
6 男性70歳代以上	89	29.2	9.0	7.9	6.7	7.9	5.6	3.4	6.7	5.6	2.2	1.1	2.2	1.1	0.0	1.1	10.1
7 女性19～29歳	53	34.0	17.0	9.4	5.7	7.5	0.0	0.0	3.8	7.5	1.9	7.5	0.0	0.0	0.0	0.0	5.7
8 女性30歳代	96	45.8	19.8	5.2	10.4	5.2	3.1	1.0	2.1	1.0	2.1	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	2.1
9 女性40歳代	64	53.1	7.8	9.4	3.1	4.7	4.7	3.1	0.0	4.7	3.1	1.6	0.0	1.6	0.0	0.0	3.1
10 女性50歳代	147	42.2	15.6	10.9	1.4	7.5	8.8	2.7	0.7	0.7	1.4	1.4	3.4	0.0	0.7	0.0	2.7
11 女性60歳代	152	44.1	7.2	9.9	8.6	4.6	4.6	3.3	3.3	2.0	0.7	2.6	0.0	1.3	2.0	0.7	5.3
12 女性70歳代以上	71	28.2	0.0	11.3	11.3	2.8	4.2	1.4	14.1	4.2	1.4	2.8	0.0	1.4	0.0	0.0	16.9

(5) 健康情報の入手先・相談先 (問 12)

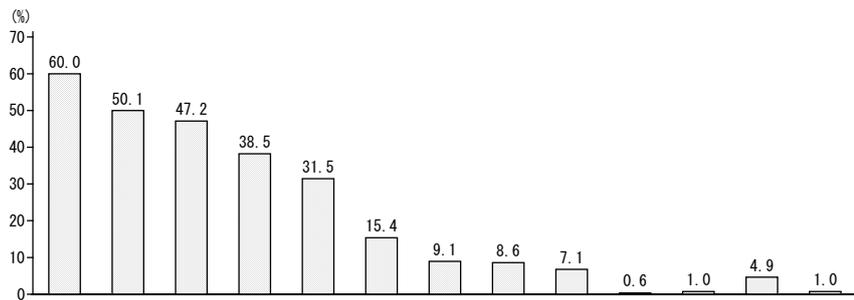
情報の入手先・相談先としては、「テレビ、ラジオ」が最も多く 60.0%、次いで「新聞、雑誌、書籍」が 50.1%、「病院、診療所、薬局」が 47.2%、「家族や親戚」が 38.5%、「知人、友人」が 31.5%である。

年代別で見ると、男女ともに 19～29 歳代・30 歳代では「家族や親戚」の割合が高く、60 歳代・70 歳代では「病院、診療所、薬局」「市政だより、市のホームページ」「市役所、保健センター、福祉センター、公民館」が他の年代より高い。

性別で見ると、男性 30 歳代～50 歳代までは、「テレビ、ラジオ」の割合が低く、男性 40 歳代・50 歳代では、他の年代に比べ「学校、職場」の割合が高い。女性では 19～50 歳代までは「知人、友人」の割合が高い。女性 19～29 歳・30 歳代では「インターネット」の割合も高い。

問 12 健康情報の入手先・相談先 (複数回答)

□ TOTAL n=1,083



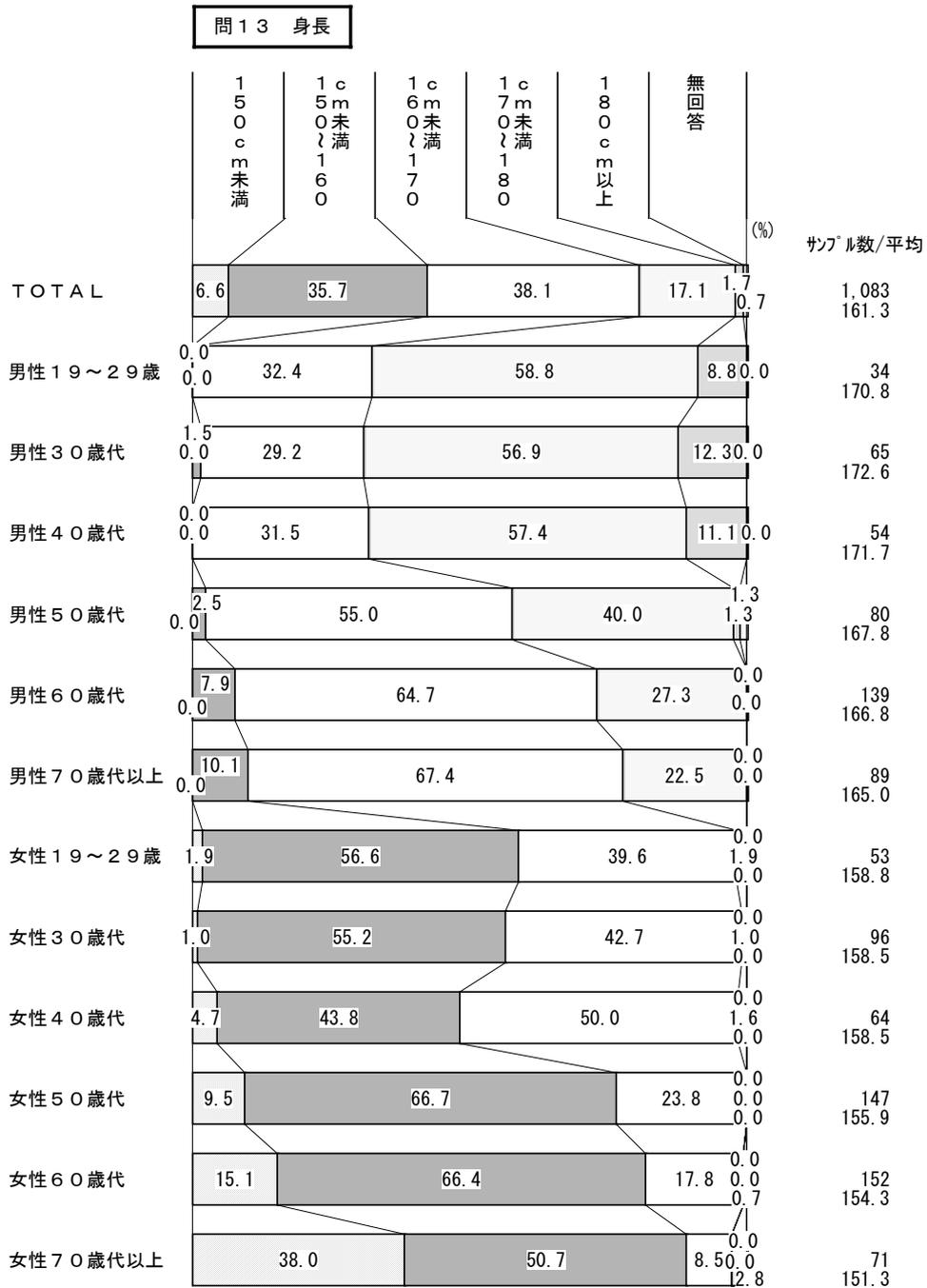
性別・年代別	n	1	2	9	7	8	10	6	3	4	5	11	12	13
		テレビ、ラジオ	新聞、雑誌、書籍	病院、診療所、薬局	家族や親戚	知人、友人	インターネット	学校、職場	市政だより、市のホームページ	市役所、保健センター、福祉センター、公民館	保育園(所)、幼稚園	その他	特になし	無回答
0 TOTAL	1,083	60.0	50.1	47.2	38.5	31.5	15.4	9.1	8.6	7.1	0.6	1.0	4.9	1.0
1 男性 19～29 歳	34	55.9	26.5	20.6	55.9	26.5	20.6	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8	0.0
2 男性 30 歳代	65	46.2	30.8	35.4	53.8	23.1	30.8	18.5	1.5	0.0	0.0	1.5	10.8	0.0
3 男性 40 歳代	54	46.3	50.0	35.2	42.6	27.8	33.3	22.2	3.7	1.9	0.0	0.0	11.1	0.0
4 男性 50 歳代	80	48.8	43.8	43.8	26.3	16.3	16.3	20.0	1.3	2.5	0.0	2.5	8.8	1.3
5 男性 60 歳代	139	63.3	57.6	58.3	33.1	19.4	9.4	7.9	13.7	12.9	0.0	0.0	3.6	0.0
6 男性 70 歳代以上	89	66.3	50.6	71.9	27.0	21.3	9.0	0.0	13.5	13.5	0.0	2.2	2.2	2.2
7 女性 19～29 歳	53	64.2	39.6	34.0	56.6	45.3	30.2	20.8	1.9	0.0	1.9	1.9	1.9	0.0
8 女性 30 歳代	96	56.3	45.8	46.9	50.0	40.6	31.3	8.3	6.3	2.1	3.1	1.0	1.0	0.0
9 女性 40 歳代	64	64.1	60.9	43.8	29.7	45.3	26.6	18.8	4.7	1.6	3.1	0.0	6.3	0.0
10 女性 50 歳代	147	68.0	60.5	40.1	37.4	42.9	11.6	5.4	6.8	8.2	0.0	0.0	4.1	1.4
11 女性 60 歳代	152	64.5	58.6	46.7	36.8	39.5	2.6	2.6	14.5	10.5	0.0	0.7	2.6	1.3
12 女性 70 歳代以上	71	60.6	43.7	63.4	42.3	26.8	4.2	0.0	16.9	12.7	0.0	2.8	2.8	0.0

(6) 身長 (問13)

全体では、「150cm未満」が6.6%、「150～160cm未満」が35.7%、「160～170cm未満」が38.1%、「170～180cm未満」が17.1%、「180cm以上」が1.7%、平均が161.3cmである。

男性では19歳～40歳代までは「170～180cm未満」が最も多いが、50歳代以降では「160～170cm」が最も割合が高い。

女性では、40歳代を除く全ての年代で「150～160cm未満」が最も割合が高く、40歳代では「160～170cm未満」が最も割合が高い。70歳代以上では「150cm未満」が約4割である。

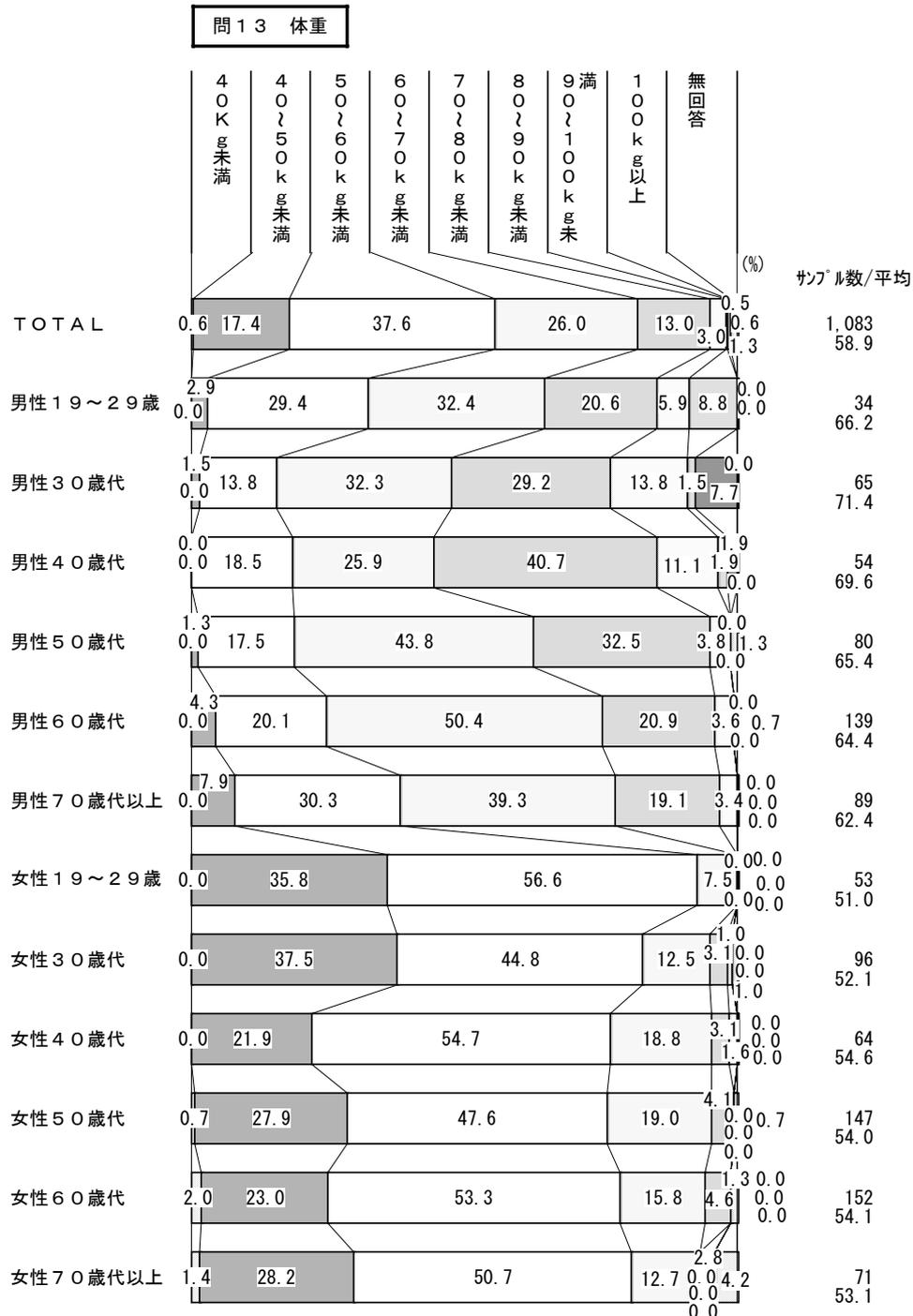


(7) 体重 (問13)

体重は、「40kg 未満」が 0.6%、「40～50kg 未満」が 17.4%、「50～60kg 未満」が 37.6%、「60～70kg 未満」が 26.0%、「70～80kg 未満」が 13.0%、「80～90kg 未満」が 3.0%、「90～100kg 未満」が 0.5%、「100kg 以上」が 0.6%である。平均 58.9kg である。

男性では「60～70kg 未満」「70～80kg 未満」の割合が高いが、30～40 歳代では「80～90kg 未満」が約 1 割を占める。

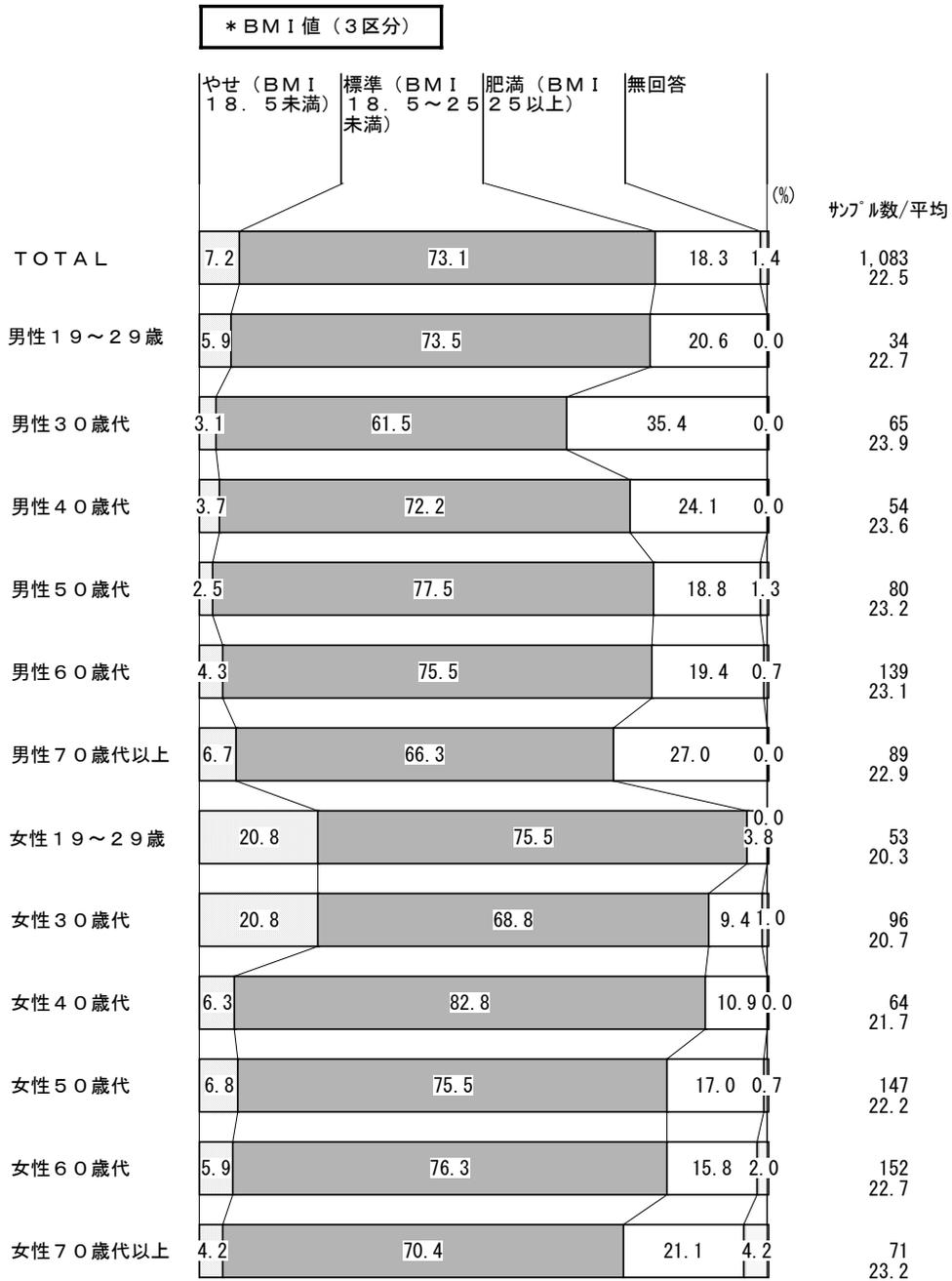
女性ではいずれの年代も「50～60kg 未満」が最も高いが、40～50 歳代では「40～50kg 未満」の割合が低くなる分、「60～70kg 未満」の割合が 2 割近くなる。



(8) BMI

問13でたずねた身長と体重からBMIを算出した。「やせ(BMI 18.5未満)」が7.2%、「標準(BMI 18.5~25未満)」が73.1%、「肥満(BMI 25以上)」が18.3%である。

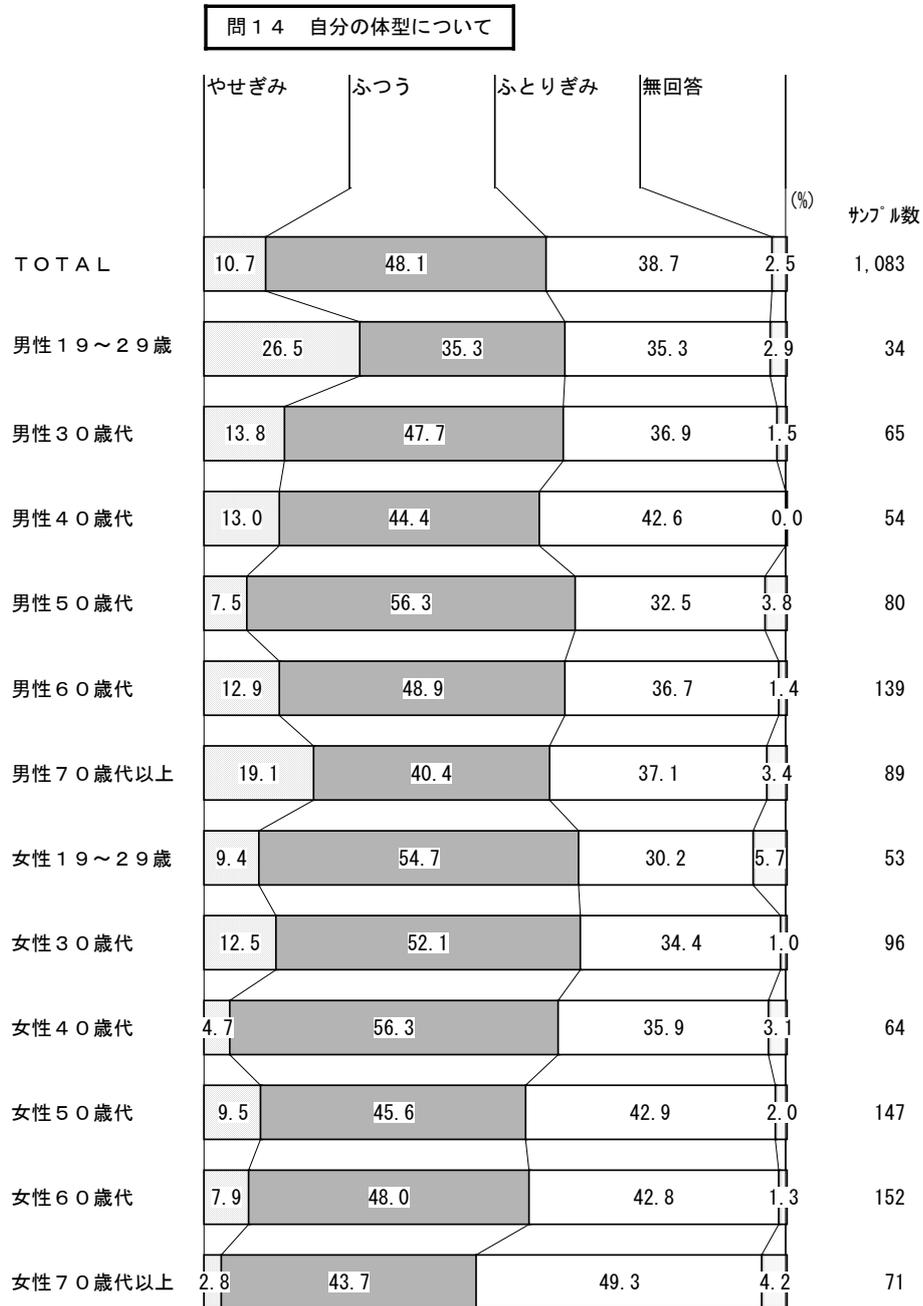
男女ともいずれの年代も「標準(BMI 18.5~25未満)」の割合が最も高い。男性30歳代では35.4%が「肥満(BMI 25以上)」で、他の年代よりも多い。女性19~29歳・女性30歳代では「やせ(BMI 18.5未満)」が約2割を占めている。



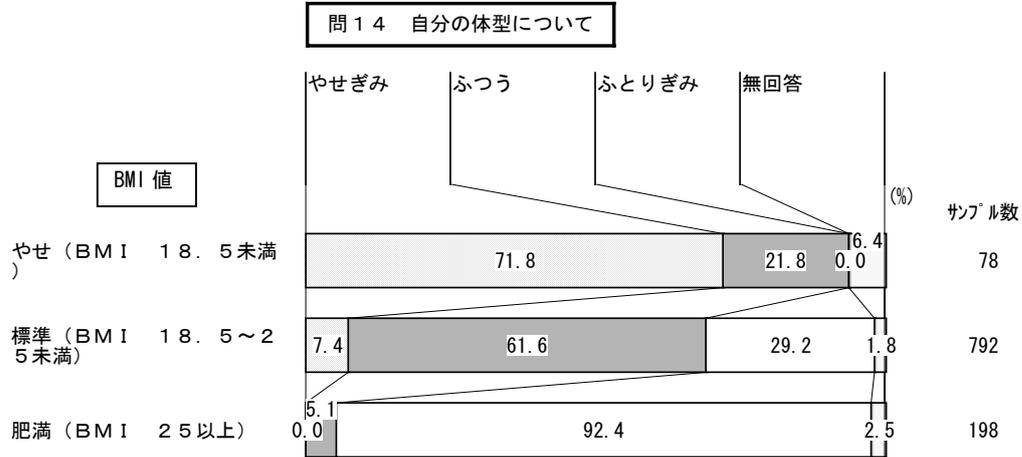
(9) 自分の体型についての認識 (問 14)

自分の体型についての認識は、「ふつう」が48.1%、「ふとりぎみ」が38.7%、「やせぎみ」が10.7%である。

男性 19～29 歳では「やせぎみ」が26.5%と他の年代より多い。女性 50～70 歳代以上では、「ふとりぎみ」が4割以上である。



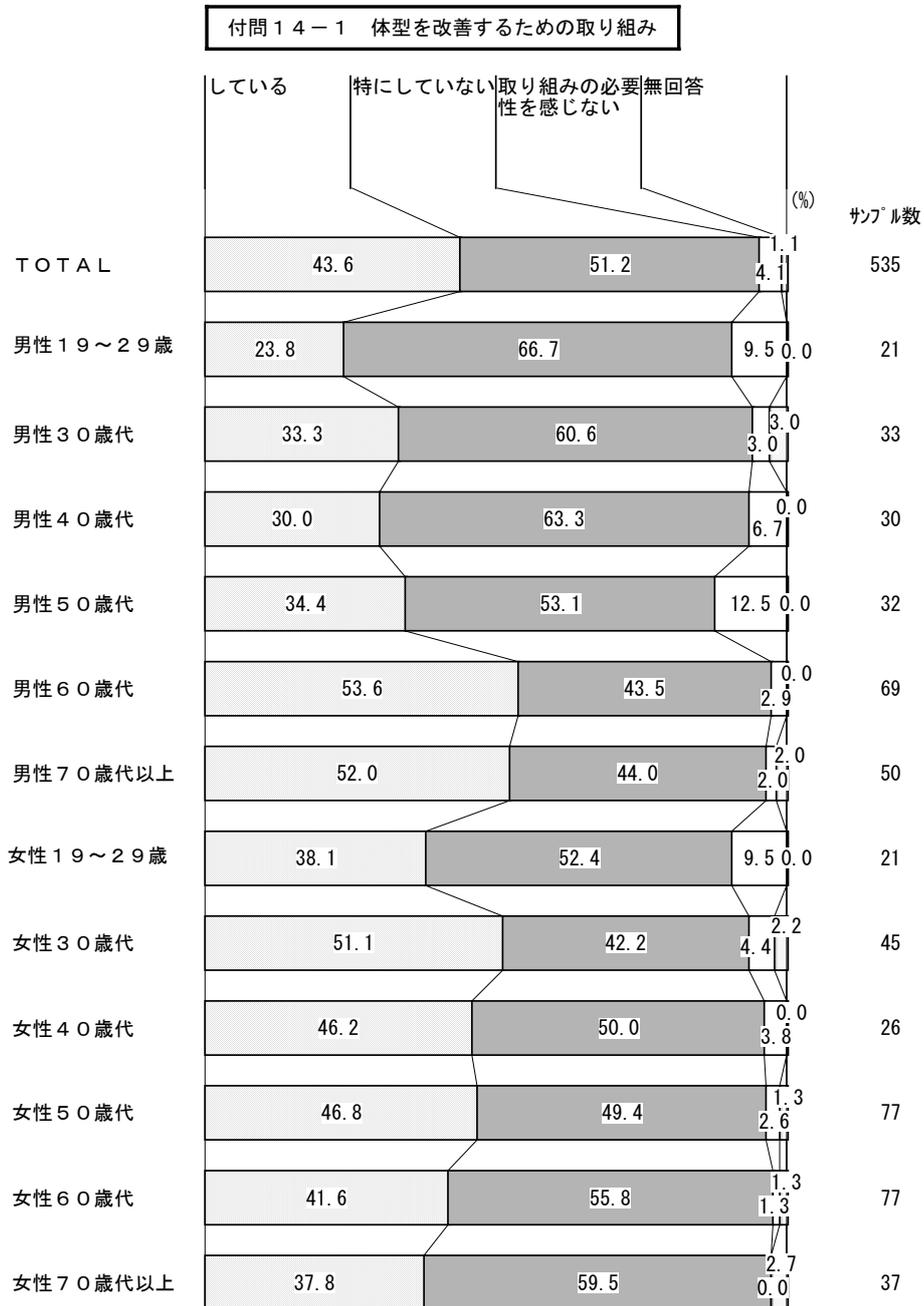
自分の体型についての認識とBMIの関係についてを見ると、やせ（BMI 18.5未満）では、約7割は実際の体型と認識が一致しているが、約2割は「ふつう」だと認識している。標準（BMI 18.5～25未満）では、7.4%が「やせぎみ」、29.2%が「ふとりぎみ」と感じている。肥満（BMI 25以上）では、「やせぎみ」と認識している人はいないが、「ふつう」と認識している人が5.1%見られる。



(10) 体型改善のための取り組み (付問 14-1)

問 14 で、「やせぎみ」もしくは「ふとりぎみ」と回答した人に、体型改善のための取り組みの状況についてたずねたところ、「特にしていない」が 51.2%である。

性別・年代別で見ると、男女とも 19～29 歳では「取り組みの必要性を感じない」が約 1 割程度である。男性 50 歳代でも「取り組みの必要性を感じない」が約 1 割である。男性では 60 歳代・70 歳代以上で「している」の割合が高い。女性では 30 歳代で「している」の割合が高い。



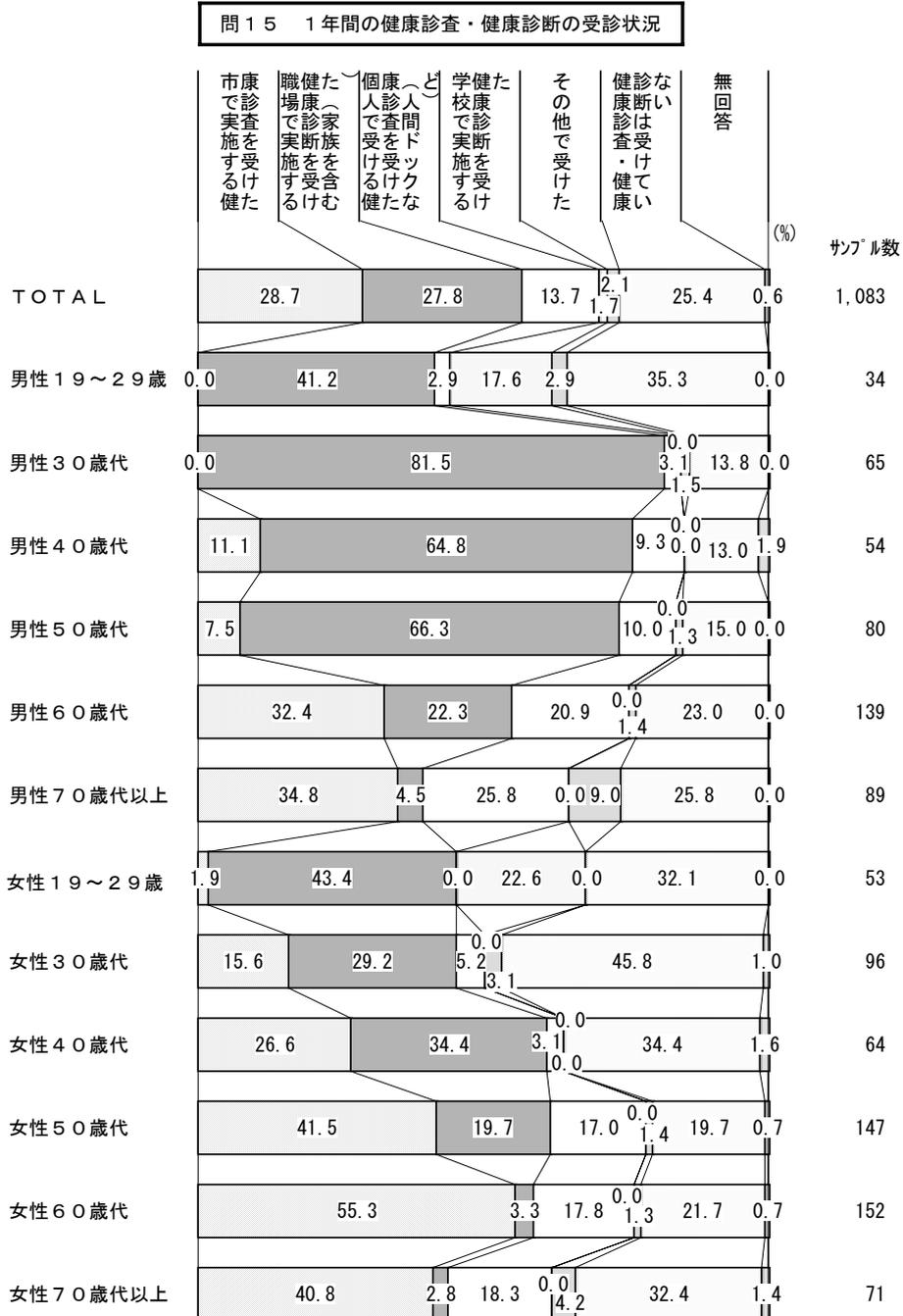
(11) 1年間の健康診査・健康診断の受診状況（問15）

「健康診査・健康診断は受けていない」が25.4%である。

受診した場所は「市で実施する健康診査を受けた」が28.7%、「職場で実施する健康診断を受けた（家族を含む）」が27.8%、「個人で受ける健康診査を受けた（人間ドックなど）」が13.7%、「学校で実施する健康診断を受けた」が1.7%となっている。

性別・年代別でみると、「健康診査・健康診断は受けていない」が多いのは、男性は19～29歳・女性は19～29歳・30歳代・40歳代・70歳代以上である。

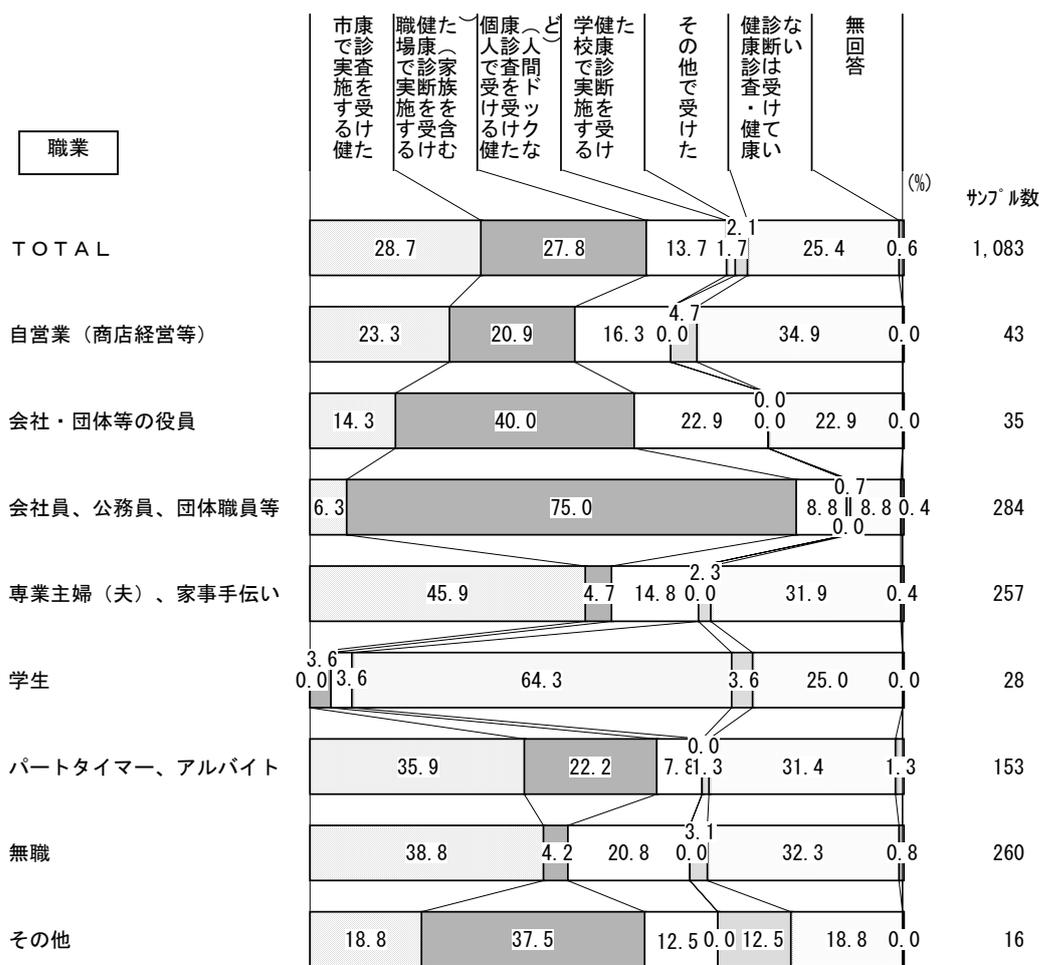
男性19歳～50歳代、女性19歳～40歳代では「職場で実施する健康診断を受けた（家族を含む）」が最も多い。男性60～70歳代以上、女性50～70歳代以上では「市で実施する健康診査を受けた」が最も多い。



健康診査・健康診断の受診状況を職業別で見ると、自営業（商店経営等）・専業主婦、家事手伝い・パートタイマー、アルバイト・無職では「健康診査・健康診断は受けていない」が3割以上である。

受診先は、自営業、専業主婦（夫）、家事手伝い、パートタイマー、アルバイト、無職では「市で実施する健康診査を受けた」が最も割合が高い。会社・団体等の役員、会社員、公務員、団体職員等では、「職場で実施する健康診断を受けた（家族含む）」が最も割合が高い。学生では、「学校で実施する健康診断を受けた」が最も割合が高い。

問15 1年間の健康診査・健康診断の受診状況



(12) 健康診査・健康診断を受けていない理由（付問 15-1）

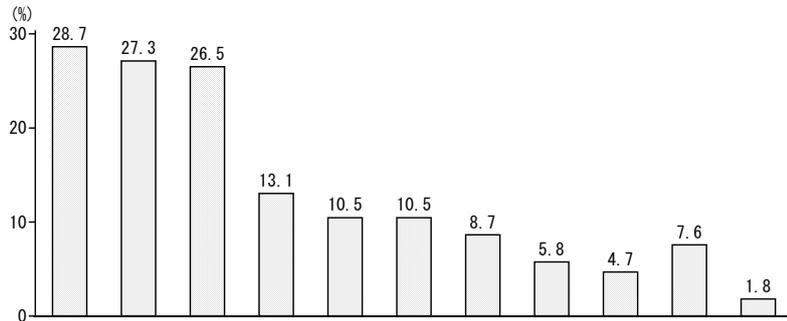
問 15 で「健康診査・健康診断を受けていない」と回答した人に、受けていない理由をたずねたところ、「医療機関で治療しているから」が 28.7%、「自覚症状がないから」が 27.3%、「忙しいので受診できない、または時間が合わないから」が 26.5%である。

性別・年代別でみると、「医療機関で治療しているから」は年齢が高いほど多く、男性 70 歳代以上では 69.6%、女性 70 歳代以上では 65.2%を占めている。「忙しいので受診できない、または時間が合わないから」は、男性では 30～40 歳代に多く、女性では 40 歳代に多い。

男性 50 歳代では、「必要と思わないから」が他の年代よりも多い。女性 19～29 歳では、「費用がかかるから」「受診方法がわからないから」などをあげている。

付問 15-1 健康診査・健康診断を受けていない理由（複数回答）

□ TOTAL n=275



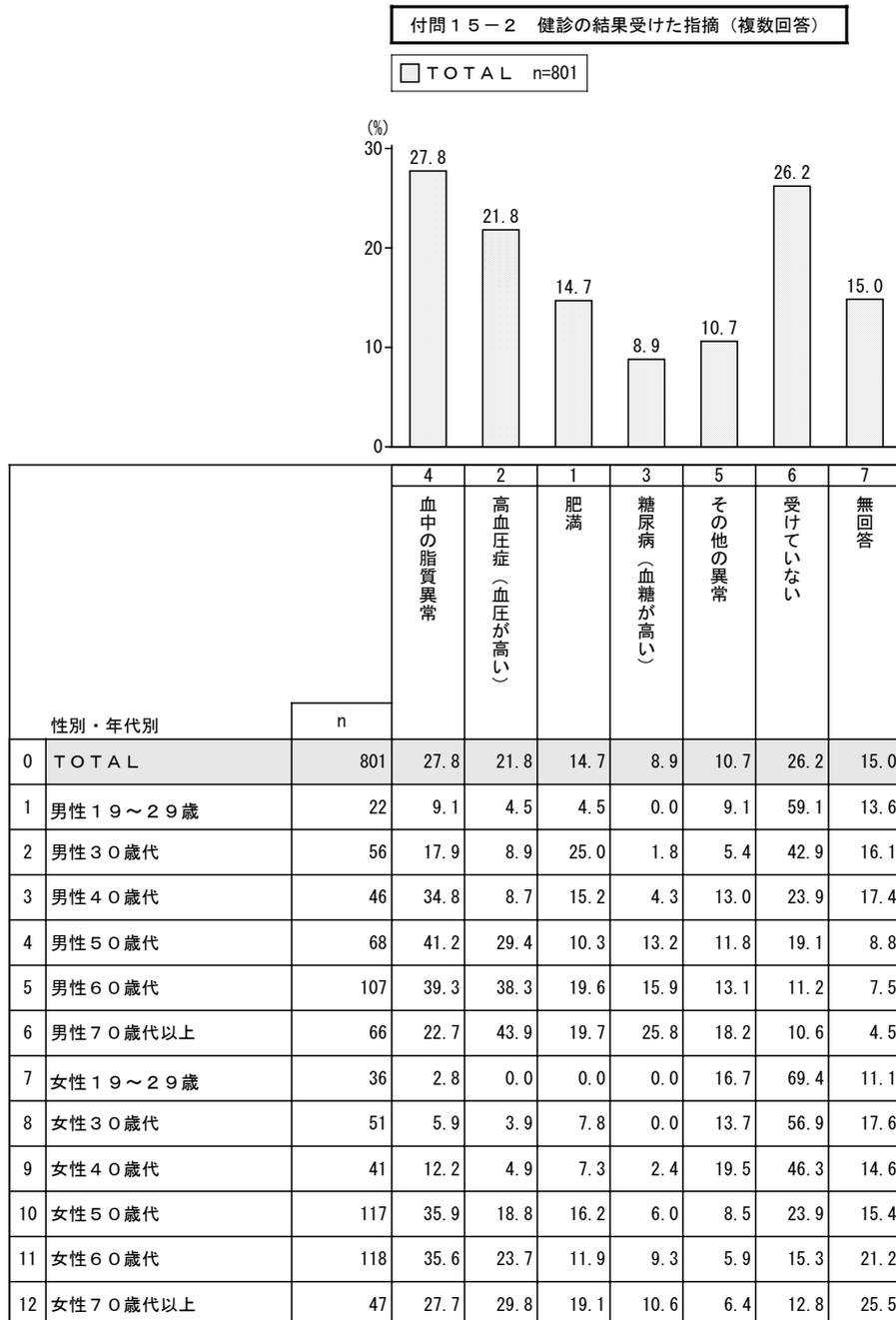
性別・年代別	n	6	2	3	7	4	8	1	9	5	10	11
		医療機関で治療しているから	自覚症状がないから	忙しい時間や都合が合わないから	費用がかかるから	受診方法がわからないから	健康診査・健康診断の会場に行くのが大変だから	必要と思わないから	健診の対象ではないから	結果を知るのが不安だから	その他	無回答
0 TOTAL	275	28.7	27.3	26.5	13.1	10.5	10.5	8.7	5.8	4.7	7.6	1.8
1 男性 19～29 歳	12	8.3	16.7	33.3	16.7	25.0	0.0	16.7	8.3	8.3	0.0	0.0
2 男性 30 歳代	9	11.1	33.3	55.6	22.2	22.2	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0
3 男性 40 歳代	7	14.3	28.6	71.4	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4 男性 50 歳代	12	16.7	33.3	16.7	16.7	8.3	8.3	33.3	8.3	8.3	16.7	0.0
5 男性 60 歳代	32	34.4	28.1	18.8	12.5	6.3	0.0	12.5	6.3	3.1	15.6	3.1
6 男性 70 歳代以上	23	69.6	13.0	8.7	0.0	8.7	0.0	8.7	0.0	4.3	0.0	4.3
7 女性 19～29 歳	17	0.0	35.3	35.3	35.3	35.3	11.8	5.9	11.8	0.0	11.8	0.0
8 女性 30 歳代	44	4.5	18.2	34.1	22.7	25.0	13.6	0.0	18.2	2.3	9.1	0.0
9 女性 40 歳代	22	13.6	27.3	50.0	9.1	4.5	18.2	9.1	4.5	4.5	18.2	4.5
10 女性 50 歳代	29	34.5	37.9	34.5	10.3	0.0	13.8	13.8	0.0	6.9	6.9	0.0
11 女性 60 歳代	33	39.4	33.3	15.2	9.1	0.0	18.2	3.0	3.0	9.1	6.1	3.0
12 女性 70 歳代以上	23	65.2	26.1	4.3	0.0	4.3	17.4	4.3	0.0	4.3	0.0	4.3

(13) 健診の結果で受けた指摘（付問 15-2）

健診の結果、どのような指摘を受けたかについては、「血中の脂質異常」が 27.8%で最も多く、次いで「高血圧症（血圧が高い）」が 21.8%、「肥満」が 14.7%、「糖尿病（血糖が高い）」が 8.9%である。「受けていない」が 26.2%である。

性別・年代別で見ると、男性女性ともに、年齢が低いほど、「受けていない」割合が高い。

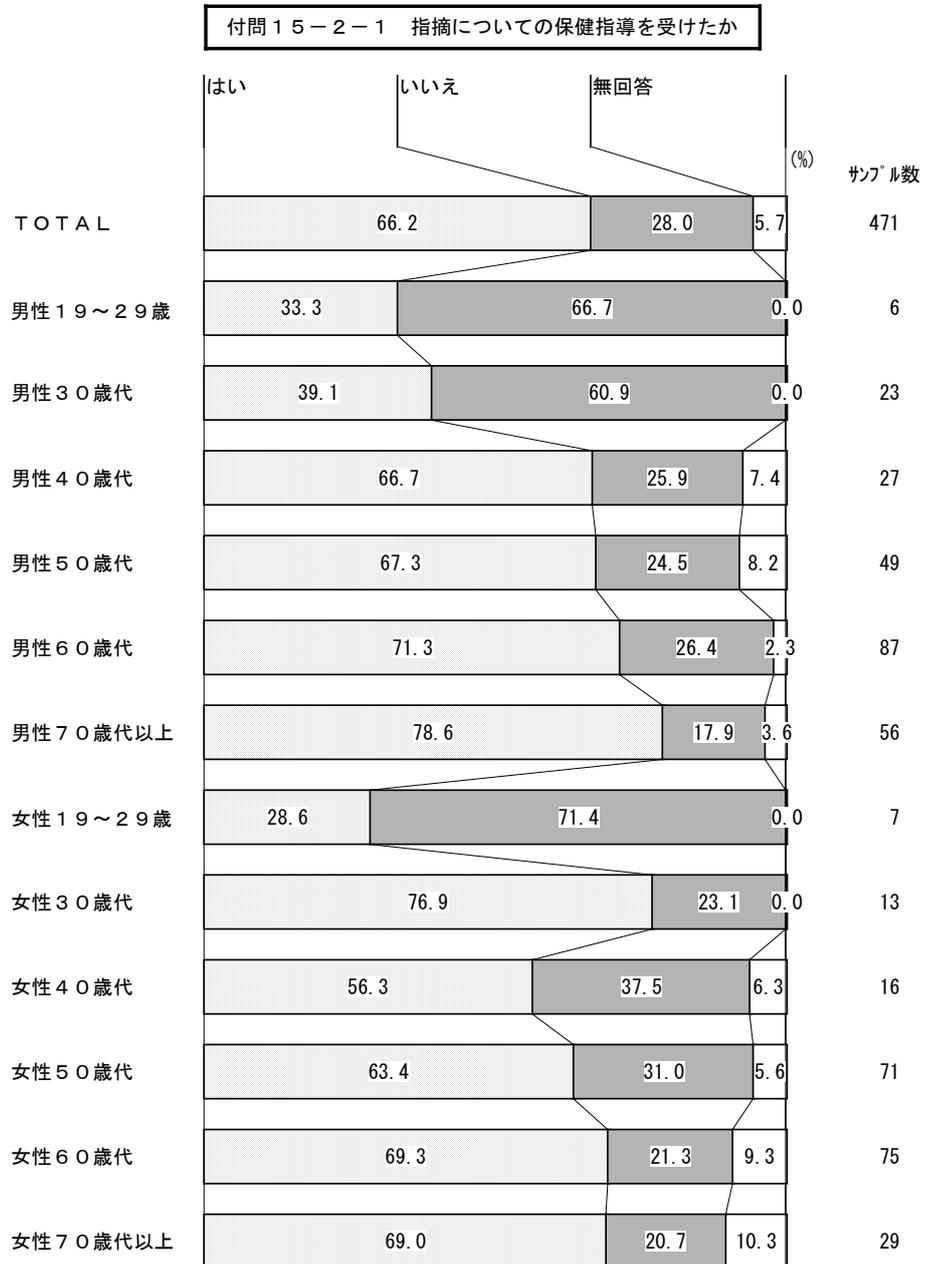
「血中の脂質異常」「高血圧」は年齢が高いほど割合が高い。男性 30 歳代では「肥満」の割合が他の年代に比べて高い。



(14) 指摘についての保健指導の有無（付問 15-2-1）

付問 15-2 で指摘を受けた内容について、保健指導を受けたかどうかたずねたところ、「はい」が 66.2%、「いいえ」が 28.0%である。

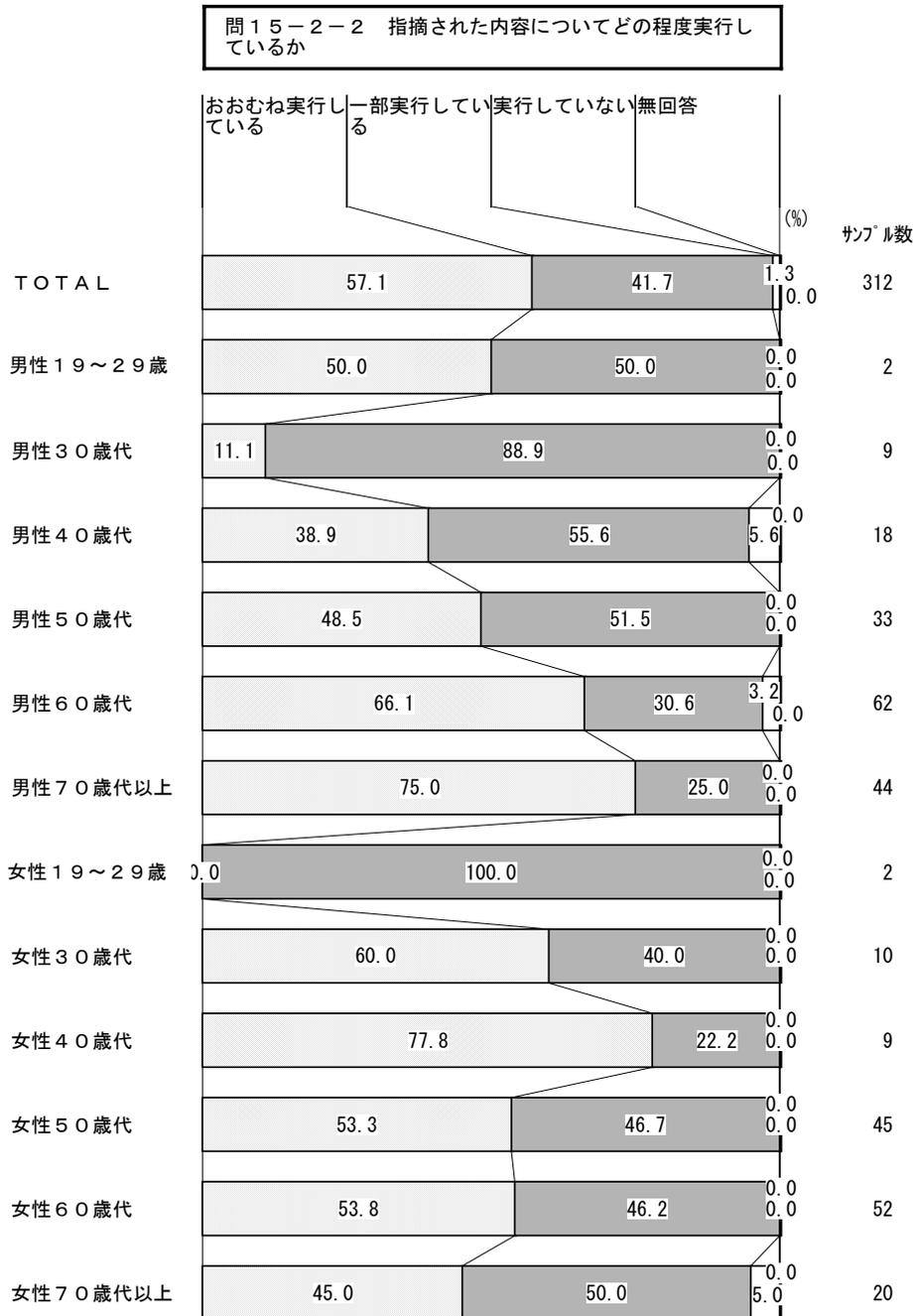
男性では、40 歳代以降、年齢が高いほど保健指導を受けている割合が高い。女性では、30 歳代で特に指導を受けている割合が高い。



(15) 指摘された内容について実行の程度（付問 15-2-2）

付問 15-2-1 で「はい」と回答した人に、指摘された内容についてどの程度実行しているかたずねたところ、「おおむね実行している」が 57.1%、「一部実行している」が 41.7%、「実行していない」が 1.3%で、ほとんどの人が程度の差はあるが、保健指導で指摘された内容を実行している。

男性では年齢が高くなるほど、「おおむね実行している」割合が高い。

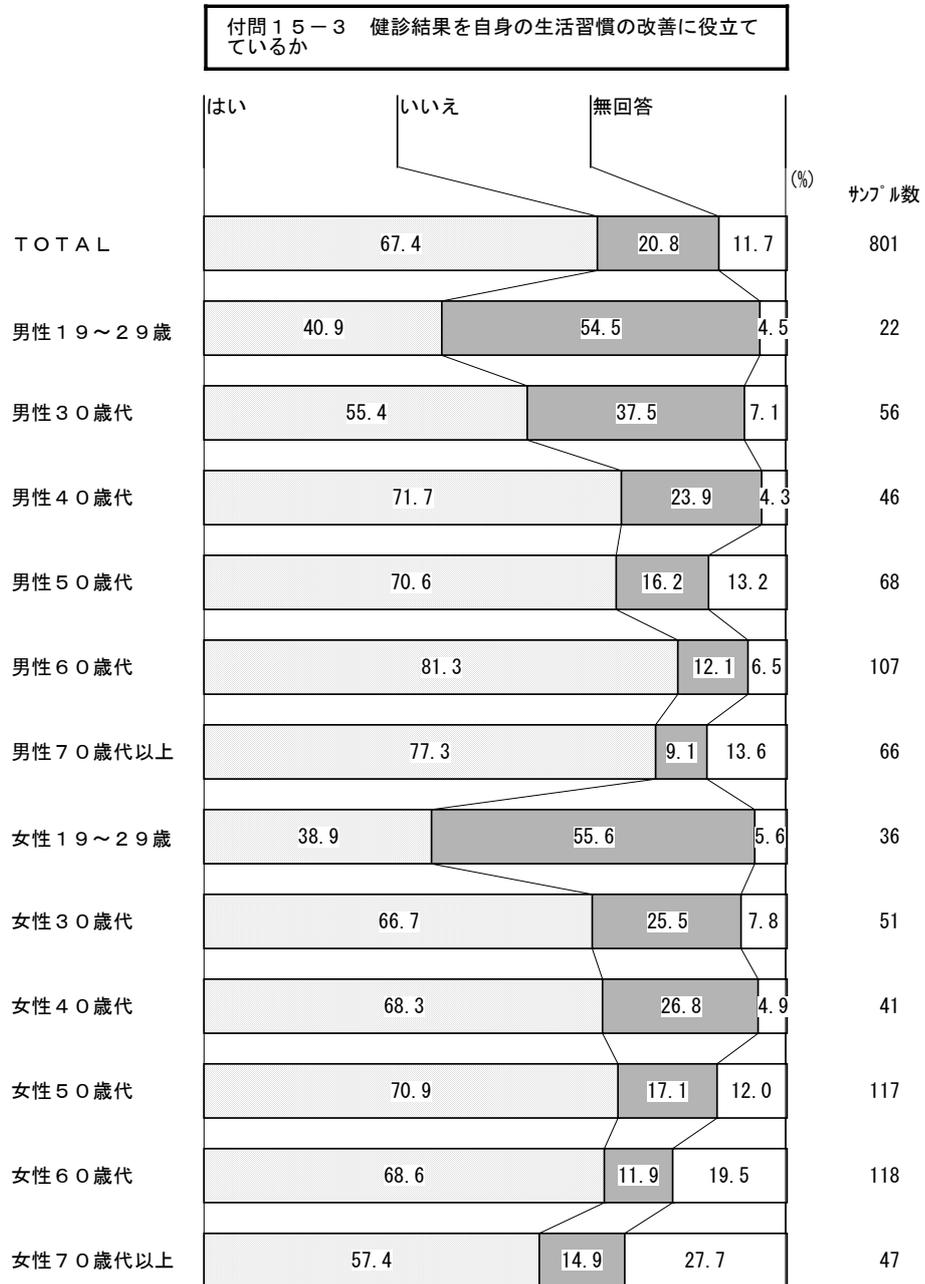


※19～29歳、30歳代、40歳代はサンプル数が少ないため参考値

(16) 健診結果を生活習慣の改善に役立てているか (付問 15-3)

問 15 で健康診査・健康診断を受けていると回答した人に、健診結果を生活習慣の改善に役立てているかをたずねた。「はい」が 67.4%、「いいえ」が 20.8%で、7 割近くが生活習慣の改善に役立てている。

男女とも 19～29 歳では「はい」が 4 割程度にとどまっている。

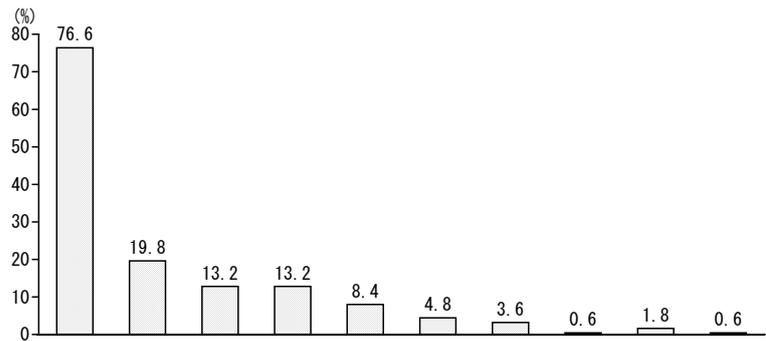


(17) 生活習慣の改善に役立てていない理由（問 15-3-1）

問 15-3 で「いいえ」と回答した人に、生活習慣の改善に役立てていない理由をたずねたところ、「特に異常のある結果ではなかったから」が 76.6%で最も多い。以下、「自覚症状がないから」（19.8%）、「忙しいから」（13.2%）、「生活を変えられないから」（13.2%）となっている。

付問 15-3-1 生活習慣の改善に役立てていない理由（複数回答）

□ TOTAL n=167



性別・年代別	n	理由									
		1	3	2	4	8	6	5	7	9	10
0 TOTAL	167	76.6	19.8	13.2	13.2	8.4	4.8	3.6	0.6	1.8	0.6
1 男性 19～29歳	12	91.7	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0
2 男性 30歳代	21	76.2	33.3	38.1	23.8	19.0	4.8	4.8	0.0	0.0	0.0
3 男性 40歳代	11	54.5	27.3	27.3	36.4	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4 男性 50歳代	11	54.5	36.4	9.1	18.2	9.1	9.1	9.1	0.0	9.1	0.0
5 男性 60歳代	13	76.9	30.8	7.7	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0
6 男性 70歳代以上	6	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
7 女性 19～29歳	20	80.0	15.0	10.0	10.0	10.0	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0
8 女性 30歳代	13	100.0	15.4	0.0	0.0	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0
9 女性 40歳代	11	90.9	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10 女性 50歳代	20	70.0	20.0	10.0	15.0	5.0	0.0	5.0	0.0	5.0	5.0
11 女性 60歳代	14	92.9	7.1	7.1	7.1	14.3	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0
12 女性 70歳代以上	7	71.4	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0

(18) 受診しているがん検診の種類 (問 16)

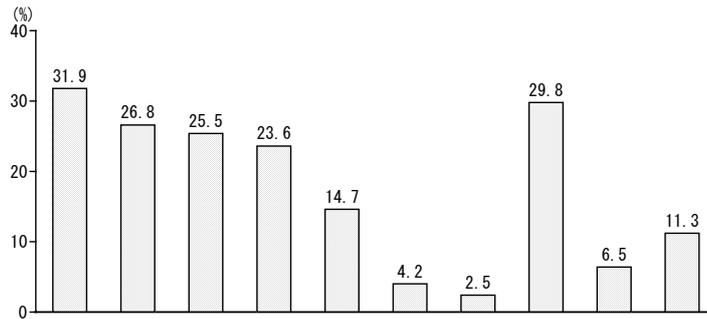
「がん検診は受けていない」が 29.8%である。
 受診したがん検診の種類では、「胃がん」が 31.9%で最も多い。次いで「大腸がん」が 26.8%である。

女性では「乳がん」が 45.7%、「子宮がん」が 42.5%で、30 歳代から 60 歳代までの受診率が特に高い。

男性では「前立腺がん」は 9.2%にとどまっている。

問 16 1年に1回受けているがん検診の種類 (複数回答)

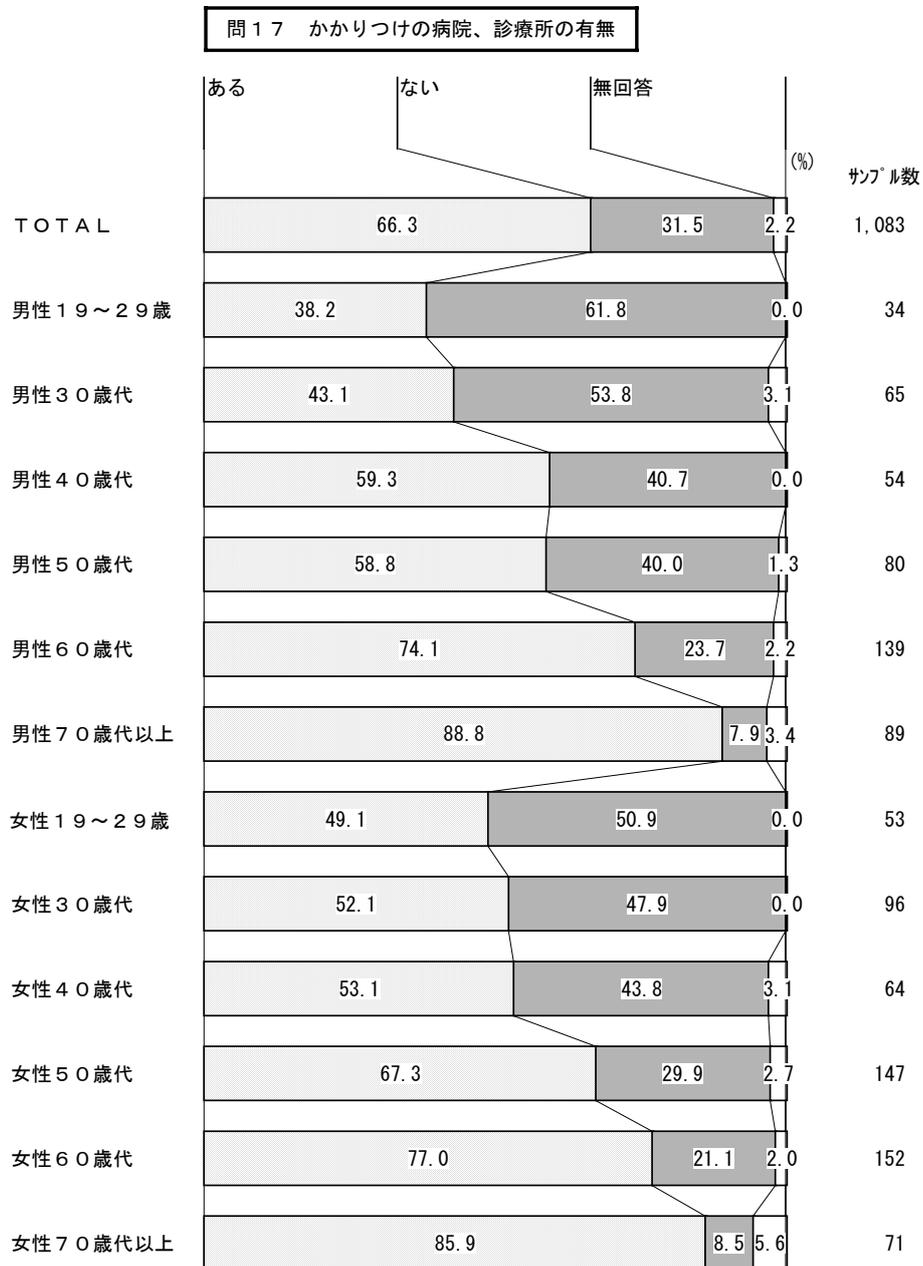
□ TOTAL n=1,083



性別・年代別	n	1	2	4	3	5	6	7	8	9	10
		胃がん	大腸がん	乳がん	子宮がん	肺がん	前立腺がん	その他	がん検診は受けていない	対象年齢ではないので受けていない	無回答
0 TOTAL	1,083	31.9	26.8	25.5	23.6	14.7	4.2	2.5	29.8	6.5	11.3
1 男性 19～29歳	34	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	47.1	47.1	5.9
2 男性 30歳代	65	7.7	6.2	0.0	0.0	1.5	0.0	1.5	60.0	21.5	7.7
3 男性 40歳代	54	35.2	24.1	0.0	0.0	20.4	0.0	1.9	51.9	5.6	3.7
4 男性 50歳代	80	41.3	28.8	0.0	0.0	20.0	8.8	2.5	38.8	2.5	10.0
5 男性 60歳代	139	42.4	41.7	0.0	0.0	20.9	13.7	5.8	28.1	0.7	12.9
6 男性 70歳代以上	89	44.9	37.1	0.0	0.0	18.0	19.1	1.1	27.0	0.0	13.5
7 女性 19～29歳	53	0.0	0.0	3.8	3.8	1.9	0.0	0.0	37.7	47.2	11.3
8 女性 30歳代	96	3.1	4.2	49.0	49.0	0.0	0.0	4.2	27.1	5.2	5.2
9 女性 40歳代	64	32.8	26.6	59.4	60.9	9.4	0.0	4.7	21.9	0.0	9.4
10 女性 50歳代	147	43.5	34.0	54.4	50.3	15.6	0.0	0.7	20.4	0.7	12.2
11 女性 60歳代	152	44.7	36.2	51.3	46.1	22.4	0.0	2.6	21.1	0.7	10.5
12 女性 70歳代以上	71	29.6	26.8	32.4	23.9	16.9	0.0	2.8	19.7	1.4	23.9
1 男性	468	33.8	28.4	0.0	0.0	15.6	9.2	2.8	38.5	7.7	10.5
2 女性	588	30.6	25.0	45.7	42.5	13.1	0.0	2.4	23.1	5.8	11.7

(19) かかりつけの病院、診療所の有無 (問 17)

「ある」が66.3%、「ない」が31.5%である。
 男性、女性とも年齢が高くなるほど、かかりつけの病院、診療所が「ある」と回答している割合が高い。



(20) 病院・診療所を受診した病気やけが (問 18)

最近1年間に、病院・診療所を受診した病気やけがをたずねた。「歯科・口腔疾患」が39.3%で最も多い。以下、「かぜ(かぜ症候群)」が30.7%、「高血圧症」が17.8%、「眼科疾患(緑内障、白内障等)」が12.6%、「花粉症」が9.5%となっている。

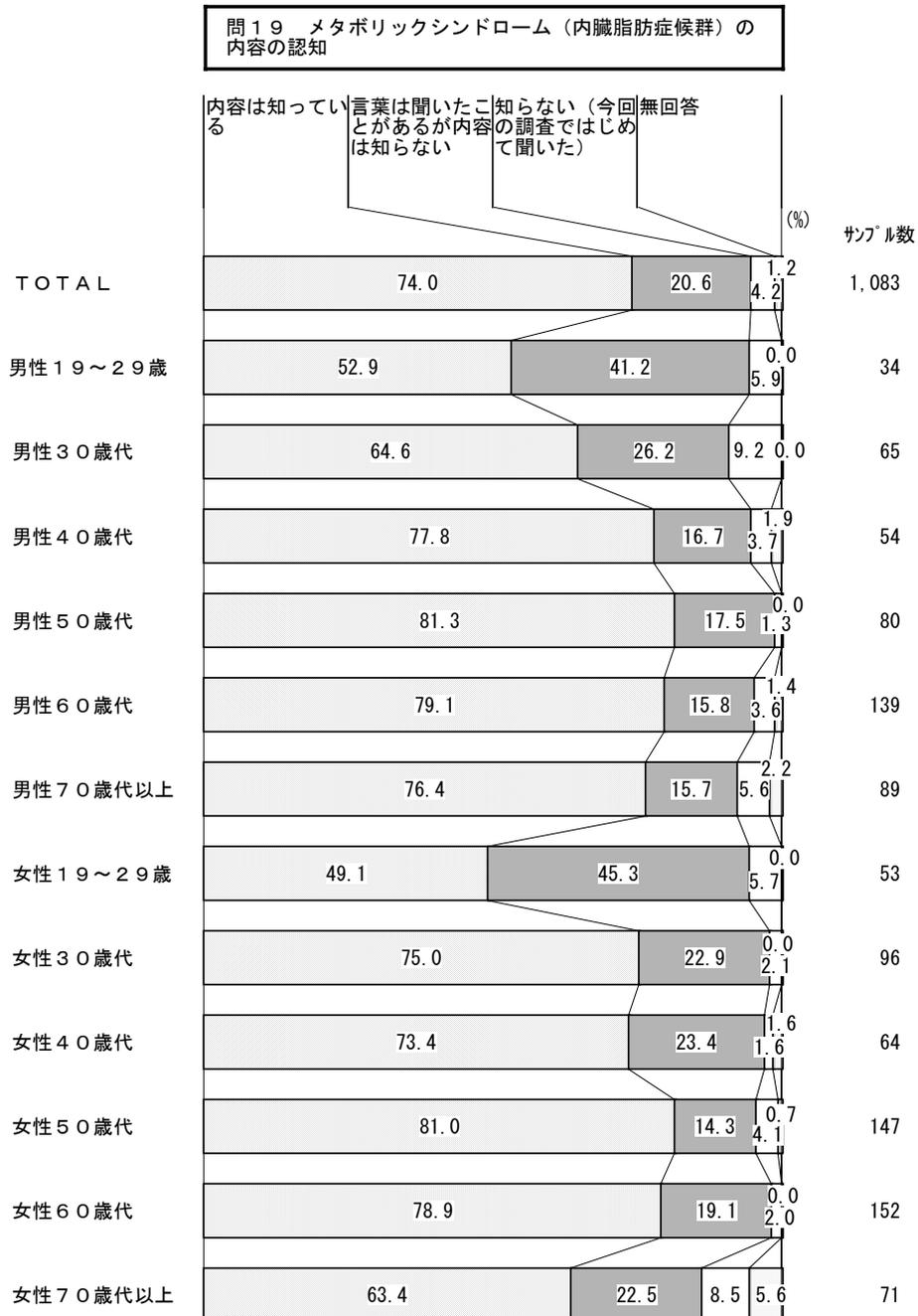
性別・年代別		n	22 歯科・口腔疾患	1 かぜ(かぜ症候群)	8 高血圧症	21 眼科疾患(緑内障、白内障等)	2 花粉症	23 耳鼻科疾患	11 胃腸疾患(胃・十二指腸潰瘍等)	9 高血圧症(高コレステロール)	10 糖尿病	15 心臓病(狭心症、不整脈、心臓弁膜症等)	12 泌尿器の疾患	4 アレルギー性鼻炎	5 アレルギー性皮膚炎(アトピー)	3 頭痛(片頭痛等)
0	TOTAL	1,083	39.3	30.7	17.8	12.6	9.5	8.7	8.4	8.0	7.3	6.6	4.7	4.0	3.2	2.8
1	男性19~29歳	34	29.4	23.5	0.0	2.9	5.9	2.9	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0
2	男性30歳代	65	30.8	41.5	3.1	6.2	9.2	7.7	6.2	1.5	1.5	0.0	0.0	3.1	3.1	3.1
3	男性40歳代	54	37.0	42.6	0.0	7.4	13.0	5.6	3.7	3.7	5.6	3.7	3.7	5.6	3.7	3.7
4	男性50歳代	80	41.3	27.5	23.8	3.8	13.8	6.3	7.5	8.8	7.5	3.8	6.3	3.8	2.5	3.8
5	男性60歳代	139	47.5	23.0	25.9	18.7	6.5	10.1	11.5	10.8	15.8	8.6	10.8	3.6	0.7	1.4
6	男性70歳代以上	89	49.4	18.0	44.9	23.6	6.7	11.2	16.9	11.2	19.1	25.8	15.7	2.2	2.2	0.0
7	女性19~29歳	53	24.5	50.9	0.0	5.7	17.0	3.8	11.3	0.0	0.0	1.9	0.0	9.4	3.8	5.7
8	女性30歳代	96	35.4	54.2	2.1	2.1	6.3	9.4	7.3	1.0	0.0	1.0	0.0	7.3	7.3	4.2
9	女性40歳代	64	34.4	35.9	4.7	1.6	15.6	9.4	9.4	0.0	1.6	0.0	3.1	6.3	3.1	3.1
10	女性50歳代	147	40.1	27.2	14.3	12.2	13.6	8.8	7.5	10.2	3.4	4.1	2.7	2.7	4.1	2.7
11	女性60歳代	152	43.4	25.0	26.3	16.4	8.6	8.6	6.6	11.8	9.9	5.3	3.3	2.6	5.3	3.9
12	女性70歳代以上	71	42.3	21.1	35.2	22.5	1.4	15.5	7.0	21.1	9.9	11.3	2.8	4.2	1.4	2.8

性別・年代別		n	19 痛風	17 骨粗鬆症、骨折	16 脳血管疾患(脳梗塞、脳出血等)	14 肝疾患	20 うつ病、躁うつ病	13 腎疾患	6 喘息	7 気管支炎・肺気腫	24 更年期障害	18 慢性関節リウマチ	25 その他	26 がほはない医療機関を受診した病気やけ	27 無回答
0	TOTAL	1,083	2.3	2.1	1.8	1.8	1.8	1.7	1.6	1.5	1.2	1.0	12.7	10.6	4.2
1	男性19~29歳	34	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17.6	35.3	5.9
2	男性30歳代	65	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	1.5	1.5	1.5	0.0	0.0	7.7	21.5	6.2
3	男性40歳代	54	3.7	1.9	0.0	1.9	3.7	3.7	1.9	0.0	0.0	0.0	16.7	11.1	5.6
4	男性50歳代	80	8.8	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	3.8	11.3	5.0
5	男性60歳代	139	5.0	0.7	2.9	5.0	0.0	3.6	2.2	3.6	0.0	0.7	9.4	6.5	5.0
6	男性70歳代以上	89	9.0	1.1	9.0	5.6	1.1	5.6	1.1	3.4	0.0	1.1	10.1	2.2	0.0
7	女性19~29歳	53	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	17.0	18.9	3.8
8	女性30歳代	96	0.0	0.0	1.0	0.0	5.2	0.0	4.2	2.1	0.0	0.0	12.5	12.5	3.1
9	女性40歳代	64	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	1.6	29.7	14.1	3.1
10	女性50歳代	147	0.0	0.7	0.0	0.0	2.7	0.7	1.4	1.4	6.1	0.7	12.2	8.2	6.1
11	女性60歳代	152	0.7	6.6	0.7	2.6	0.7	2.0	0.7	0.7	0.0	1.3	17.1	8.6	3.3
12	女性70歳代以上	71	0.0	7.0	5.6	2.8	4.2	1.4	2.8	1.4	1.4	2.8	8.5	7.0	2.8

(21) メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の内容の認知（問19）

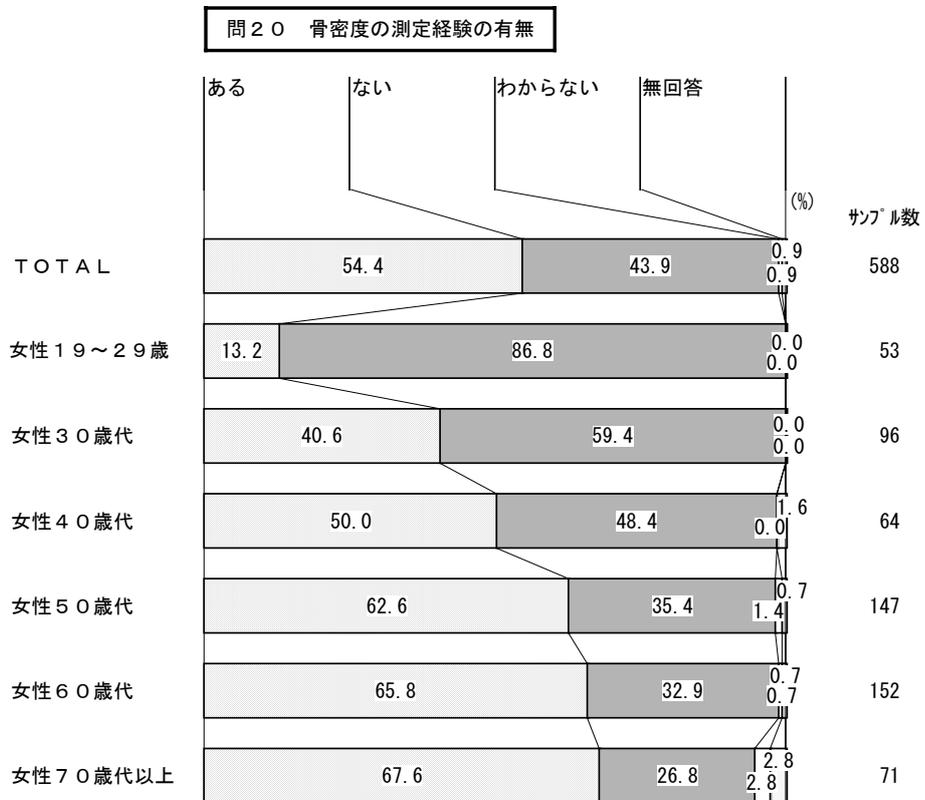
「メタボリックシンドローム」という言葉について、「内容は知っている」が74.0%、「言葉は聞いたことがあるが内容は知らない」は20.6%、「知らない（今回の調査ではじめて聞いた）」は4.2%で、7割以上で認知されている。

男女とも19～29歳での認知度が低く、5割程度にとどまっている。男性30歳代、女性70歳代以上では「知らない」の割合が他年代よりもやや高い。



(22) 骨密度の測定経験の有無 (問 20)

女性を対象に、骨密度の測定経験の有無をたずねたところ「ある」が 54.4%である。年齢が高いほど、骨密度の測定経験が「ある」割合が高く、19～29 歳では 13.2%だが、70 歳代以上では 67.6%である。

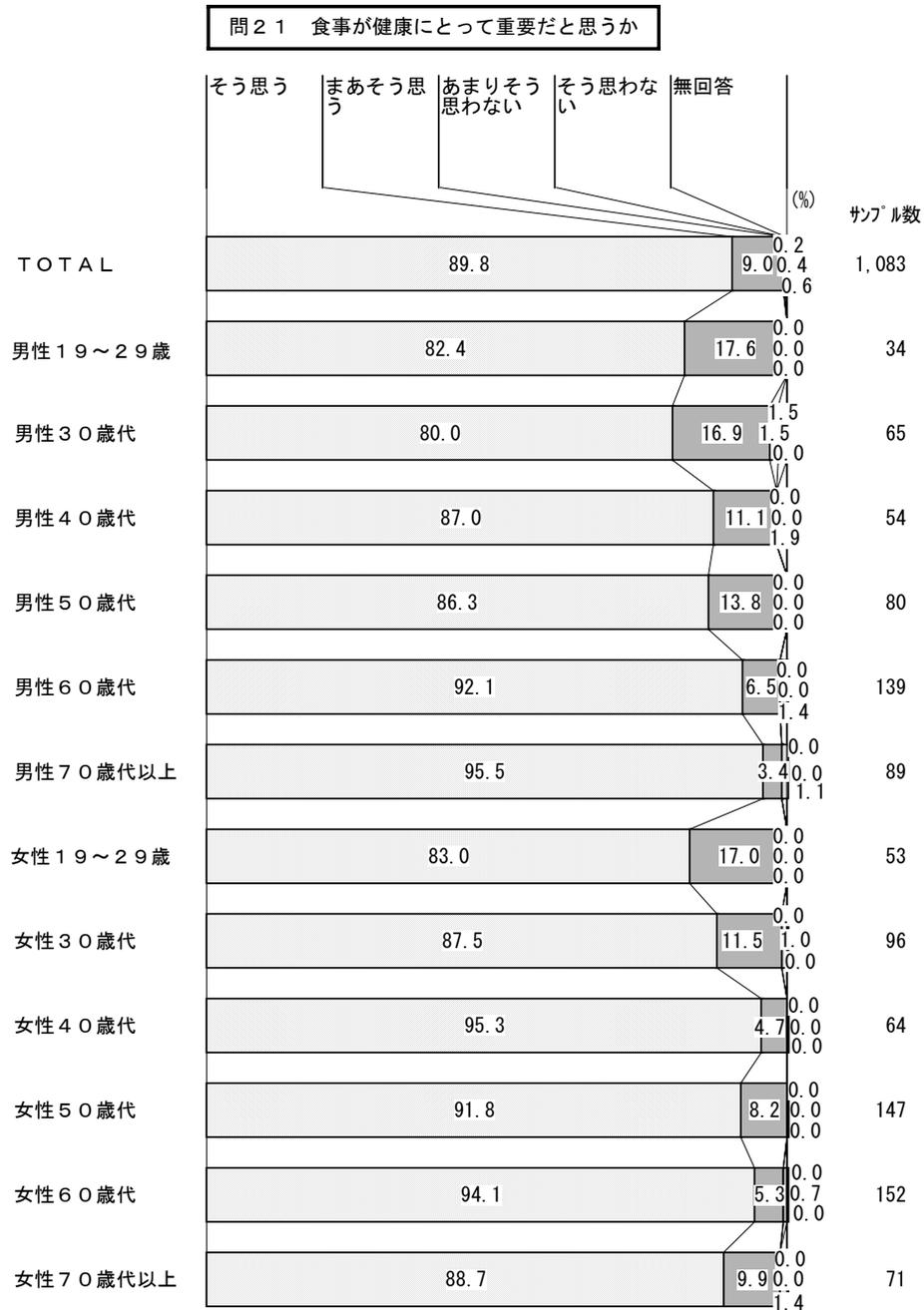


3 食生活・栄養について

(1) 食事の重要性の認識 (問 21)

「そう思う」が 89.8%、「まあそう思う」が 9.0%、「あまりそう思わない」が 0.2%、「そう思わない」が 0.4%である。

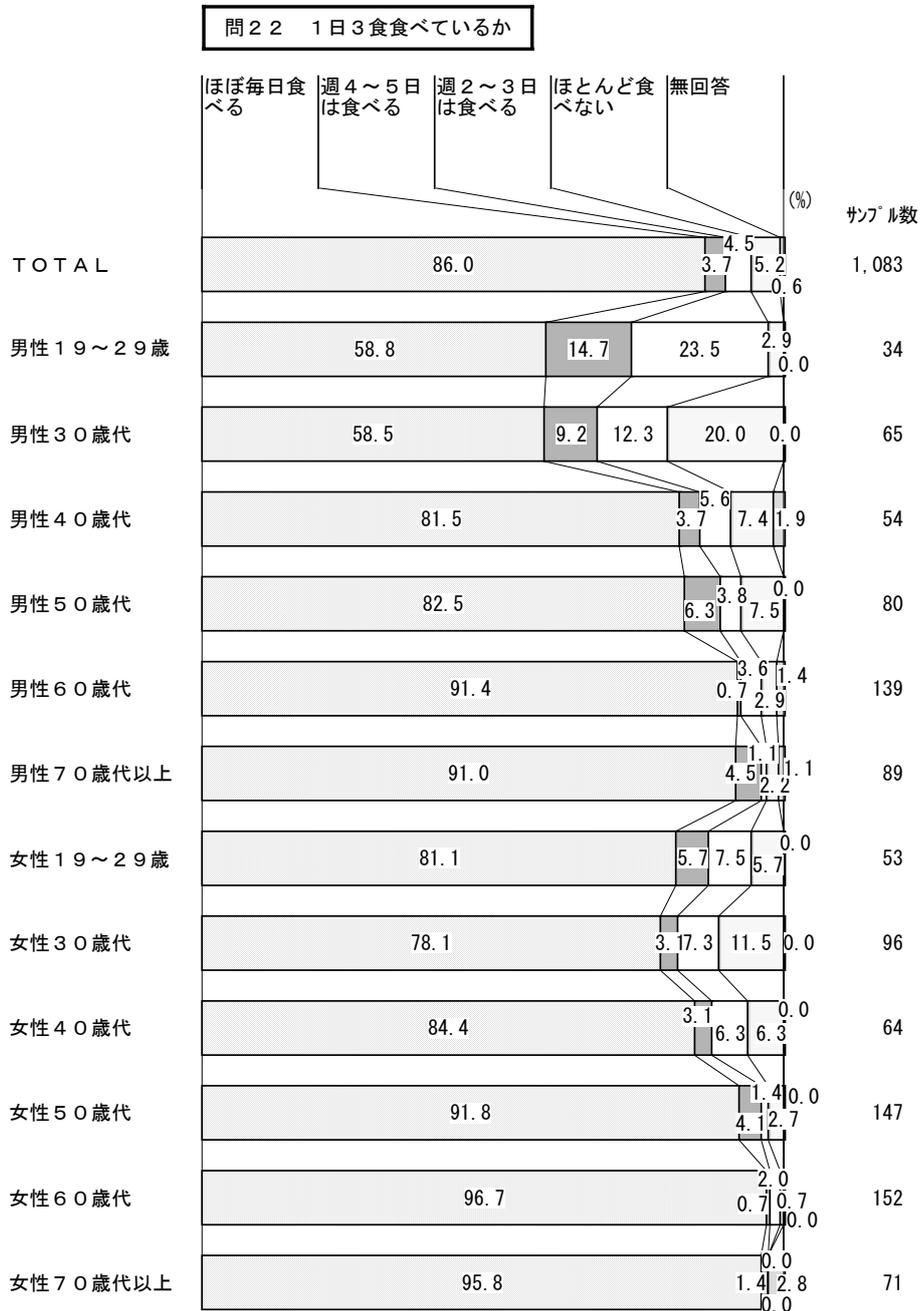
いずれの年代でも「そう思う」の割合が高く、性別・年齢による差異はみられない。



(2) 食事の回数 (問 22)

1日3食食べているかたずねたところ、「ほぼ毎日食べる」が86.0%、「週4～5日は食べる」が3.7%、「週2～3日は食べる」が4.5%、「ほとんど食べない」が5.2%である。

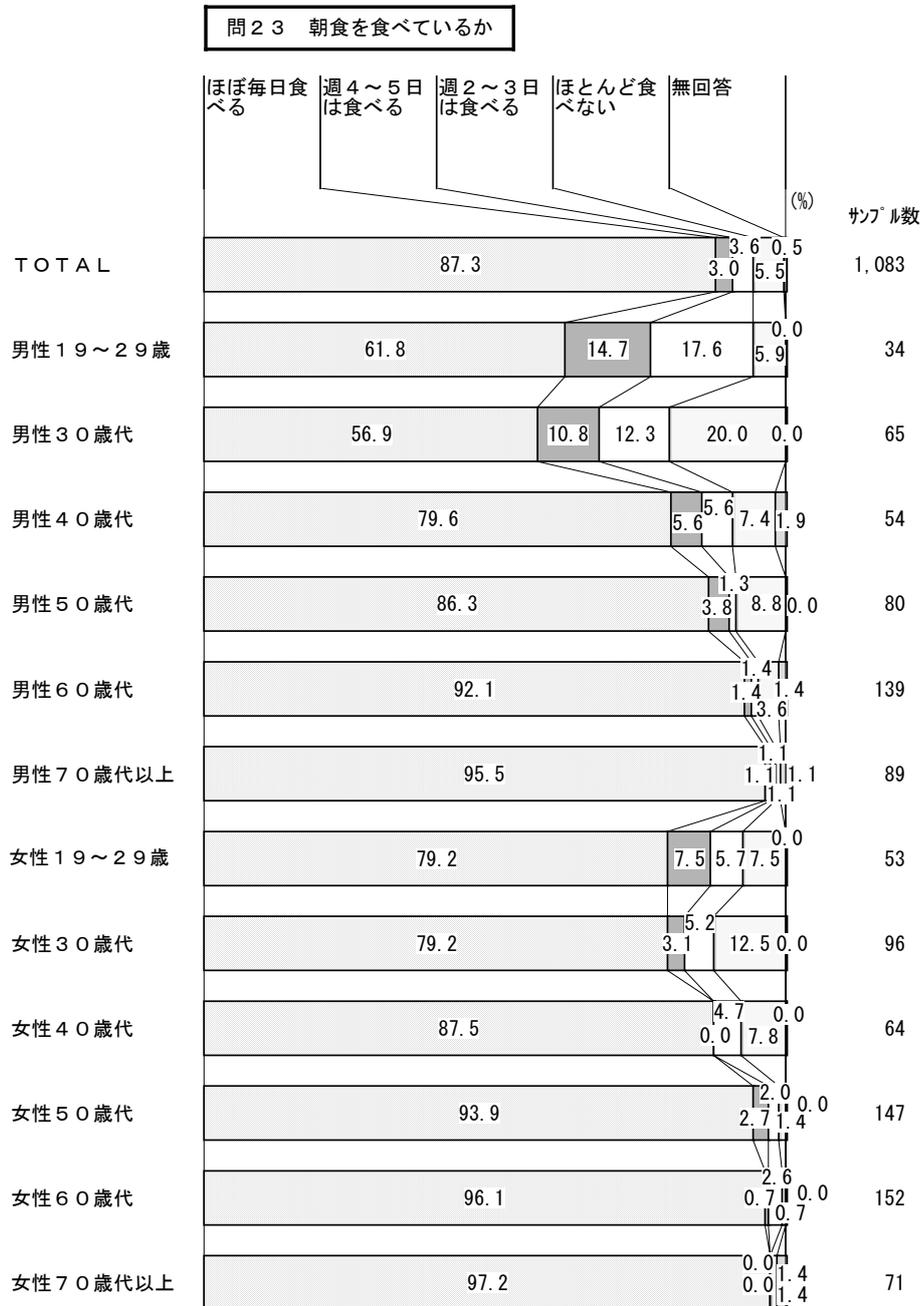
男女とも年齢が低いほど、1日3食を食べない日の割合が高く、特に男性19歳～30歳代では約4割の人が3食食べていない日がある。女性では19～30歳代で約2割が3食食べていない日がある。



(3) 朝食を食べているか (問 23)

朝食を食べる頻度をたずねたところ、「ほぼ毎日食べる」が 87.3%、「週 4～5日は食べる」が 3.0%、「週 2～3日は食べる」が 3.6%、「ほとんど食べない」が 5.5%である。

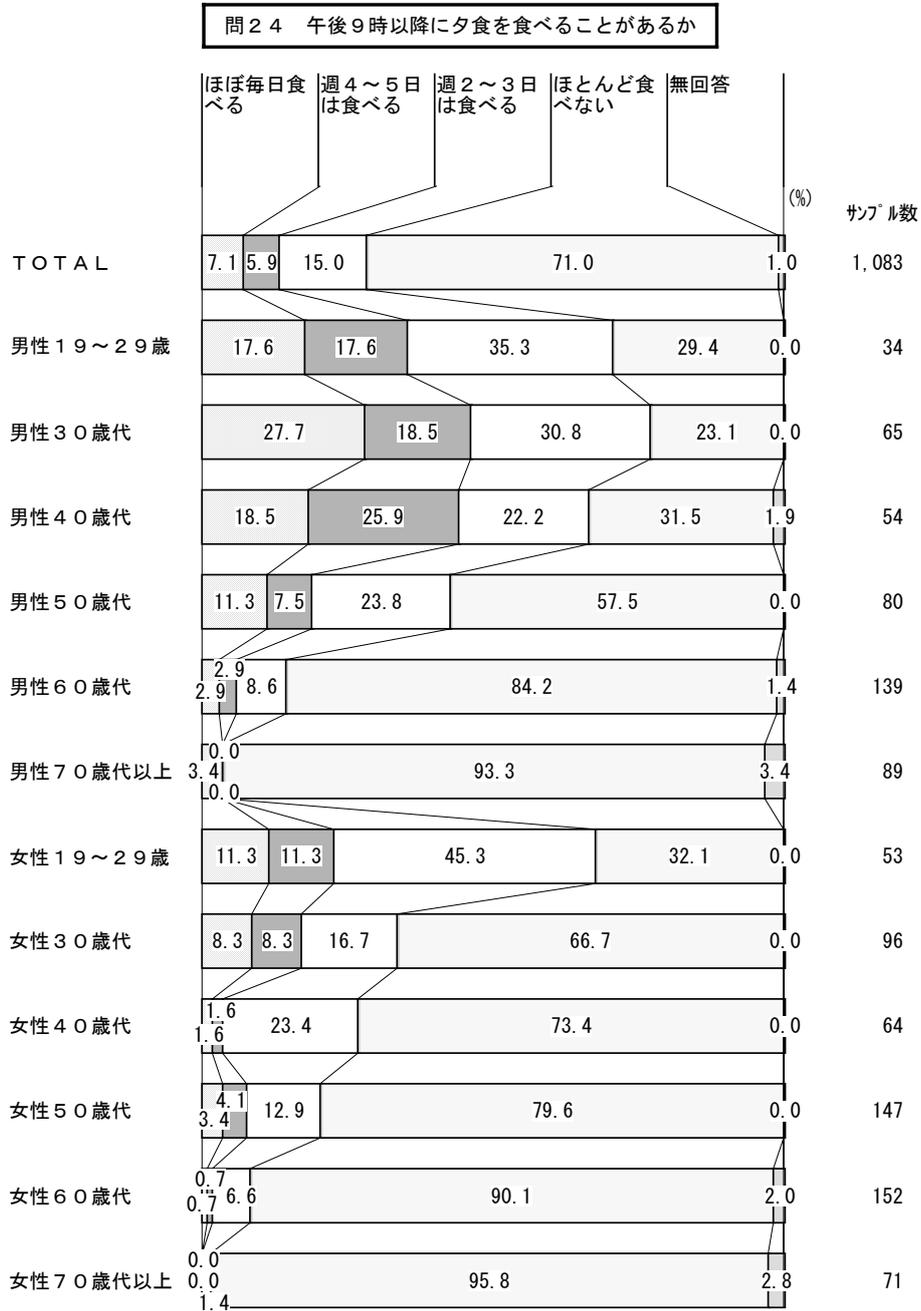
男女とも年齢が低いほど朝食を食べない日の割合が高く、男性では 19 歳～30 歳代で約 4 割の人が朝食を食べていない日がある。特に男性 30 歳代では 2 割が「ほとんど食べない」と回答している。女性では 19～30 歳代で約 2 割が朝食を食べていない日があり、女性 30 歳代では「ほとんど食べない」が約 1 割である。



(4) 午後9時以降に夕食を食べるか (問24)

午後9時以降に夕食を食べる頻度について、「ほぼ毎日食べる」は7.1%、「週4～5日は食べる」が5.9%、「週2～3日は食べる」が15.0%、「ほとんど食べない」は71.0%である。

男女とも年齢が低いほど午後9時以降に夕食を食べている割合が高い。特に男性30歳代では3割近くが「ほぼ毎日食べる」と回答している。30歳代以降は男女で大きな差があり、男性30～50歳代では女性に比べ、9時以降に夕食を食べる頻度が高い。

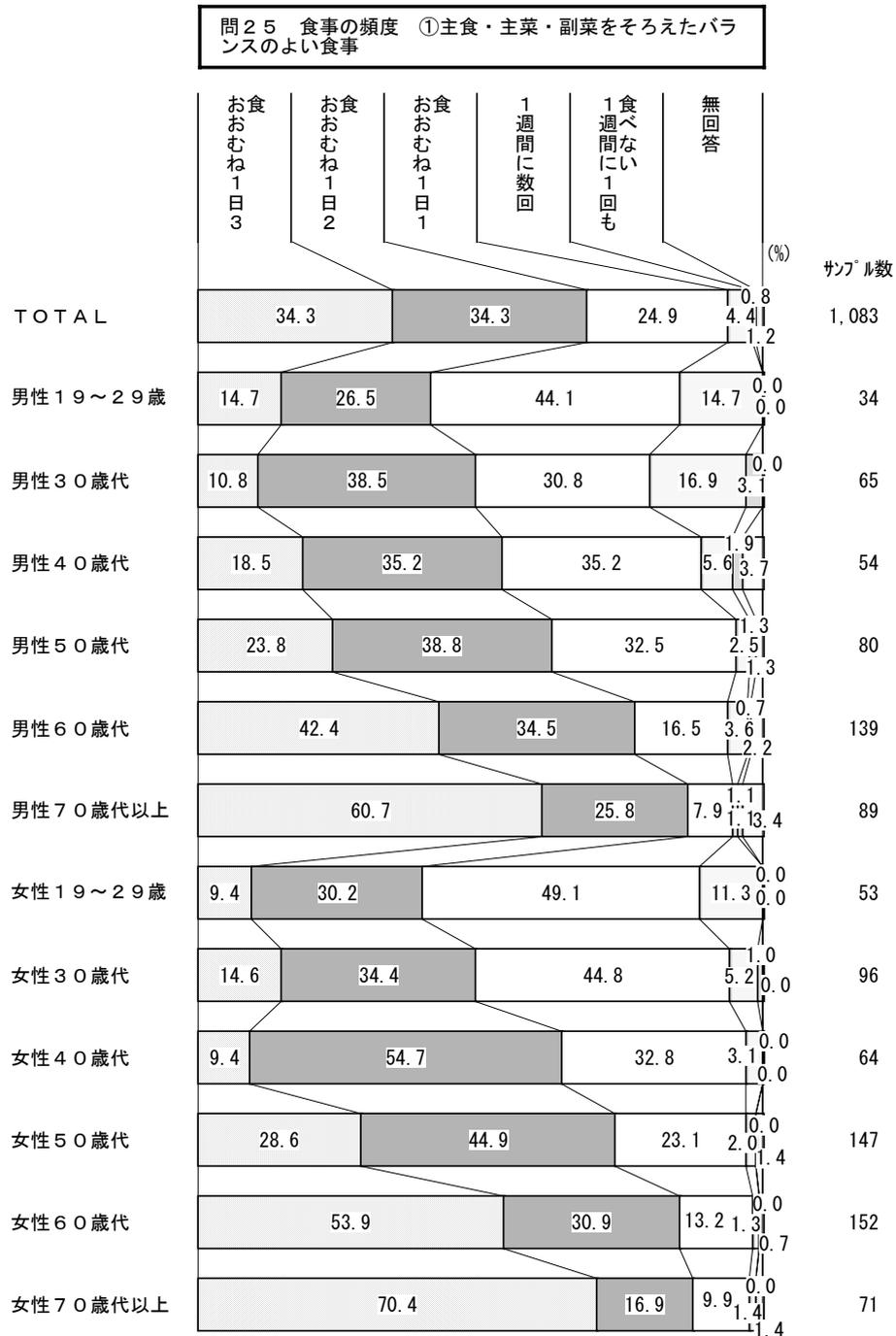


(5) 食事の頻度 (問 25①)

①主食・主菜・副菜をそろえたバランスのよい食事

主食・主菜・副菜をそろえたバランスのよい食事は、「おおむね1日3食」「おおむね1日2食」とともに34.3%、「おおむね1日1食」が24.9%、「1週間に数回」が4.4%、「1週間に1回も食べない」が0.8%である。

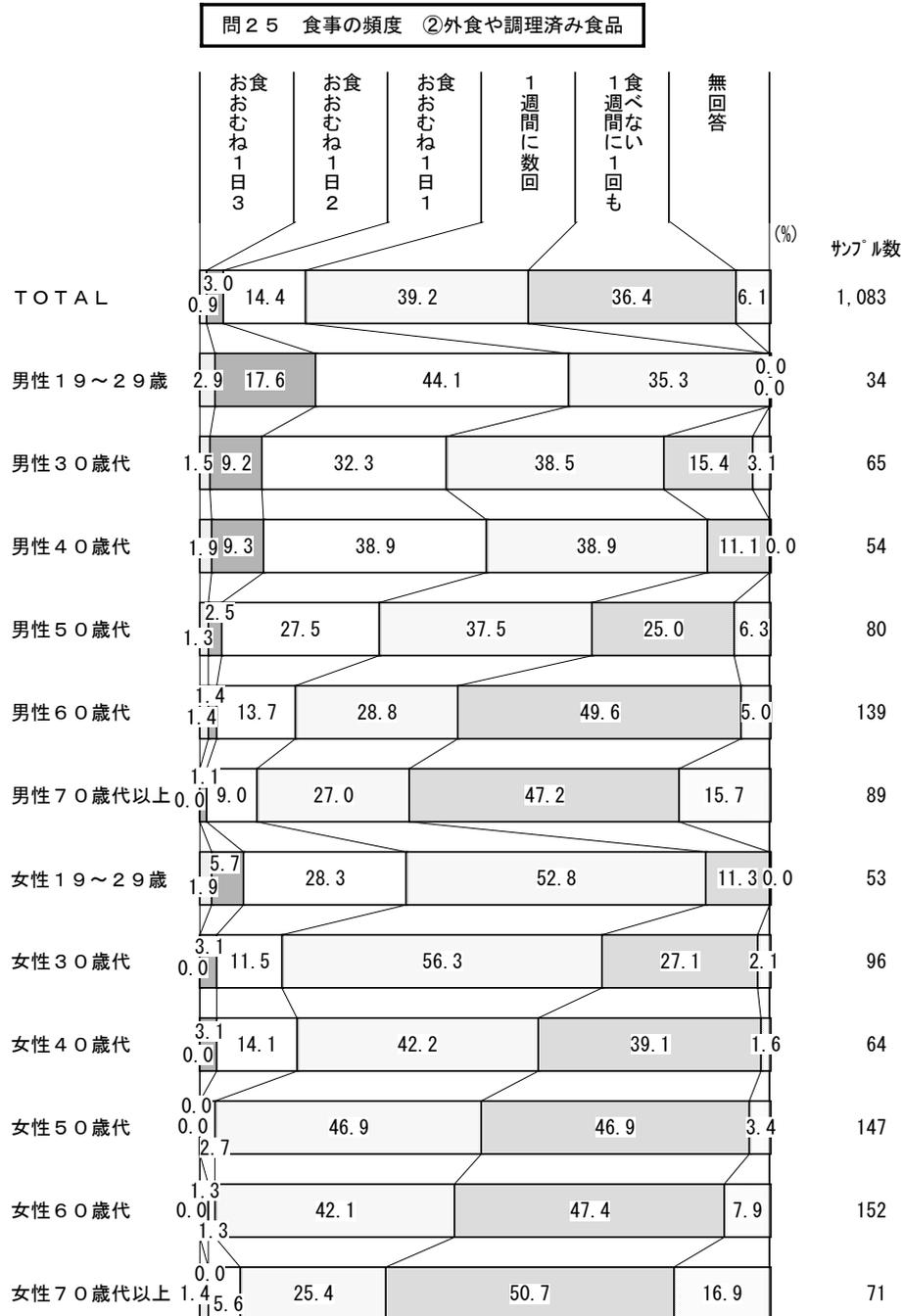
男女とも年齢が高くなるほど、バランスのよい食事がとれている回数が多い。



②外食や調理済み食品

外食や調理済み食品の頻度について、「1週間に数回」が39.2%で最も多い。次いで「1週間に1回も食べない」が36.4%、「おおむね1日1食」は14.4%、「おおむね1日2食」は3.0%、「おおむね1日3食」は0.9%である。

年齢が低いほど外食や調理済み食品の頻度が高い。男性19～29歳では、「1週間に1回も食べない」は0.0%である。女性19～29歳でも9割近くが1週間に1回以上、外食や調理済み食品を利用している。



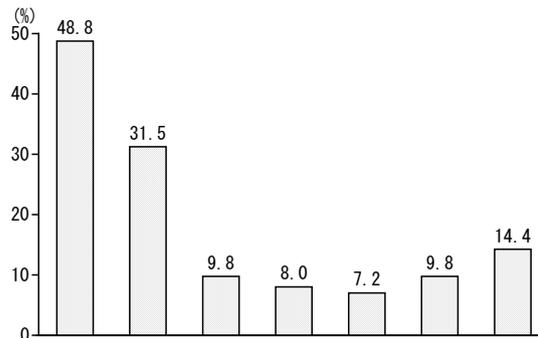
(6) 調理済み食品を利用する理由 (問 25②-1)

問 25②で、調理済み食品を1週間に数回以上利用している人に、調理済み食品を利用する理由をたずねたところ、「手軽なので」が最も多く48.8%、次いで「忙しい、あるいは時間がないので」が31.5%、「自分で食事を準備していない」が9.8%、「おいしいので」が8.0%、「経済的なので」が7.2%である。

性別・年代別にみると、「手軽なので」と回答しているのは、男性では30歳代、70歳代以上、女性では30歳代、50～70歳代以上である。「忙しい、あるいは時間がないので」と回答しているのは、男性では19歳～30歳代、女性では19～29歳、40歳代で割合が高い。

付問25②-1 調理済み食品を利用する理由 (複数回答)

□ TOTAL n=623



性別・年代別	n	3	1	5	2	4	6	7
		手軽なので	忙しい、あるいは時間がない	自分で食事を準備していない	おいしいので	経済的なので	その他	無回答
0 TOTAL	623	48.8	31.5	9.8	8.0	7.2	9.8	14.4
1 男性19～29歳	34	47.1	41.2	11.8	5.9	5.9	11.8	14.7
2 男性30歳代	53	50.9	52.8	9.4	3.8	9.4	11.3	9.4
3 男性40歳代	48	27.1	31.3	12.5	6.3	10.4	10.4	22.9
4 男性50歳代	55	29.1	30.9	14.5	1.8	1.8	9.1	27.3
5 男性60歳代	63	39.7	14.3	7.9	6.3	4.8	12.7	22.2
6 男性70歳代以上	33	57.6	6.1	12.1	3.0	6.1	9.1	21.2
7 女性19～29歳	47	44.7	48.9	14.9	14.9	10.6	6.4	6.4
8 女性30歳代	68	58.8	38.2	2.9	11.8	2.9	7.4	11.8
9 女性40歳代	38	44.7	60.5	5.3	2.6	7.9	10.5	5.3
10 女性50歳代	73	57.5	35.6	6.8	12.3	5.5	6.8	9.6
11 女性60歳代	68	64.7	11.8	10.3	10.3	13.2	13.2	8.8
12 女性70歳代以上	23	60.9	8.7	13.0	8.7	8.7	8.7	17.4

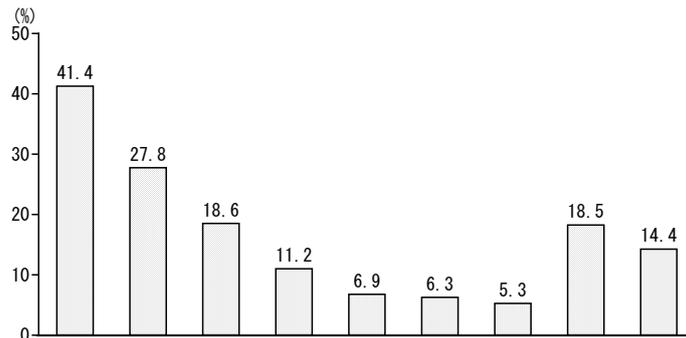
(7) 主に利用するメニュー (付問 25②-2)

主に調理済み食品を利用するメニューは、「弁当」が41.4%で最も多く、次いで「揚げ物」が27.8%、「サラダ」が18.6%、「煮物」が11.2%である。「その他」が18.5%であるが、具体的な内容としては、「麺類」や「寿司」などの記入がみられた。

性別・年代別で見ると、男性19～29歳、女性19～29歳では「弁当」の割合が他年代よりも高い。女性では「揚げ物」「サラダ」を利用している割合が男性より高い。また、女性70歳代以上では、「弁当」を除く全ての項目で利用している割合が高く、特に「煮物」「あえ物」が他の年代より高い。

付問25②-2 主に利用するメニュー (複数回答)

□ TOTAL n=623

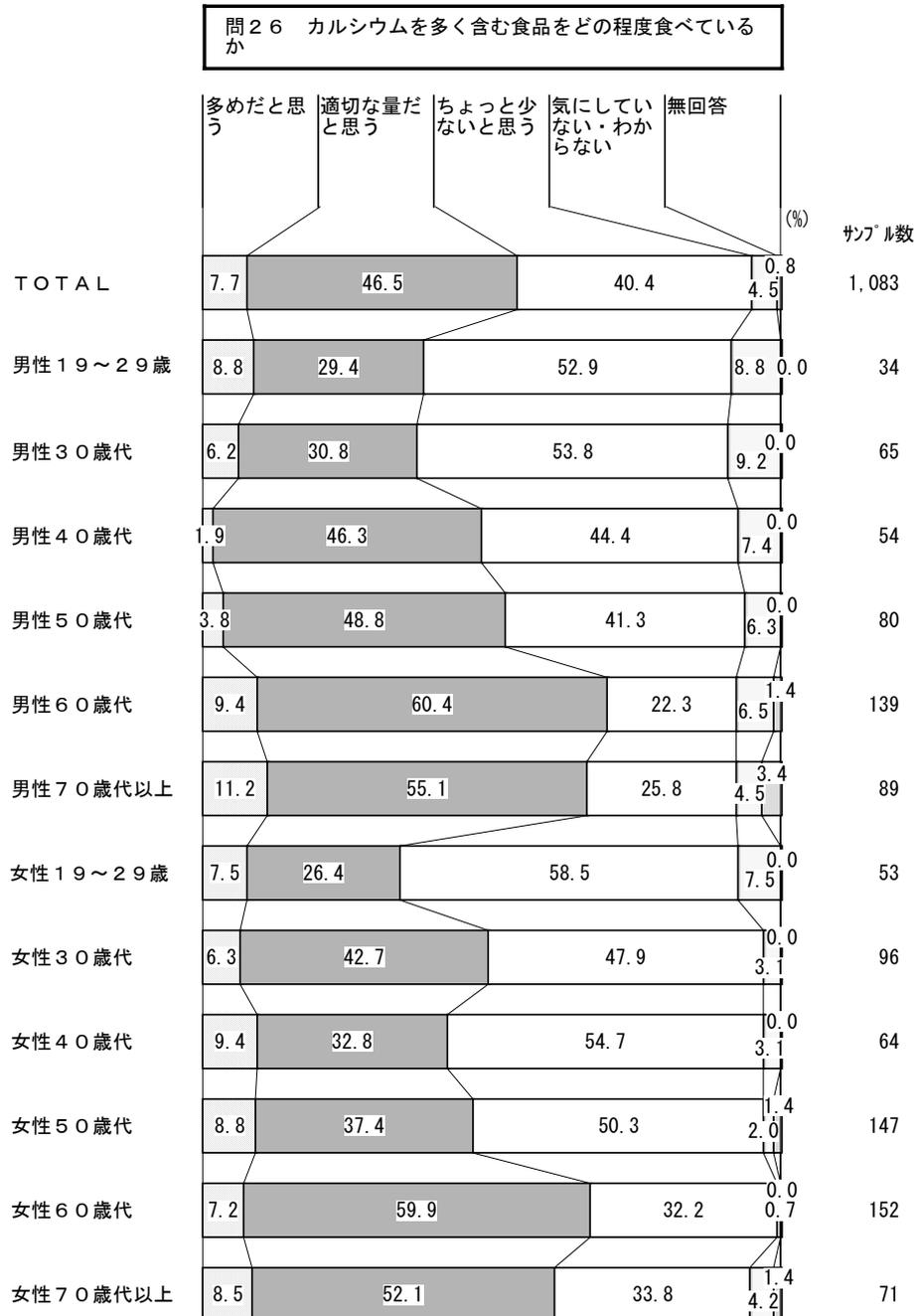


性別・年代別		n	1 弁当	2 揚げ物	7 サラダ	4 煮物	3 焼き物	6 あえ物	5 炒め物	8 その他	9 無回答
0	TOTAL	623	41.4	27.8	18.6	11.2	6.9	6.3	5.3	18.5	14.4
1	男性19～29歳	34	52.9	17.6	11.8	2.9	5.9	0.0	8.8	17.6	20.6
2	男性30歳代	53	49.1	30.2	9.4	3.8	9.4	3.8	7.5	18.9	9.4
3	男性40歳代	48	47.9	16.7	16.7	12.5	8.3	2.1	4.2	12.5	20.8
4	男性50歳代	55	45.5	5.5	7.3	5.5	3.6	0.0	3.6	27.3	23.6
5	男性60歳代	63	46.0	11.1	14.3	11.1	9.5	4.8	4.8	22.2	20.6
6	男性70歳代以上	33	45.5	24.2	15.2	12.1	6.1	3.0	6.1	15.2	27.3
7	女性19～29歳	47	66.0	23.4	38.3	8.5	2.1	2.1	0.0	17.0	6.4
8	女性30歳代	68	35.3	27.9	19.1	5.9	5.9	5.9	2.9	27.9	13.2
9	女性40歳代	38	28.9	55.3	36.8	10.5	5.3	5.3	10.5	7.9	5.3
10	女性50歳代	73	28.8	43.8	16.4	9.6	4.1	11.0	4.1	15.1	11.0
11	女性60歳代	68	27.9	41.2	16.2	14.7	2.9	8.8	1.5	20.6	10.3
12	女性70歳代以上	23	26.1	43.5	30.4	39.1	17.4	30.4	17.4	8.7	13.0

(8) カルシウムの摂取状況 (問 26)

「適切な量だと思う」が 46.5%で最も多く、「ちょっと少ないと思う」が 40.4%、「多めだと思う」が 7.7%、「気にしていない・わからない」が 4.5%である。

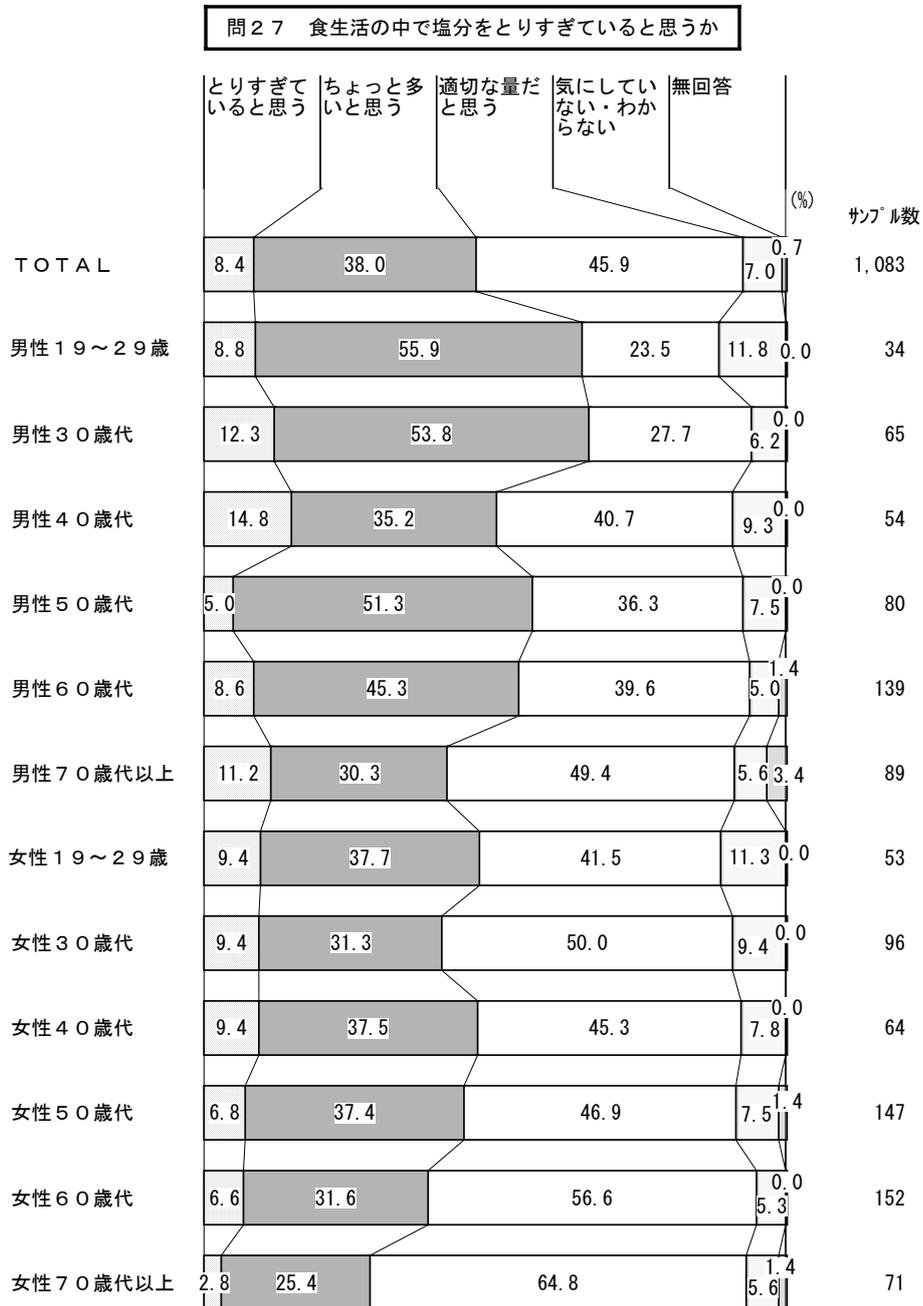
性別・年代別でみると、男性 19～29 歳・30 歳代、女性 19～29 歳・40 歳代・50 歳代では「ちょっと少ないと思う」が 5 割を超えている。



(9) 塩分の摂取量についての認識 (問 27)

「とりすぎていると思う」が 8.4%、「ちょっと多いと思う」が 38.0%で、合わせて 46.4%が、適量より塩分を多く摂っていると感じている。「適切な量だと思う」は 45.9%、「気にしていない・わからない」が 7.0%である。

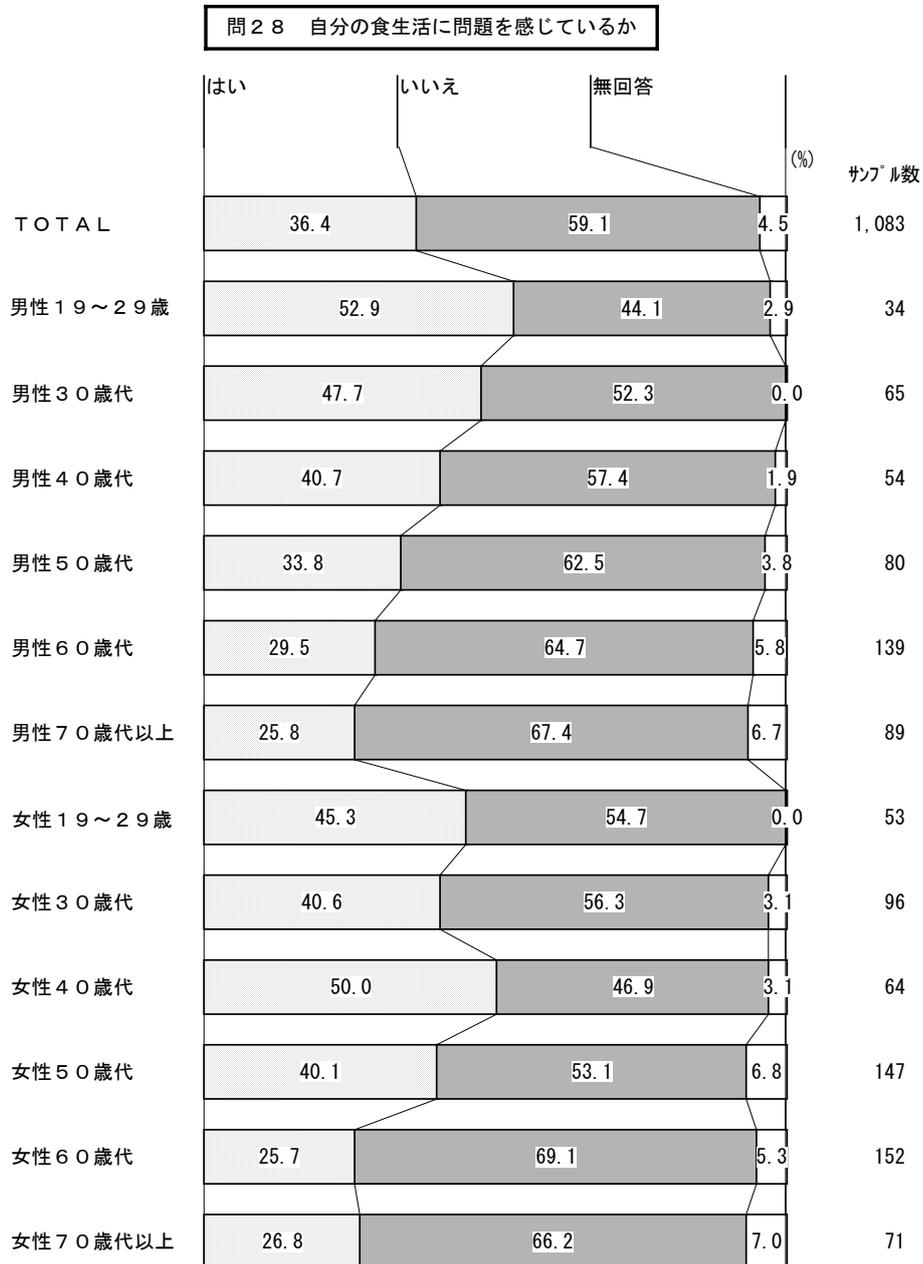
男女とも 19～29 歳では「気にしていない・わからない」が 1 割を超えている。男性 19～29 歳・30 歳代では、「とりすぎていると思う」「ちょっと多いと思う」合わせて 6 割以上である。



(10) 食生活についての問題意識 (問 28)

自分の食生活に問題を感じているかについて、「はい」が 36.4%、「いいえ」が 59.1%である。

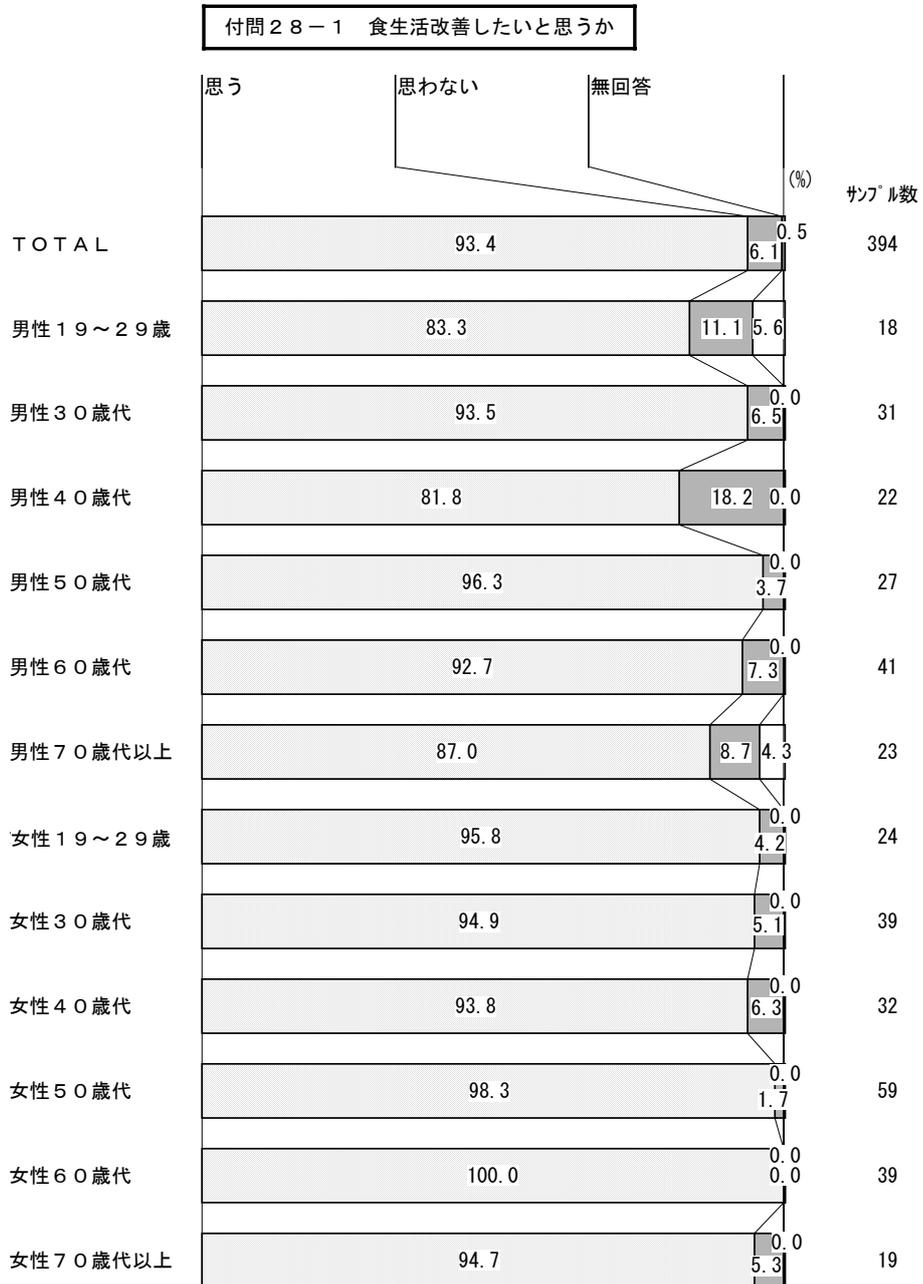
男性では 19～29 歳・30 歳代、女性では 19～29 歳・40 歳代で食生活に問題を感じている人が多い。



(11) 食生活改善についての意向（付問 28-1）

問 28 で「はい」と回答した人に、食生活を改善したいと思うかたずねたところ、「思う」が 93.4%、「思わない」が 6.1%であった。

いずれの年代でも「思う」と回答した人がほとんどだが、男性 19～29 歳では 11.1%、男性 40 歳代では 18.2%が「思わない」と回答しており、他の年代に比べやや多い。

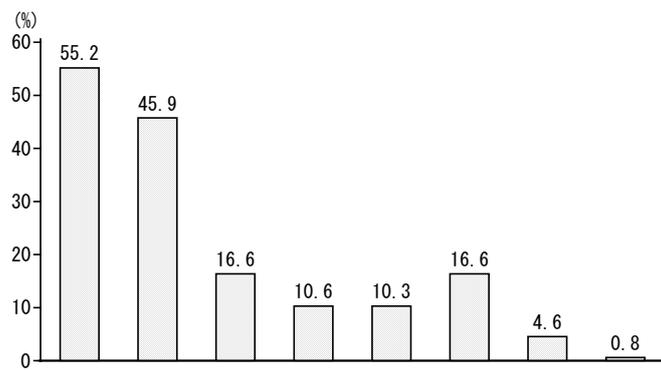


(12) 食生活改善に今後必要なこと (付問 28-2)

付問 28-1 で「思う」と回答した人に、食生活をよくするために必要なことをたずねたところ、「食生活に関する知識・情報」が 55.2% で最も多く、次いで「メニューの選び方や、栄養成分表示」が 45.9%、「食生活に関する講習会、講演会、学習会」が 16.6% である。

「食生活に関する知識・情報」は女性 19～29 歳で、「メニューの選び方や、栄養成分表示」は男性 19～29 歳、女性 30 歳～60 歳代で割合が高い。「食生活に関する講習会、講演会、学習会」は男性 70 歳代以上で割合が高い。「食生活改善に向けて一緒にがんばれる仲間」は男性 19～29 歳・30 歳代で割合が高い。「食生活に関する相談先」は男性 19～29 歳・40 歳代・60 歳代で割合が高い。

付問 28-2 食生活改善に今後必要なこと (複数回答)
 □ TOTAL n=368

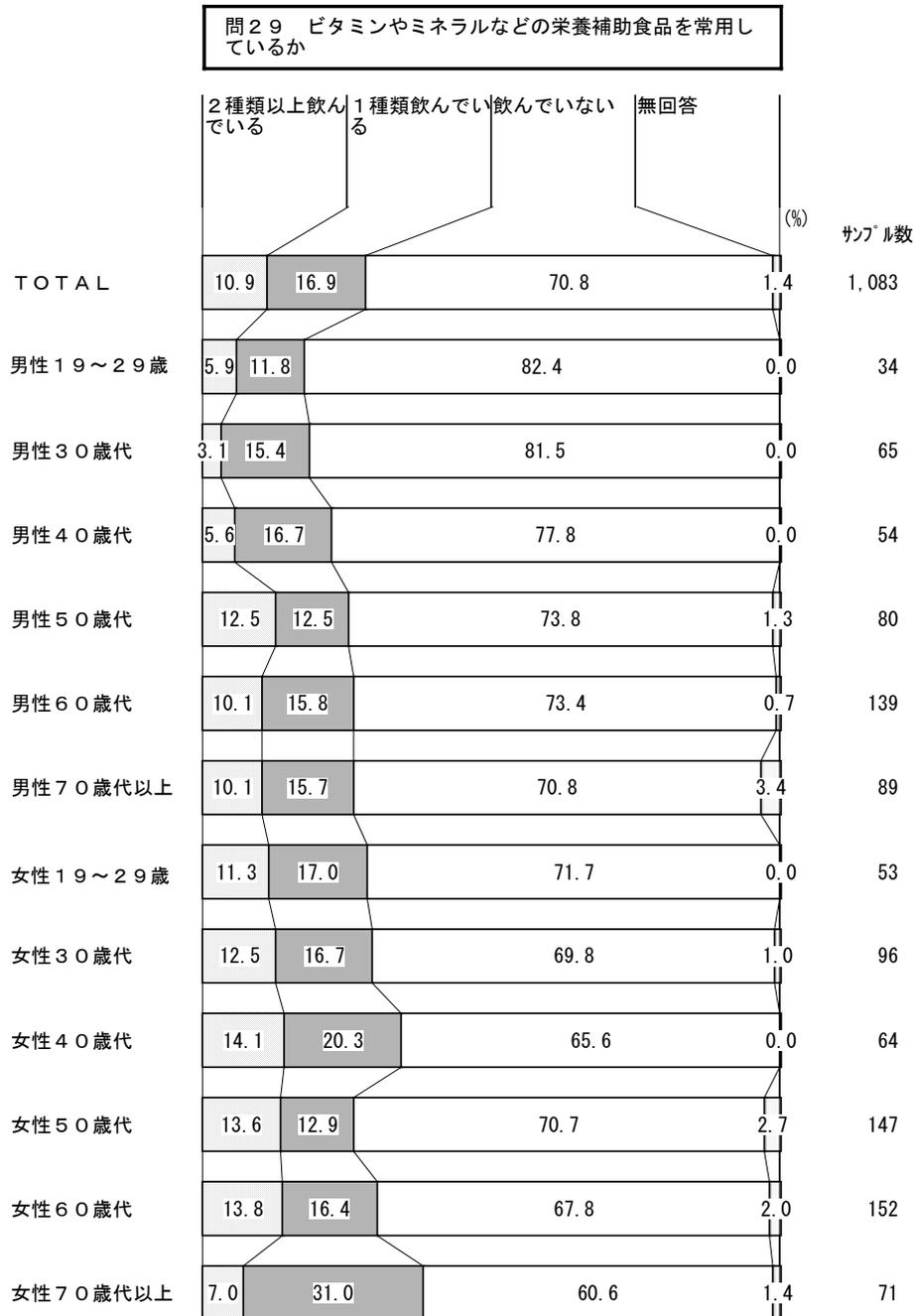


性別・年代別	n	1	5	3	4	2	6	7	8
		食生活に関する知識・情報	メニューの選び方や、栄養成分表示	講習会、講演会、学習会	一緒にがんばれる仲間	食生活に関する相談先	その他	特に必要なものはない	無回答
0 TOTAL	368	55.2	45.9	16.6	10.6	10.3	16.6	4.6	0.8
1 男性 19～29 歳	15	53.3	60.0	6.7	20.0	20.0	13.3	6.7	0.0
2 男性 30 歳代	29	51.7	34.5	6.9	20.7	13.8	27.6	3.4	0.0
3 男性 40 歳代	18	50.0	22.2	11.1	11.1	33.3	22.2	16.7	0.0
4 男性 50 歳代	26	61.5	34.6	19.2	15.4	15.4	15.4	3.8	3.8
5 男性 60 歳代	38	50.0	39.5	23.7	5.3	21.1	18.4	7.9	0.0
6 男性 70 歳代以上	20	50.0	35.0	45.0	5.0	15.0	10.0	0.0	0.0
7 女性 19～29 歳	23	73.9	47.8	8.7	17.4	0.0	21.7	4.3	0.0
8 女性 30 歳代	37	59.5	54.1	18.9	10.8	0.0	10.8	2.7	0.0
9 女性 40 歳代	30	50.0	53.3	10.0	6.7	3.3	23.3	0.0	0.0
10 女性 50 歳代	58	58.6	56.9	17.2	10.3	3.4	13.8	3.4	0.0
11 女性 60 歳代	39	53.8	53.8	15.4	5.1	10.3	15.4	5.1	0.0
12 女性 70 歳代以上	18	61.1	38.9	16.7	11.1	11.1	11.1	5.6	0.0

(13) 栄養補助食品の利用状況（問 29）

ビタミンやミネラルなどの栄養補助食品を常用しているかについて、「飲んでいない」が70.8%である。常用している人の内訳は、「1種類飲んでいる」が16.9%、「2種類以上飲んでいる」が10.9%である。

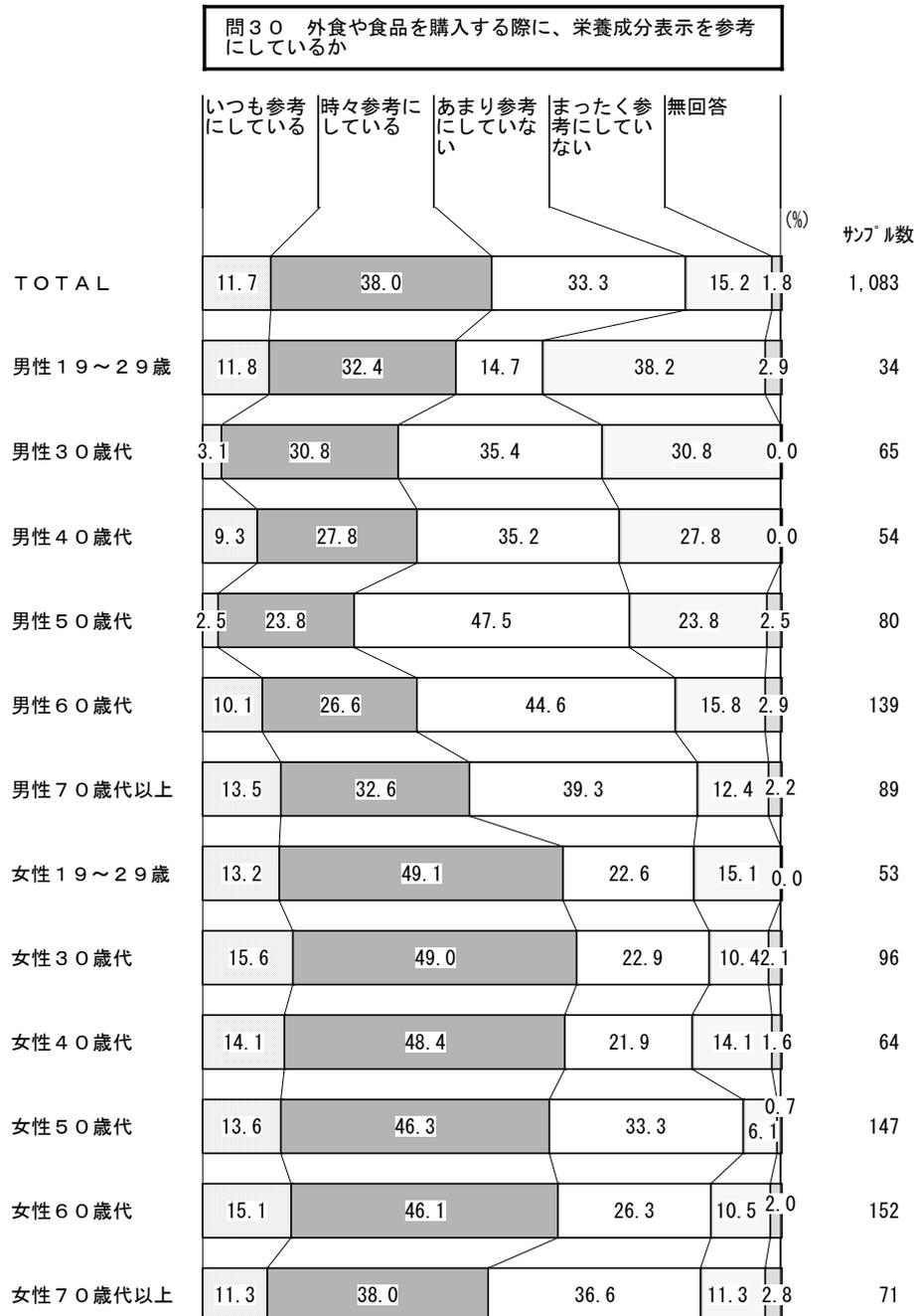
男性より女性のほうが栄養補助食品を常用している割合がやや高く、特に女性70歳代以上では4割近くが常用している。



(14) 栄養成分表示の参考状況（問30）

「あまり参考にしていない」が33.3%、「まったく参考にしていない」が15.2%で約5割は、栄養成分表示を参考にしていない。

男性の方が「あまり参考にしていない」「まったく参考にしていない」の割合が高く、特に男性50歳代では7割が栄養成分表示を参考にしていない。女性では、「いつも参考をしている」「時々参考をしている」合わせておおむね6割以上であるが、女性70歳代以上では合わせて5割程度と、他の年代に比べやや低い。

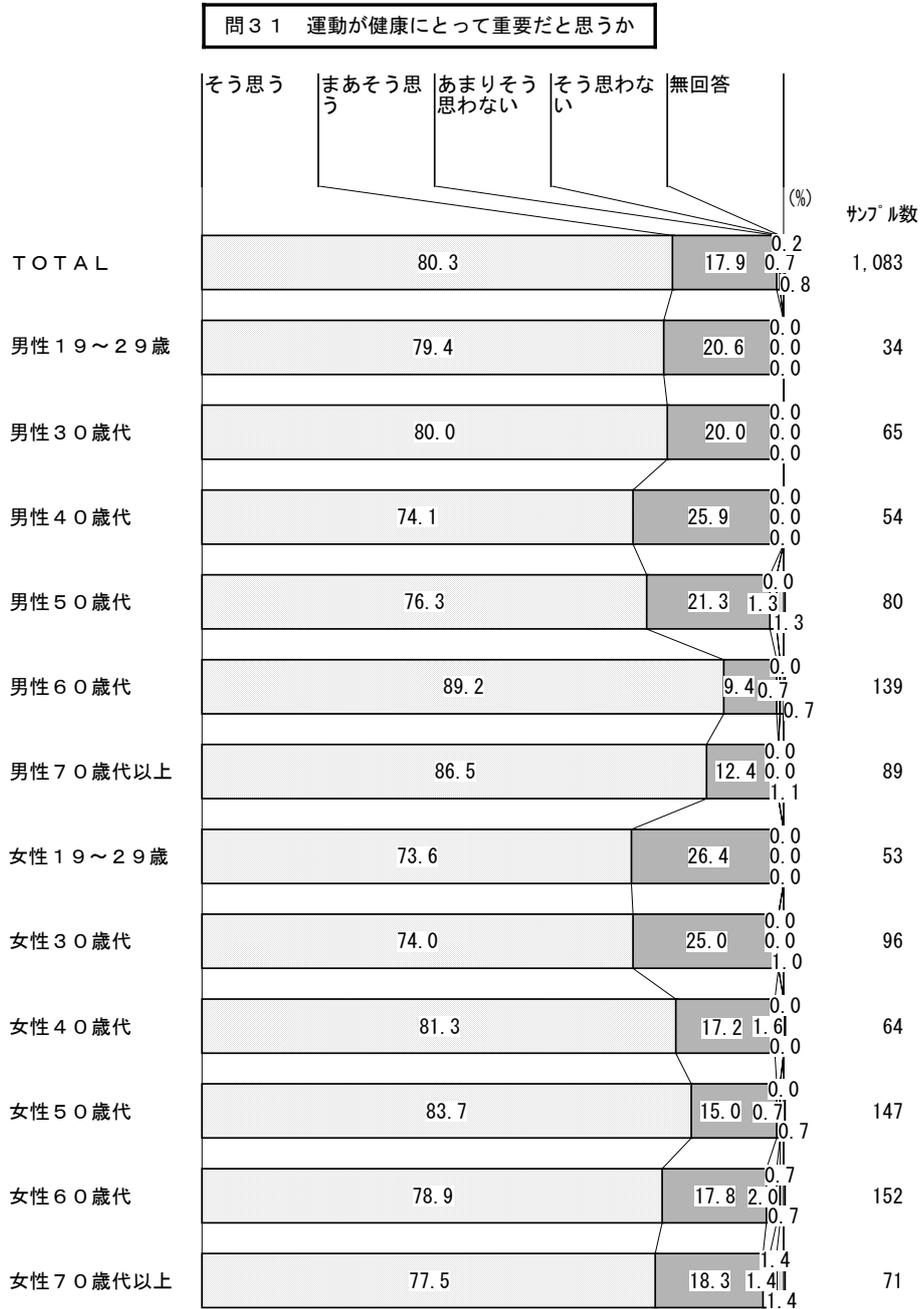


4 身体活動・運動について

(1) 運動が健康にとって重要だと思うか (問 31)

運動が健康にとって重要かについて、「そう思う」が 80.3%、「まあそう思う」が 17.9%、「あまりそう思わない」が 0.7%、「そう思わない」が 0.2%である。

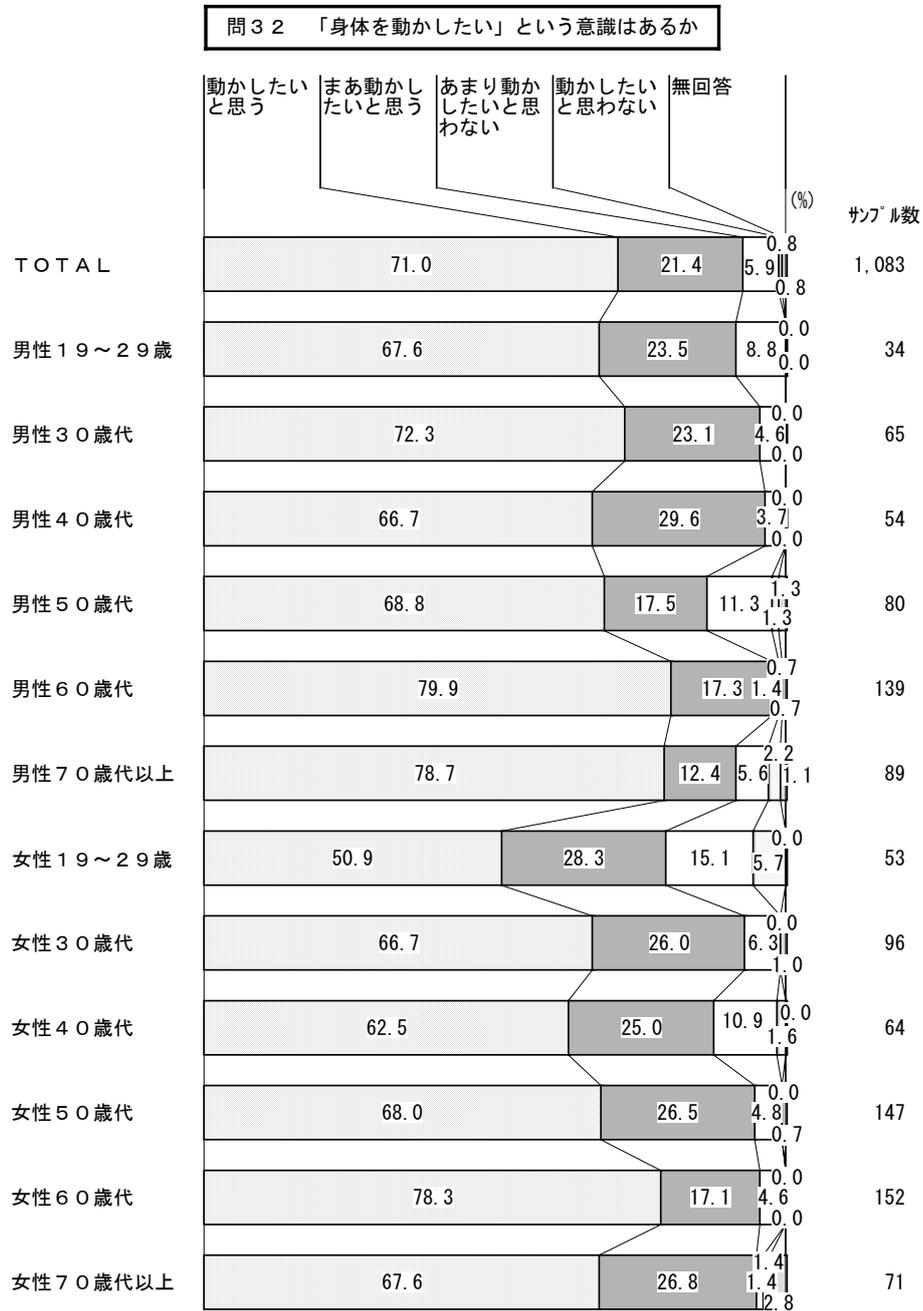
男女とも「そう思う」がどの年代も 7 割以上だが、男性では 60 歳代・70 歳代以上で、女性では 40 歳代・50 歳代で特に「そう思う」の割合が高い。



(2) 「身体を動かしたい」という意識の有無 (問 32)

「身体を動かしたい」という意識はあるかについて、「動かしたいと思う」が71.0%、「まあ動かしたいと思う」が21.4%、「あまり動かしたいと思わない」が5.9%、「動かしたいと思わない」が0.8%である。

男女とも「動かしたいと思う」の割合が最も高いが、女性19～29歳では50.9%と他の年代に比べ割合が低い。

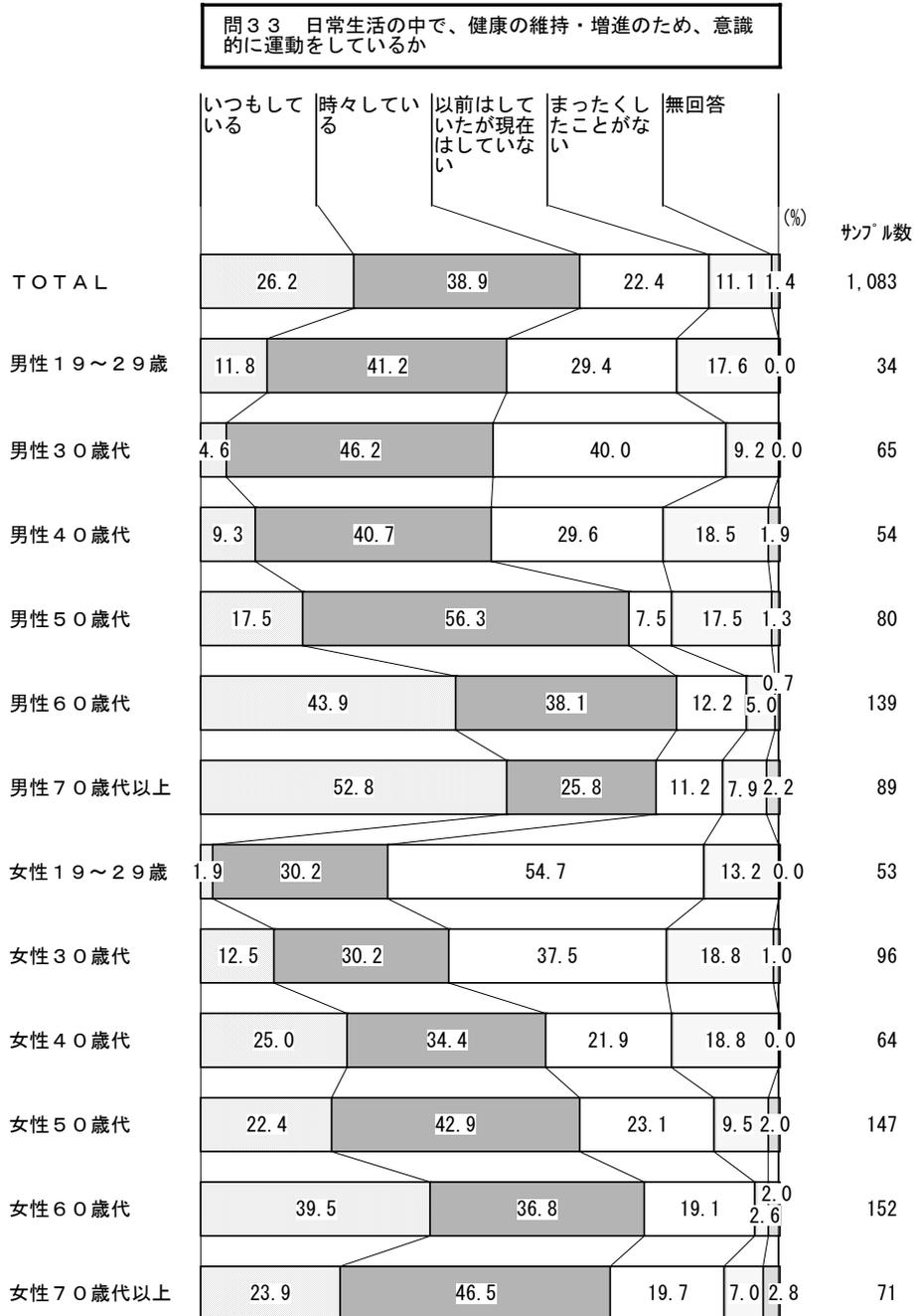


(3) 日常生活の中の運動の程度 (問 33)

日常生活の中で、意識的に運動しているかについて、「いつもしている」は 26.2%、「時々している」は 38.9%、「以前はしていたが現在はしていない」が 22.4%、「まったくしたことがない」が 11.1%である。

男女とも年齢が高い方が、「いつもしている」「時々している」の割合が高い。

女性 19～29 歳・30 歳代で、「以前はしていたが現在はしていない」「まったくしたことがない」の割合が高く、前項 (問 32) でも女性 19～29 歳は身体を動かしたいという意識が低かったことから、運動につながらないことがうかがえる。

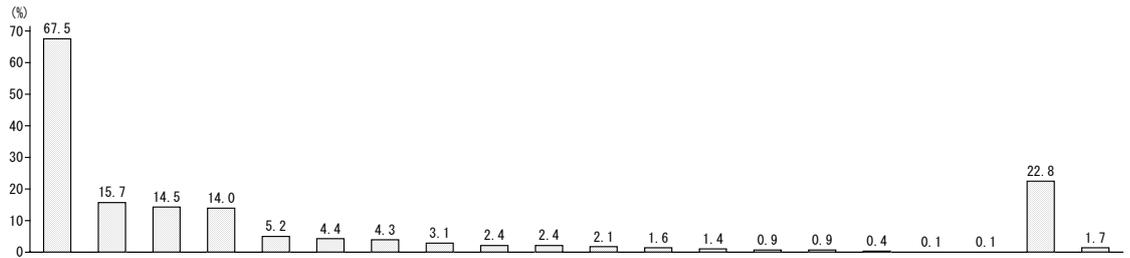


(4) 運動やスポーツの種類 (付問 33-1)

問 33 で、「いつもしている」「時々している」と回答した人に、どのような運動やスポーツをしているかたずねたところ、「ウォーキング (散歩を含む)」が 67.5%で最も多い。次いで「ラジオ体操」(15.7%)、「筋力トレーニング」(14.5%)、「健康体操」(14.0%)となっている。「その他」(22.8%)の具体的内容では、「ジョギング」「太極拳」「ダンス」「ゴルフ」「登山」「サイクリング」などがあげられている。

「ウォーキング」は男女とも 50 歳代以上で割合が高い。

付問 33-1 どのような運動やスポーツをしているか (複数回答)
 □ TOTAL n=705



性別・年代別	n	2	1	4	5	6	11	8	3	9	17	13	12	15	14	18	10	7	16	19	20
		ウォーキング (散歩を含む)	ラジオ体操	筋力トレーニング	健康体操	水泳	テニス (硬・軟)	グラウンドゴルフ	エアロビクス	バレーボール	野球・ソフトボール	卓球	バドミントン	サッカー	剣道・柔道・空手	陸上競技	バスケットボール	ゲートボール	ラゲビー	その他	無回答
0 TOTAL	705	67.5	15.7	14.5	14.0	5.2	4.4	4.3	3.1	2.4	2.4	2.1	1.6	1.4	0.9	0.9	0.4	0.1	0.1	22.8	1.7
1 男性 19~29歳	18	38.9	0.0	38.9	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	27.8	0.0
2 男性 30歳代	33	36.4	6.1	27.3	12.1	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	3.0	9.1	3.0	6.1	3.0	0.0	0.0	30.3	3.0
3 男性 40歳代	27	44.4	11.1	25.9	0.0	0.0	3.7	7.4	0.0	0.0	14.8	0.0	3.7	3.7	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
4 男性 50歳代	59	84.7	11.9	13.6	6.8	1.7	3.4	0.0	0.0	1.7	3.4	1.7	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.3	0.0
5 男性 60歳代	114	73.7	16.7	12.3	8.8	7.9	4.4	6.1	0.0	1.8	1.8	5.3	2.6	0.0	2.6	0.9	0.0	0.0	0.0	20.2	1.8
6 男性 70歳代以上	70	78.6	14.3	8.6	17.1	2.9	1.4	14.3	0.0	1.4	2.9	0.0	0.0	0.0	2.9	1.4	0.0	0.0	1.4	28.6	1.4
7 女性 19~29歳	17	41.2	0.0	23.5	0.0	0.0	23.5	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	47.1	5.9
8 女性 30歳代	41	53.7	2.4	26.8	19.5	4.9	4.9	0.0	9.8	2.4	0.0	4.9	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	29.3	0.0
9 女性 40歳代	38	47.4	13.2	10.5	18.4	13.2	7.9	0.0	7.9	18.4	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	26.3	2.6
10 女性 50歳代	96	69.8	13.5	12.5	17.7	9.4	7.3	1.0	8.3	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	16.7	1.0
11 女性 60歳代	116	77.6	29.3	7.8	16.4	6.0	3.4	6.9	4.3	1.7	0.0	3.4	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	21.6	0.0
12 女性 70歳代以上	50	70.0	18.0	12.0	28.0	0.0	2.0	4.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.0	2.0

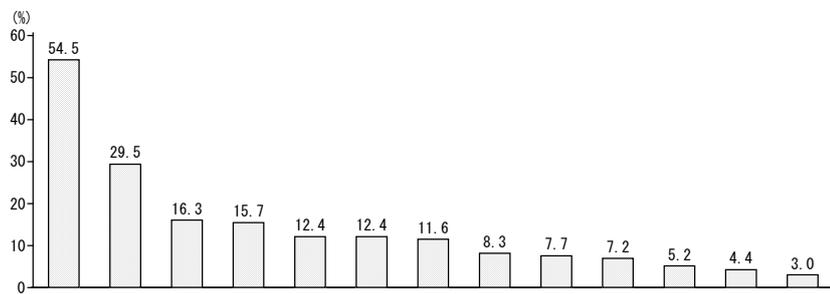
(5) 運動・スポーツができていない理由 (付問 33-2)

問 33 で、「以前はしていたが現在はしていない」「まったくしたことがない」と回答した人に、運動・スポーツができていない理由をたずねたところ、「時間がない」が 54.5%で最も多い。次いで「きっかけがない」(29.5%)、「一緒に運動する仲間がいない」(16.3%)、「家族の世話がある」(15.7%)、「体調がよくない」(12.4%)、「何をしたらよいかわからない」(12.4%)、「運動は好きではない」(11.6%)となっている。

「時間がない」は男性 30 歳代・40 歳代、女性 19～29 歳・40 歳代で割合が高い。「きっかけがない」は女性 19～29 歳が他年代に比べ高い。「一緒に運動をする仲間がいない」は男性 19～29 歳で割合が高い。「家族の世話がある」は女性 30 歳代で特に高い。「体調がよくない」は男性 70 歳代以上、女性 60 歳代・70 歳代以上など高年齢層で割合が高い。

付問 33-2 日頃、運動・スポーツができていない理由 (複数回答)

□ TOTAL n=363

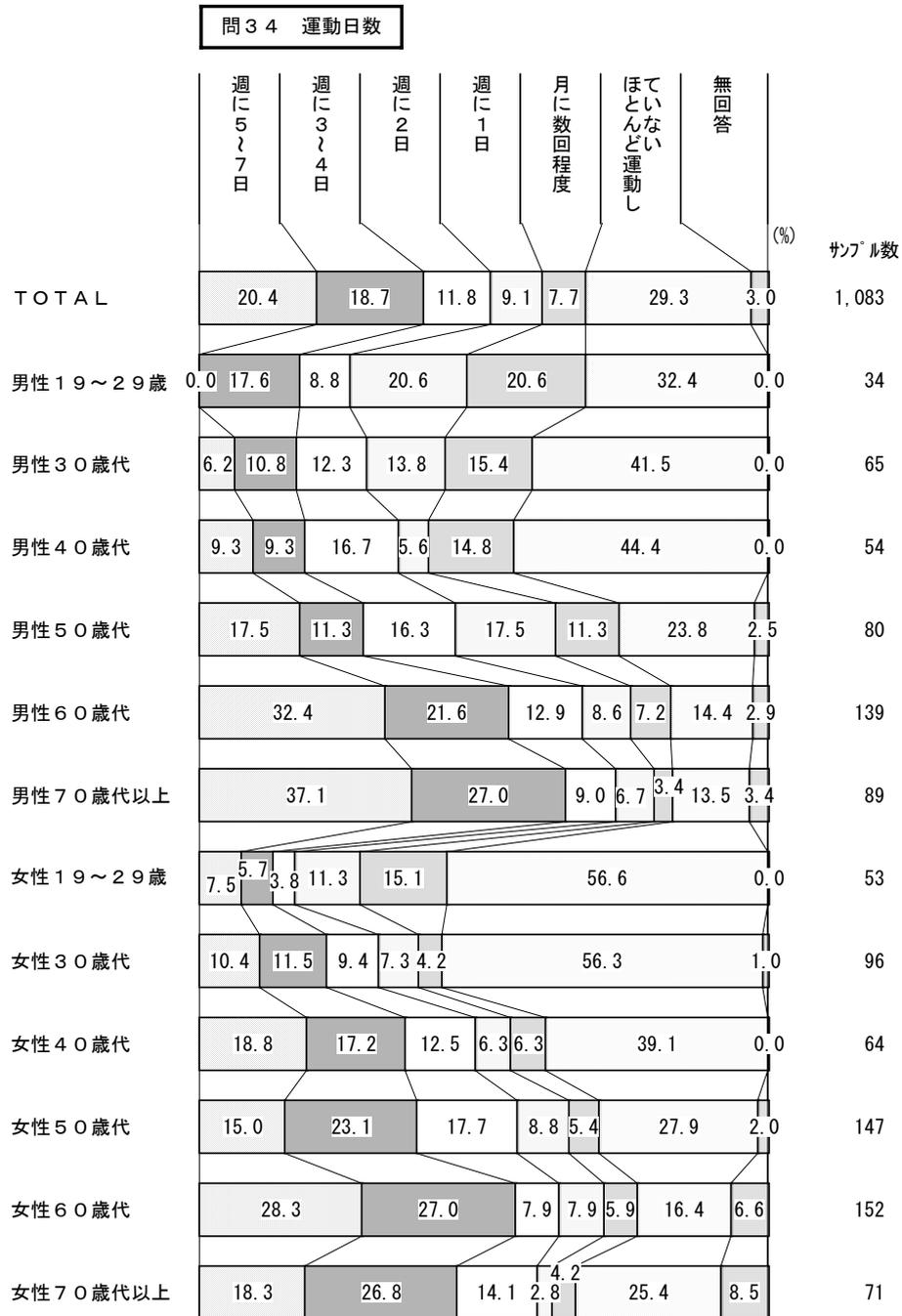


性別・年代別	n	1	10	7	2	4	6	9	5	3	8	11	12	13
		時間がない	きっかけがない	一緒に運動をする仲間がいない	家族の世話がある	体調がよくない	何をしたらよいかわからない	運動は好きではない	場所がない	経済的理由	初心者に参加しにくい	関心がない	その他	無回答
0 TOTAL	363	54.5	29.5	16.3	15.7	12.4	12.4	11.6	8.3	7.7	7.2	5.2	4.4	3.0
1 男性 19～29 歳	16	62.5	31.3	31.3	0.0	6.3	12.5	6.3	18.8	12.5	6.3	12.5	6.3	0.0
2 男性 30 歳代	32	84.4	34.4	18.8	15.6	0.0	12.5	0.0	15.6	25.0	3.1	3.1	3.1	0.0
3 男性 40 歳代	26	92.3	26.9	15.4	7.7	3.8	0.0	7.7	3.8	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0
4 男性 50 歳代	20	65.0	30.0	5.0	10.0	5.0	10.0	0.0	5.0	10.0	0.0	10.0	0.0	10.0
5 男性 60 歳代	24	45.8	29.2	16.7	8.3	12.5	12.5	4.2	0.0	4.2	4.2	4.2	0.0	4.2
6 男性 70 歳代以上	17	11.8	17.6	5.9	0.0	64.7	11.8	5.9	0.0	0.0	5.9	0.0	5.9	0.0
7 女性 19～29 歳	36	72.2	44.4	25.0	2.8	0.0	25.0	19.4	22.2	8.3	5.6	8.3	2.8	0.0
8 女性 30 歳代	54	57.4	25.9	13.0	46.3	7.4	3.7	7.4	7.4	11.1	5.6	1.9	5.6	3.7
9 女性 40 歳代	26	69.2	26.9	3.8	26.9	11.5	19.2	23.1	7.7	7.7	7.7	11.5	3.8	3.8
10 女性 50 歳代	48	50.0	22.9	14.6	6.3	12.5	18.8	18.8	4.2	4.2	14.6	2.1	4.2	0.0
11 女性 60 歳代	33	12.1	33.3	24.2	24.2	24.2	15.2	15.2	12.1	0.0	15.2	0.0	9.1	0.0
12 女性 70 歳代以上	19	10.5	21.1	15.8	5.3	31.6	5.3	10.5	0.0	0.0	10.5	10.5	15.8	15.8

(6) 運動日数 (問34)

運動日数をたずねたところ、「ほとんど運動していない」が29.3%である。運動をしている人の内訳は、「週に5～7日」が20.4%、「週に3～4日」が18.7%、「週に2日」が11.8%、「週に1日」が9.1%、「月に数回程度」が7.7%である。

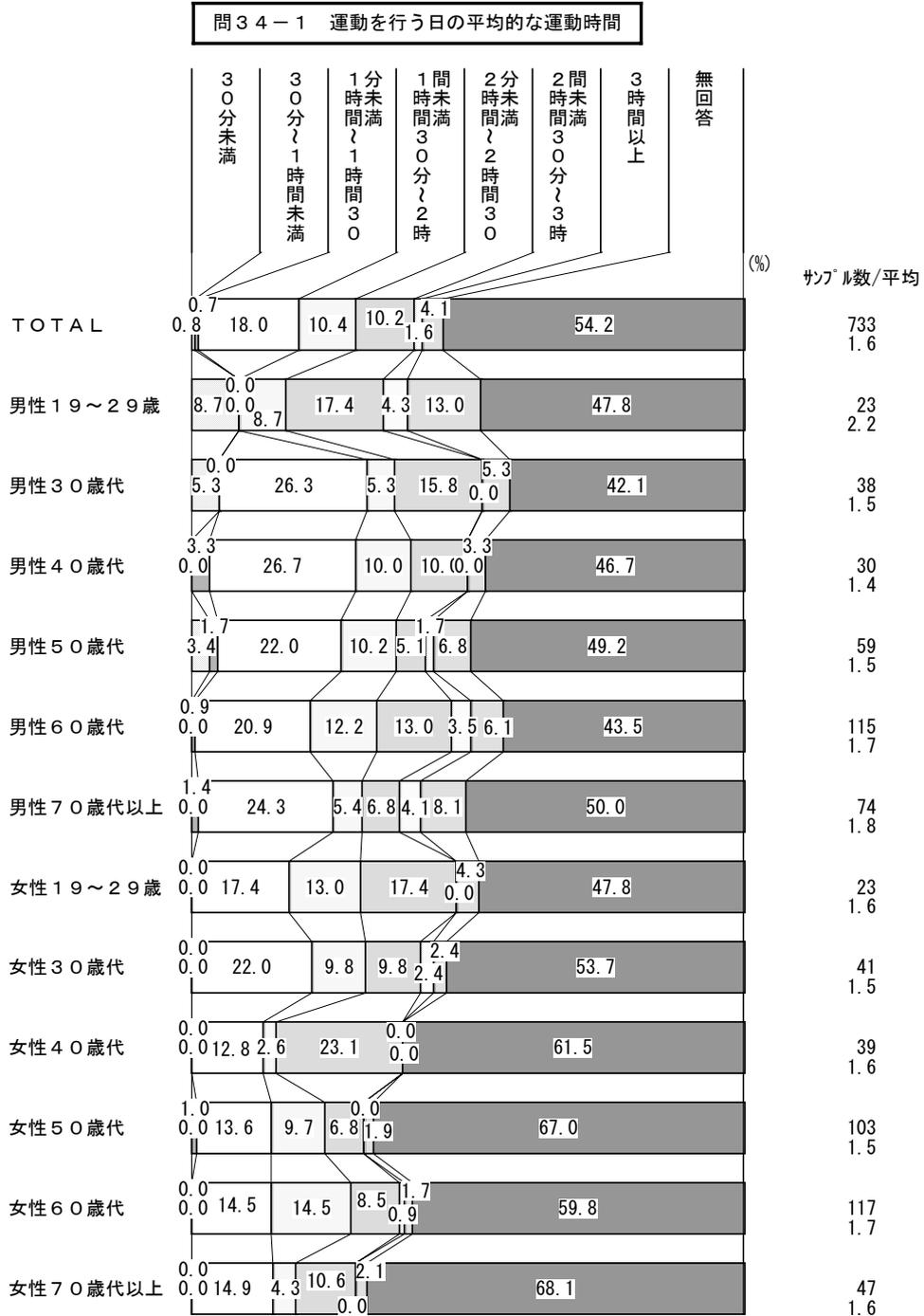
男女ともおおむね年齢が高い方が運動日数が多い。女性19～29歳・30歳代では「ほとんど運動していない」が約6割と運動が不足している。



(7) 運動を行う日の平均的な運動時間 (問34-1)

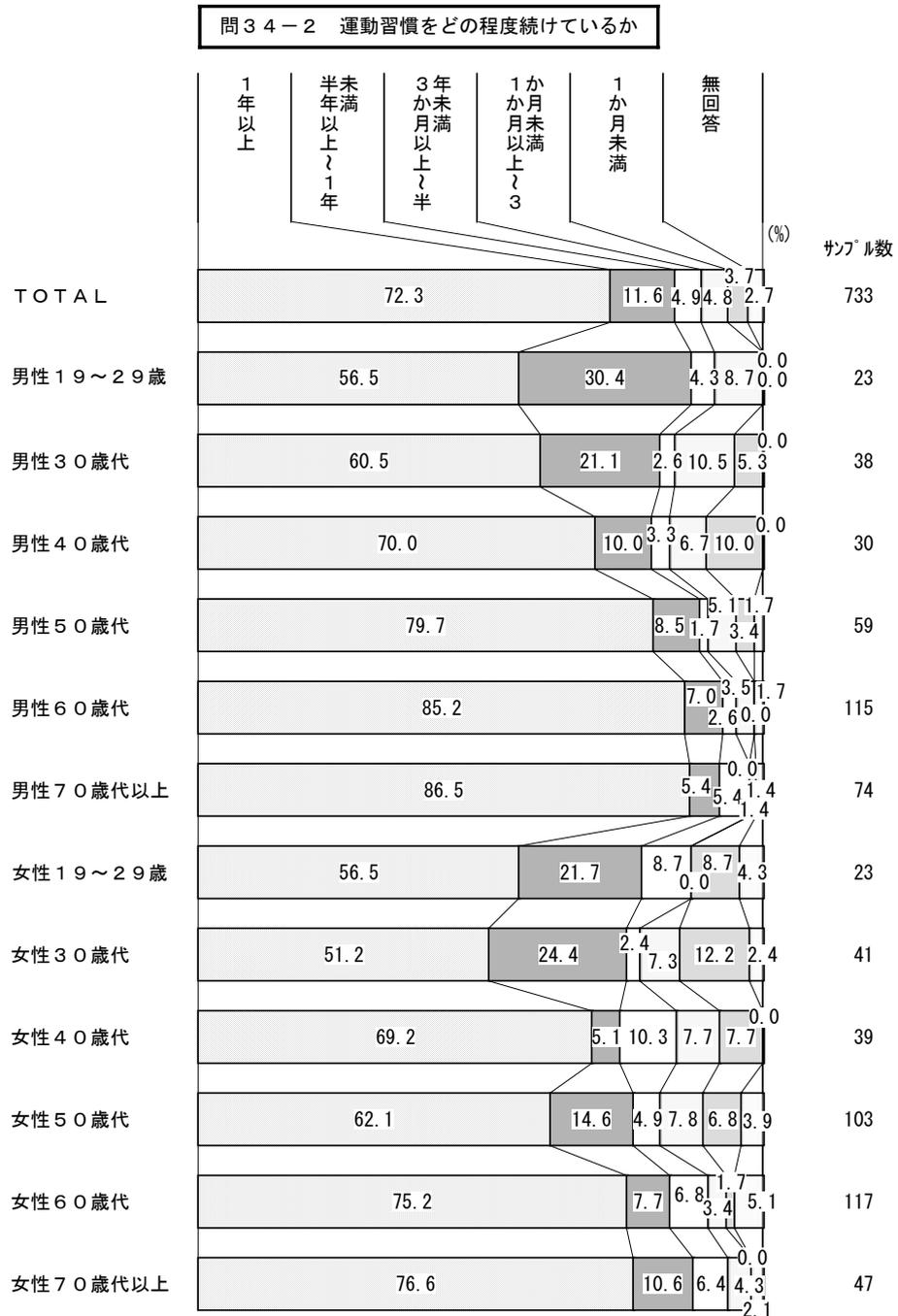
「1時間～1時間30分未満」が18.0%で最も多い。次に「1時間30分～2時間未満」が10.4%、「2時間～2時間30分未満」が10.2%である。

ほとんどの年代が1時間～2時間30分が大半を占めている。男性19～29歳においては、運動時間が短い人(「30分未満」)と運動時間が長い人(「3時間以上」)の開きが大きい。



(8) 運動習慣の継続状況 (問 34-2)

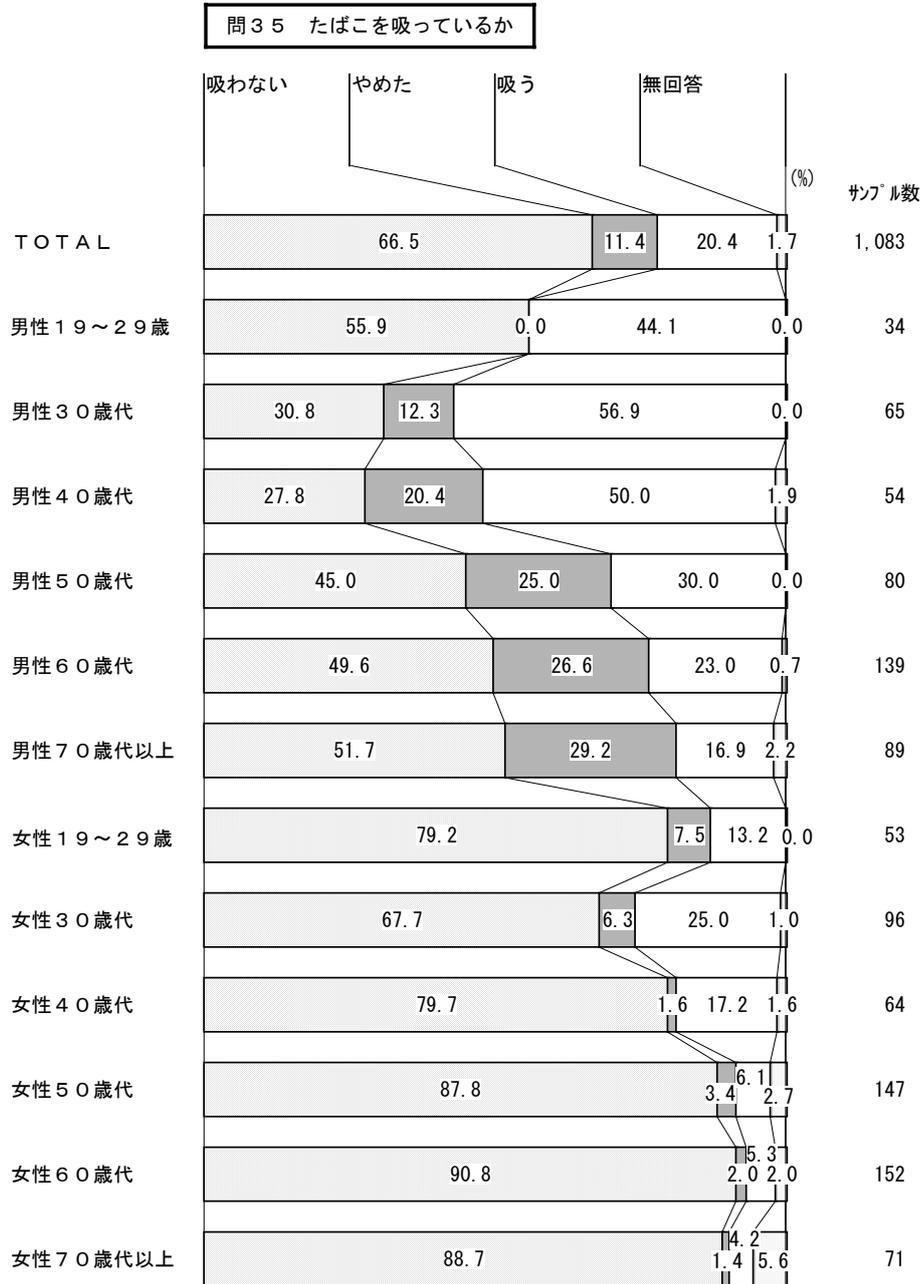
問 34-1 で「週に 5～7 日」から「月に数回程度」と回答した人に、運動習慣をどの程度続けているかたずねたところ、「1 年以上」が 72.3% で最も多く、約 7 割が運動習慣が継続されている。以下、「半年以上～1 年未満」が 11.6%、「3 か月以上～半年未満」が 4.9%、「1 か月以上～3 か月未満」が 4.8%、「1 か月未満」が 3.7% である。おおむね年齢が高い方が、運動習慣が長い割合が高い。



5 喫煙について

(1) 喫煙の状況 (問 35)

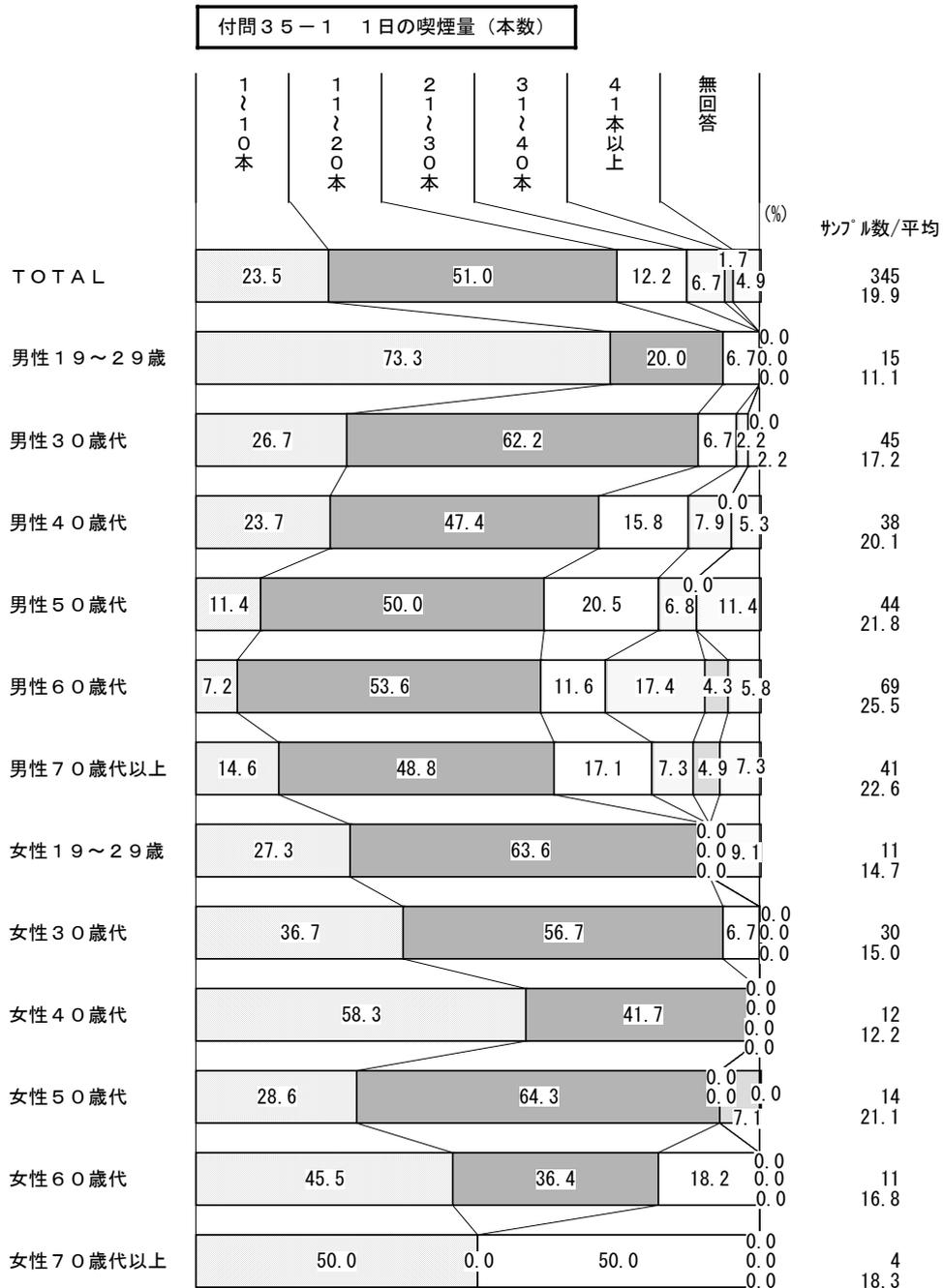
「吸わない」が66.5%、「やめた」が11.4%、「吸う」が20.4%である。
 いずれの年代においても、男性の方が「吸う」割合が高く、男性30歳代では56.9%、
 男性40歳代では50.0%と過半数が喫煙者である。一方、「やめた」は男性40歳代以降
 で増えている。女性では30歳代が最も「吸う」割合が高く25.0%である。



(2) 1日の喫煙量(本数)(付問35-1)

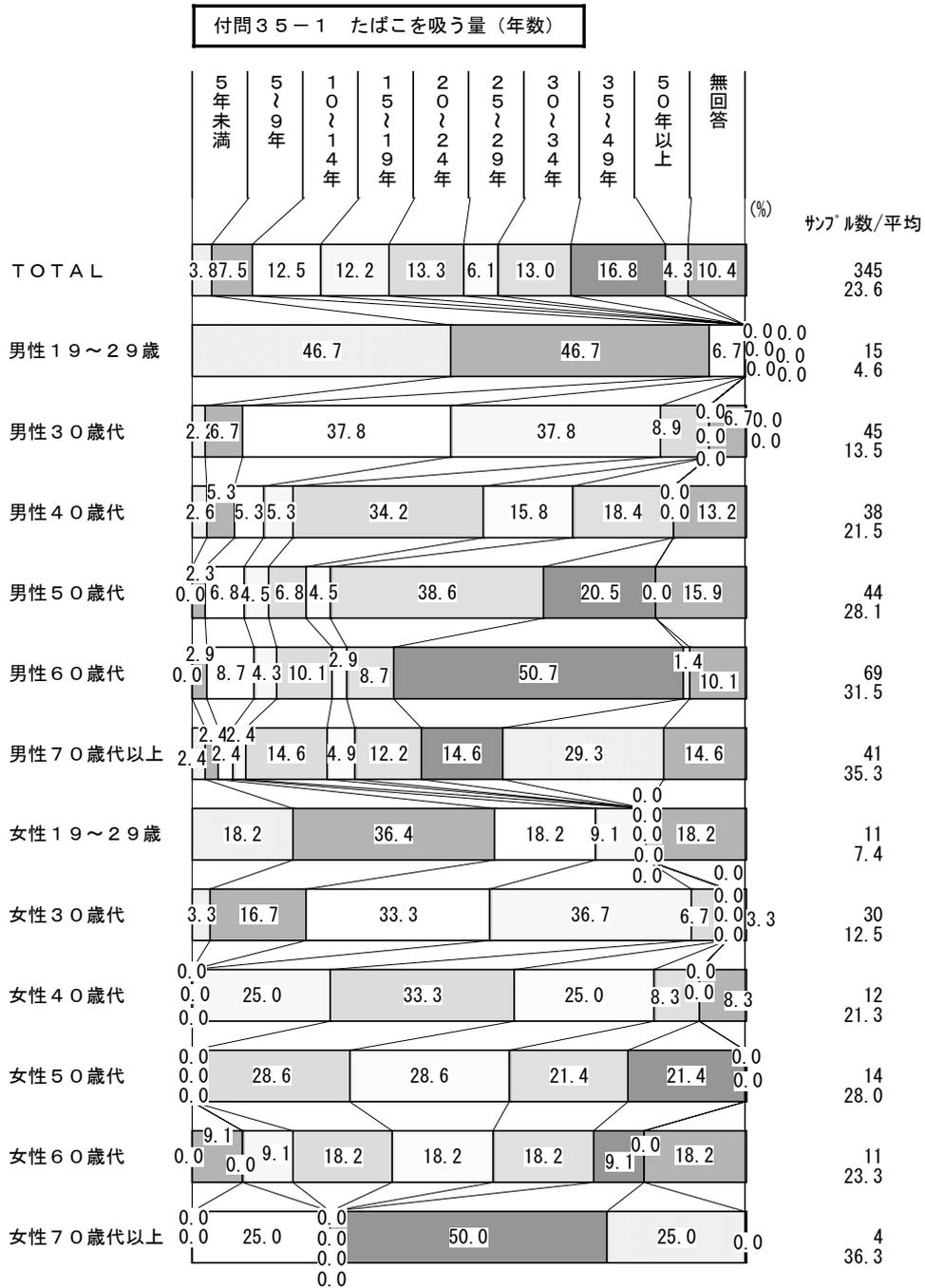
問35で「やめた」「吸う」と回答した人に、1日の喫煙量をたずねたところ、「11～20本」が51.0%で最も多く、次いで「1～10本」が23.5%、「21～30本」が12.2%、「31～40本」が6.7%、「41本以上」が1.7%となっている。平均本数は、19.9本である。

性別・年代別では、平均本数が最も多いのは男性60歳代で平均25.5本である。最も少ないのは男性19～29歳で、平均11.1本である。



(3) たばこを吸う量 (年数) (付問 35-1)

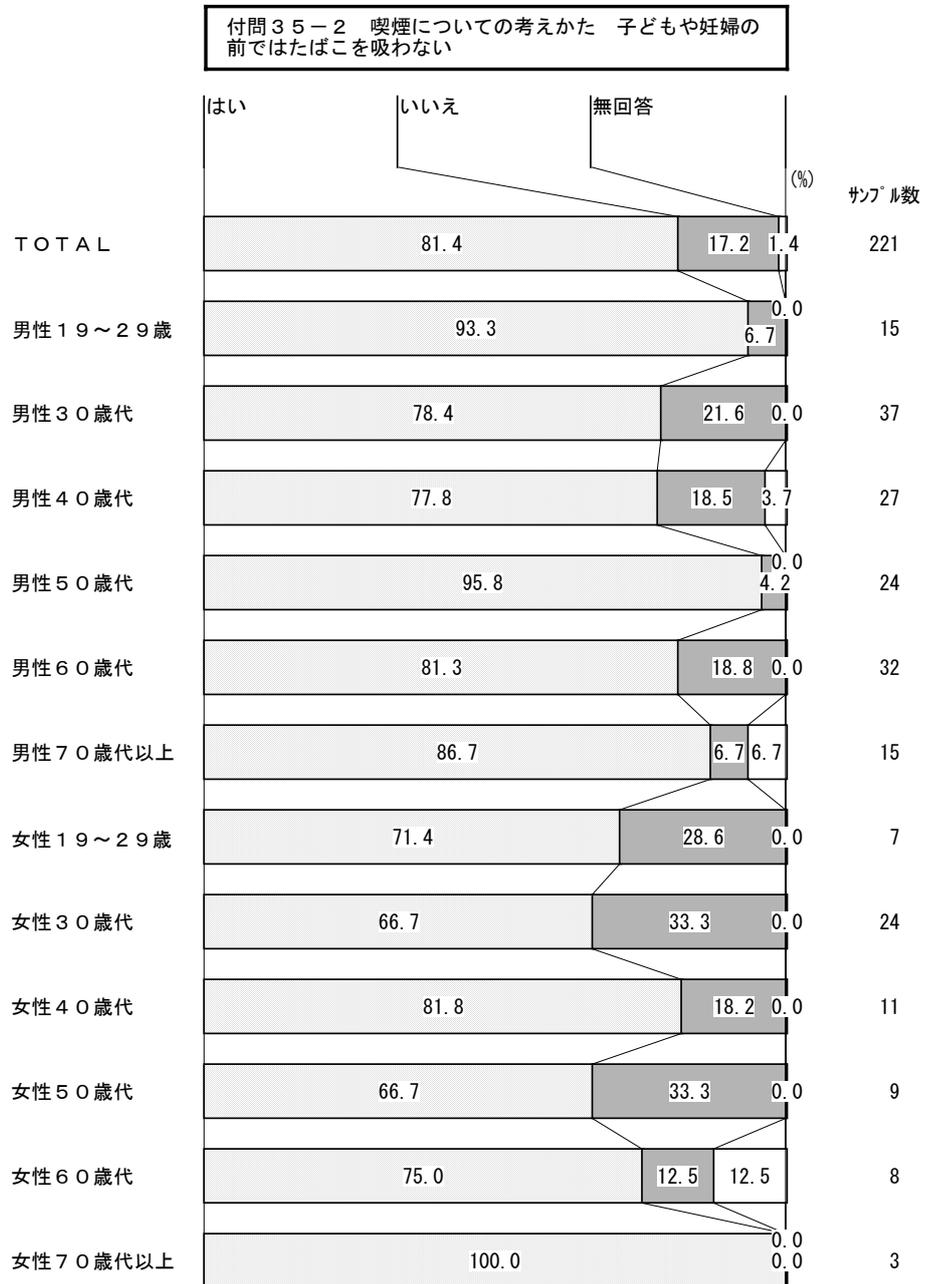
たばこを吸っている年数では、「5年未満」が3.8%、「5～9年」が7.5%、「10～14年」が12.5%、「15～19年」が12.2%、「20～24年」が13.3%、「25～29年」が6.1%、「30～34年」が13.0%、「35～49年」が16.8%、「50年以上」が4.3%、平均23.6年である。



(4) 喫煙についての考えかた (付問 35-2)

①子どもや妊婦の前ではたばこを吸わない

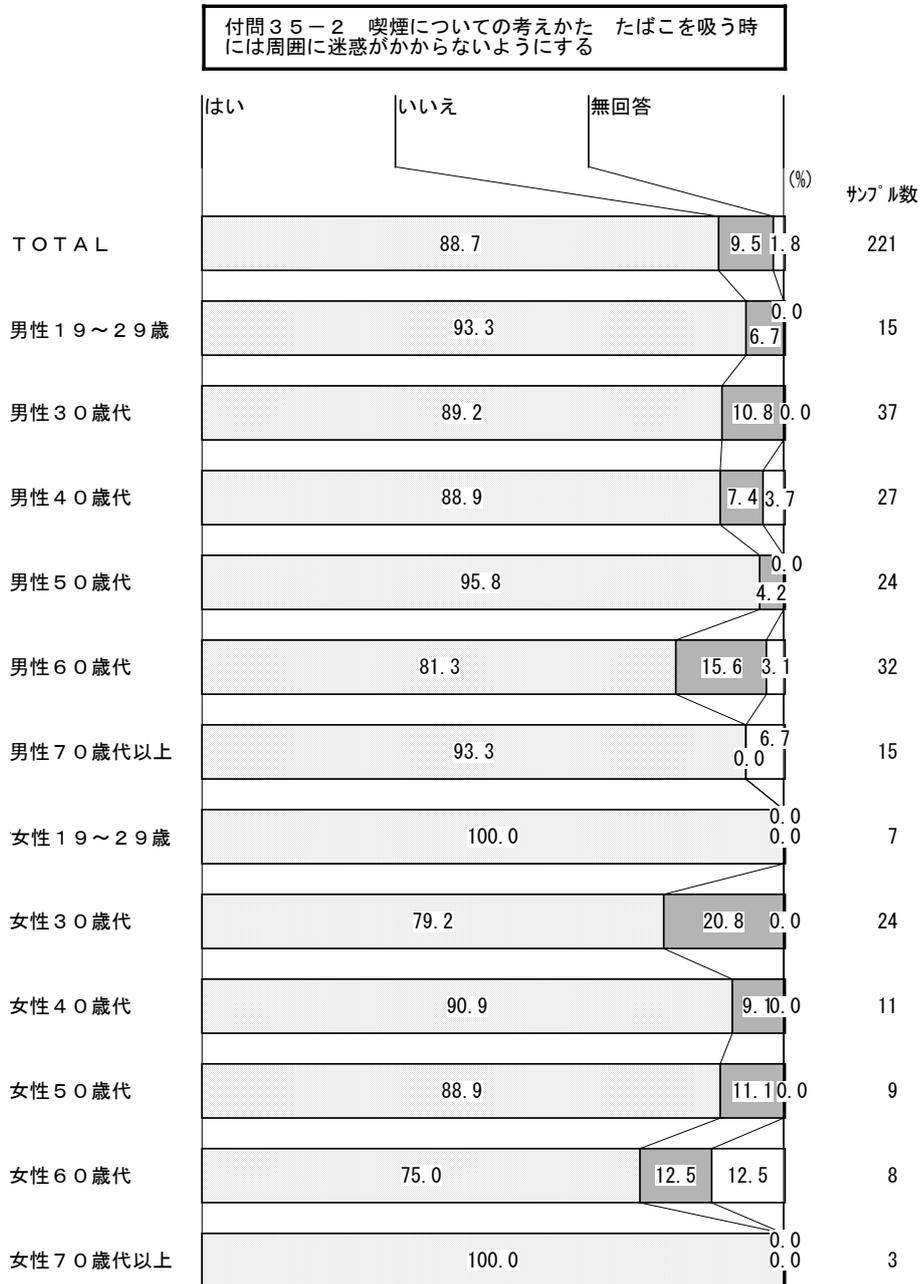
問 35 で「吸う」と回答した人に、喫煙についての考えかたをたずねた。
 「子どもや妊婦の前ではたばこを吸わない」という考え方について、「はい」が 81.4%、
 「いいえ」が 17.2%である。
 女性 30 歳代・50 歳代で「いいえ」が約 3 割と他年代より多い。



②たばこを吸う時には周囲に迷惑がかからないようにする

「たばこを吸う時には周囲に迷惑がかからないようにする」という考えかたについて、「はい」が88.7%、「いいえ」が9.5%である。

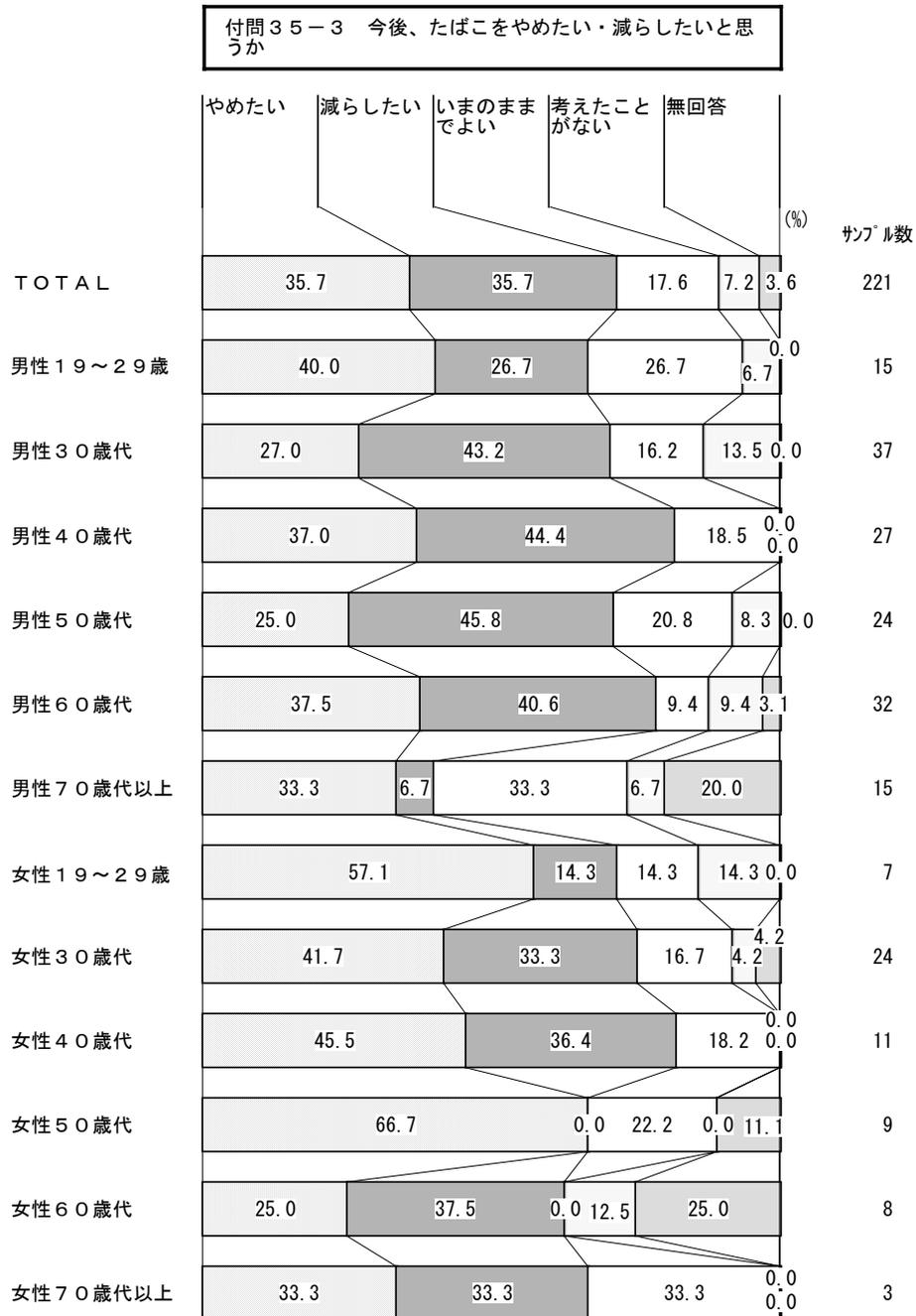
女性30歳代では「いいえ」が約2割と他の年代より多い。



(5) 禁煙・節煙意向 (付問 35-3)

問 35 で「吸う」と回答した人に、今後、たばこをやめたい・減らしたいと思うかについてたずねたところ、「やめたい」が 35.7%、「減らしたい」が 35.7%、「いまのままでもいい」が 17.6%、「考えたことがない」が 7.2%である。

男性 70 歳代以上では、「やめたい」「減らしたい」が合わせて 4 割と他の年代より禁煙・節煙の意向が低い、その他の年代では「やめたい」「減らしたい」が 6 割以上である。



(6) 禁煙・節煙の理由 (付問 35-4)

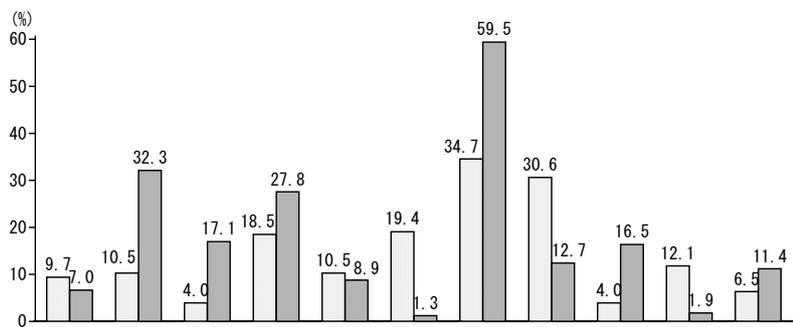
問 35 で「やめた」、付問 35-3 で「やめたい」「減らしたい」と回答した人に理由をたずねたところ、やめた人では「健康によくないと言われている」(34.7%) が最も高く、次いで「思い立ってなんとなく」(30.6%)、「病気になった」(19.4%) となっている。

やめたい人では「健康によくないと言われている」が 69.6% で最も割合が高く、次いで「周囲 (家族など) に指摘された」(30.4%)、「たばこを吸える場所が減ってきた」(29.1%) となっている。

減らしたい人では「健康によくないと言われている」(49.4%) が最も割合が高く、以下「たばこを吸える場所が減ってきた」(35.4%)、「周囲 (家族など) に指摘された」(25.3%) の順である。

付問 35-4 やめた理由、やめたい理由・減らしたいと感じた理由 (複数回答)

□ やめた n=124
■ 吸う n=158



	問 35 たばこを吸っているか	n	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
			結・婚出産、(本人や家族の)妊娠	きたたばこを吸える場所が減って	経済的理由	周囲(家族など)に指摘され	健康によくないと言われている	病気になった	健康によくないと言われている	思い立ってなんとなく	歯や歯肉などの健康のため	その他	無回答
2	やめた	124	9.7	10.5	4.0	18.5	10.5	19.4	34.7	30.6	4.0	12.1	6.5
3	吸う	158	7.0	32.3	17.1	27.8	8.9	1.3	59.5	12.7	16.5	1.9	11.4
1	やめたい	79	10.1	29.1	16.5	30.4	8.9	1.3	69.6	11.4	20.3	3.8	7.6
2	減らしたい	79	3.8	35.4	17.7	25.3	8.9	1.3	49.4	13.9	12.7	0.0	15.2

(7) 喫煙することについてどのように考えているか (問36)

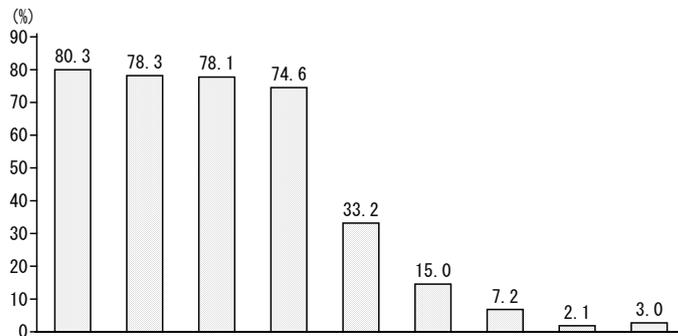
「公共の場ではマナーを守ったほうがよい」が80.3%、「路上等に吸殻を捨てるべきではない」が78.3%、「周りに人がいるときは気をつけたほうがよい」が78.1%、「子どもや妊婦の前ではたばこは吸うべきではない」が74.6%となっている。

いずれの年代においても、「公共の場ではマナーを守ったほうがよい」「路上に吸殻を捨てるべきではない」「周りに人がいるときは気をつけたほうがよい」「子どもや妊婦の前ではたばこを吸うべきではない」は割合が高い。

性別・年代別でみると、男性19～29歳で「公共の場ではマナーを守ったほうがよい」「子どもや妊婦の前ではたばこは吸うべきではない」が他の年代よりも割合が高い。その一方、「喫煙はかまわない」が26.5%と他の年代よりも割合が高い。女性19～29歳も「喫煙はかまわない」が30.2%と他の年代よりも高い割合でありながらも、「路上等に吸殻を捨てるべきではない」「子どもや妊婦の前ではたばこは吸うべきではない」等マナーに関する意識も他年代より高い。女性60歳代では「喫煙をやめてもらいたい」が他の年代より割合が高い。

問36 喫煙することについてどのように考えているか (複数回答)

□ TOTAL n=1,083



性別・年代別	n	3	4	2	5	7	1	6	8	9
		公共の場ではマナーを守ったほうがよい	路上等に吸殻を捨てるべきではない	周りに人がいるときは気をつけたほうがよい	子どもや妊婦の前ではたばこは吸うべきではない	喫煙をやめてもらいたい	喫煙はかまわない	たばこをやめたい	その他	無回答
0 TOTAL	1,083	80.3	78.3	78.1	74.6	33.2	15.0	7.2	2.1	3.0
1 男性19～29歳	34	94.1	82.4	79.4	88.2	23.5	26.5	8.8	2.9	0.0
2 男性30歳代	65	86.2	80.0	84.6	80.0	18.5	21.5	13.8	0.0	0.0
3 男性40歳代	54	77.8	79.6	75.9	70.4	20.4	20.4	14.8	1.9	3.7
4 男性50歳代	80	83.8	78.8	77.5	78.8	32.5	15.0	5.0	1.3	1.3
5 男性60歳代	139	79.1	75.5	77.0	67.6	22.3	18.7	7.2	4.3	2.2
6 男性70歳代以上	89	76.4	77.5	71.9	65.2	32.6	9.0	5.6	2.2	7.9
7 女性19～29歳	53	86.8	94.3	77.4	94.3	30.2	30.2	9.4	1.9	0.0
8 女性30歳代	96	89.6	84.4	77.1	83.3	31.3	18.8	11.5	2.1	1.0
9 女性40歳代	64	82.8	89.1	87.5	87.5	40.6	10.9	12.5	3.1	1.6
10 女性50歳代	147	81.0	76.9	85.0	78.2	40.8	11.6	5.4	0.7	1.4
11 女性60歳代	152	77.0	76.3	75.0	68.4	46.7	7.9	2.6	2.6	3.3
12 女性70歳代以上	71	71.8	74.6	76.1	67.6	42.3	7.0	2.8	2.8	11.3

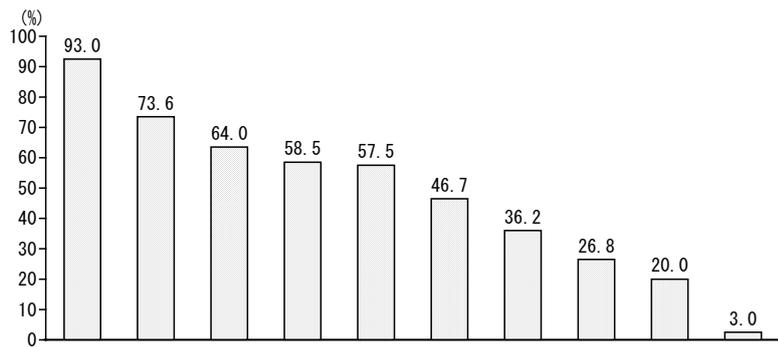
(8) 喫煙により影響が出ると思うもの (問37)

「肺がん」が93.0%で最も多く、次いで「妊娠(胎児)への悪影響」(73.6%)、「気管支炎」(64.0%)、「ぜんそく」(58.5%)、「乳幼児・青少年の発達への悪影響」(57.5%)となっている。

「肺がん」「妊娠(胎児)への悪影響」はどの年代も高い割合で回答しているが、「妊娠(胎児)への悪影響」では、女性19~29歳・30歳代・40歳代・50歳代で特に高い。「ぜんそく」は女性40歳代で他年代より高い。「乳幼児・青少年の発達への悪影響」は男性19~29歳、女性19~29歳・30歳代・40歳代で他の年代より割合が高い。

問37 たばこを吸うことで影響が出ると思うもの (複数回答)

□ TOTAL n=1,083



性別・年代別	n	1	7	3	2	8	4	5	9	6	10
		肺がん	妊娠(胎児)への悪影響	気管支炎	ぜんそく	乳幼児・青少年の発達への悪影響	心臓病	脳卒中	歯周病	胃かいよう	無回答
0 TOTAL	1,083	93.0	73.6	64.0	58.5	57.5	46.7	36.2	26.8	20.0	3.0
1 男性19~29歳	34	94.1	73.5	50.0	38.2	67.6	23.5	32.4	23.5	20.6	0.0
2 男性30歳代	65	96.9	78.5	58.5	58.5	61.5	36.9	41.5	35.4	16.9	1.5
3 男性40歳代	54	92.6	72.2	61.1	44.4	55.6	51.9	46.3	37.0	22.2	1.9
4 男性50歳代	80	93.8	58.8	63.8	62.5	48.8	65.0	43.8	28.8	35.0	0.0
5 男性60歳代	139	93.5	59.0	69.8	56.1	43.2	53.2	39.6	24.5	22.3	2.2
6 男性70歳代以上	89	87.6	53.9	66.3	61.8	42.7	65.2	42.7	16.9	27.0	7.9
7 女性19~29歳	53	100.0	98.1	58.5	56.6	81.1	32.1	34.0	47.2	15.1	0.0
8 女性30歳代	96	94.8	86.5	53.1	55.2	69.8	31.3	34.4	35.4	15.6	1.0
9 女性40歳代	64	96.9	92.2	71.9	73.4	76.6	53.1	46.9	31.3	17.2	1.6
10 女性50歳代	147	95.9	83.7	66.7	59.2	61.9	46.9	34.0	29.3	19.0	2.7
11 女性60歳代	152	91.4	77.0	68.4	61.2	59.9	44.7	25.7	20.4	15.1	3.3
12 女性70歳代以上	71	84.5	73.2	62.0	64.8	50.7	40.8	23.9	8.5	19.7	8.5

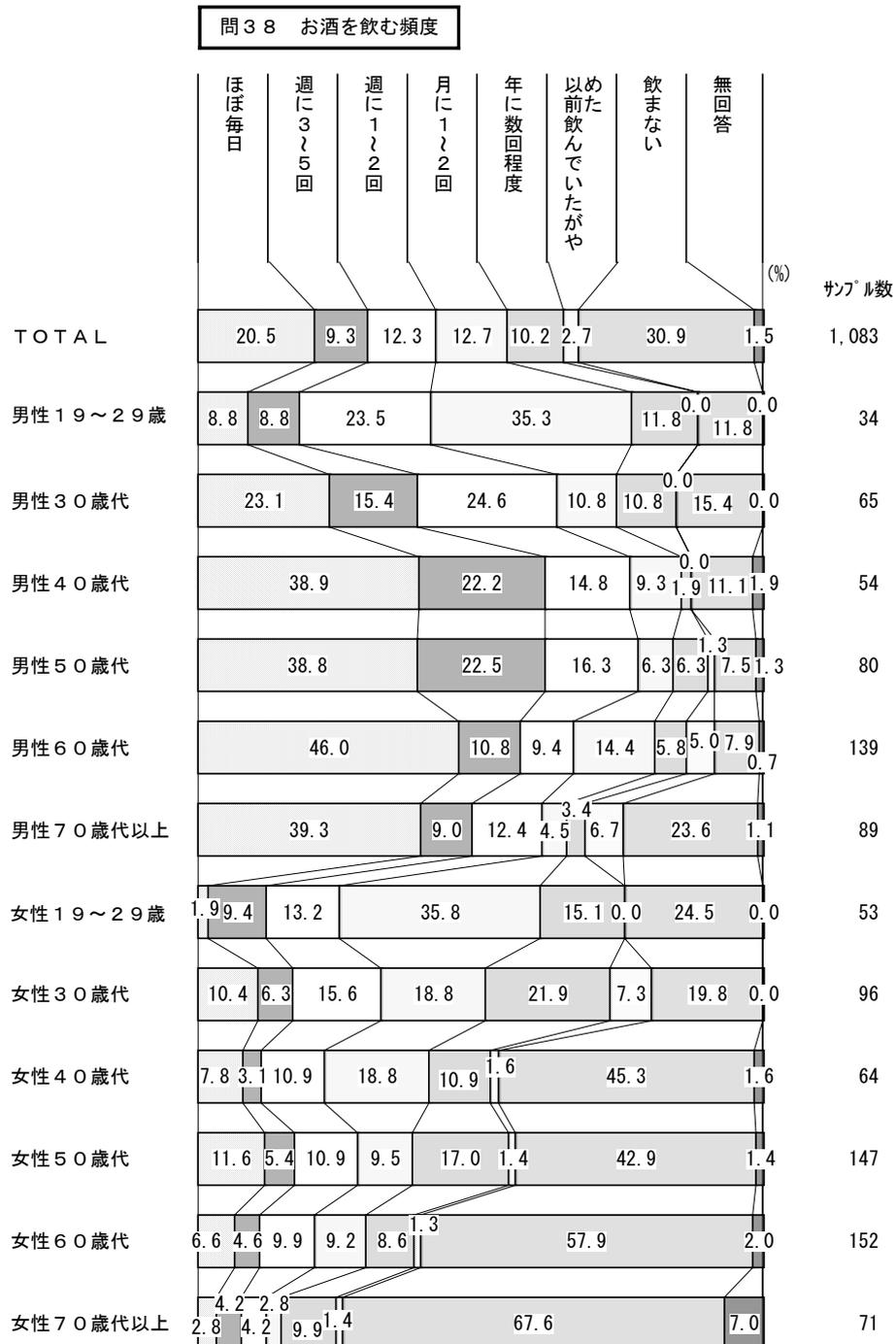
6 飲酒について

(1) 飲酒の頻度 (問 38)

「飲まない」が30.9%、「以前飲んでいたがやめた」が2.7%である。

飲酒をしている人の内訳は、「ほぼ毎日」が20.5%、「週に3～5回」が9.3%、「週に1～2回」が12.3%、「月に1～2回」が12.7%、「年に数回程度」が10.2%である。

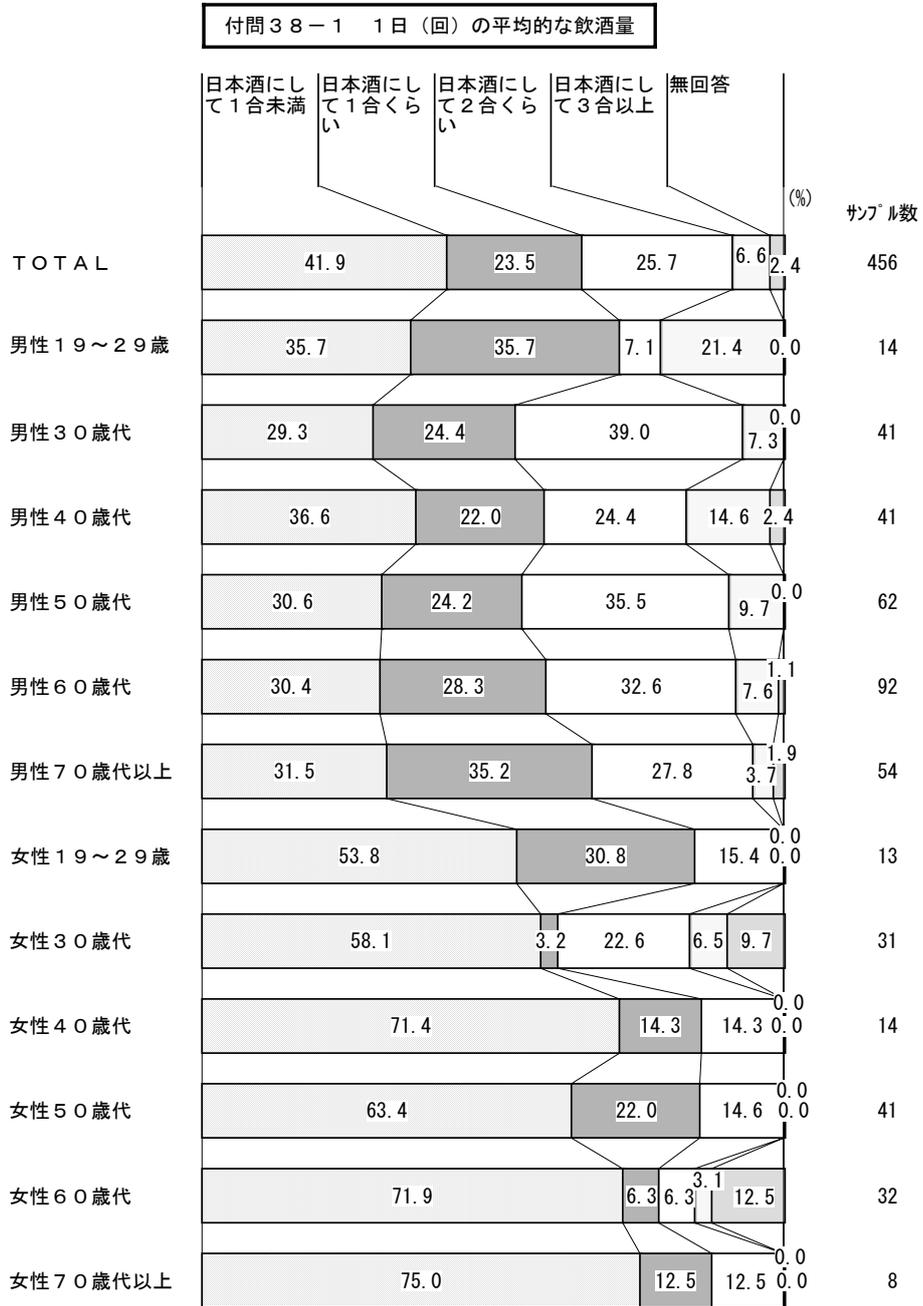
「ほぼ毎日」は全ての年代において、男性の方が多い。特に男性60歳代では46.0%が「ほぼ毎日」と回答している。女性ではおおむね年齢が高くなるほど「飲まない」が多い。



(2) 1日(回)の平均的な飲酒量(付問38-1)

問38で「ほぼ毎日」「週に3~5回」「週に1~2回」と回答した人に、1日(回)の平均的な飲酒量をたずねたところ、「日本酒にして1合未満」が41.9%、「日本酒にして1合くらい」が23.5%、「日本酒にして2合くらい」が25.7%、「日本酒にして3合以上」が6.6%である。

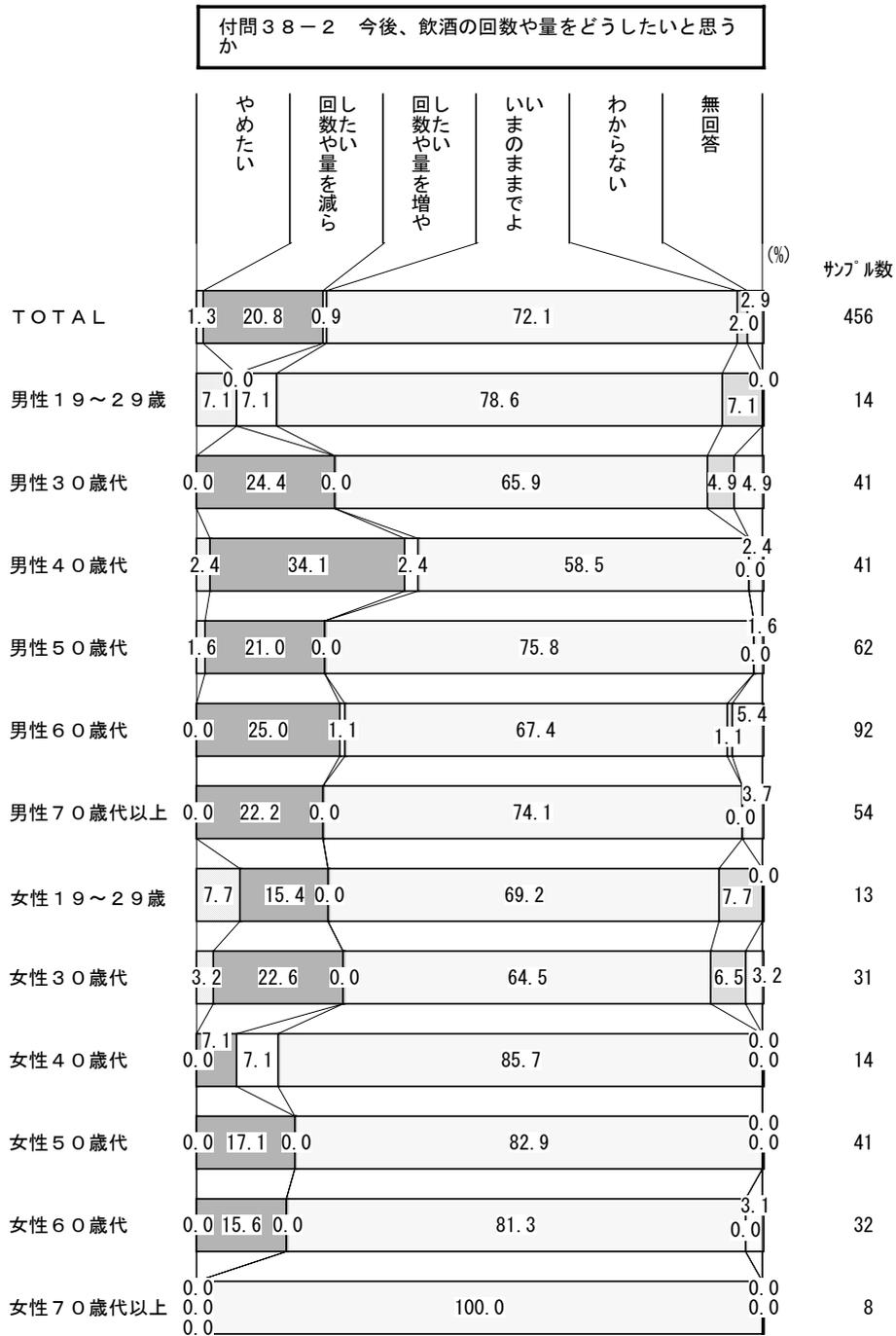
いずれの年代においても、男性の方が1合以上飲んでいる割合が高い。特に男性19~29歳では「日本酒にして3合以上」が約2割を占めている。



(3) 飲酒の回数や量について今後の意向 (付問 38-2)

付問 38-1 と同様、問 38 で「ほぼ毎日」「週に 3～5 回」「週に 1～2 回」と回答した人に、今後、飲酒の回数や量をどうしたいと思うかたずねたところ、「いまのままでよい」が 72.1% で最も多い。次いで「回数や量を減らしたい」が 20.8%、「わからない」が 2.0%、「やめたい」は 1.3% である。「回数や量を増やしたい」は 0.9% である。

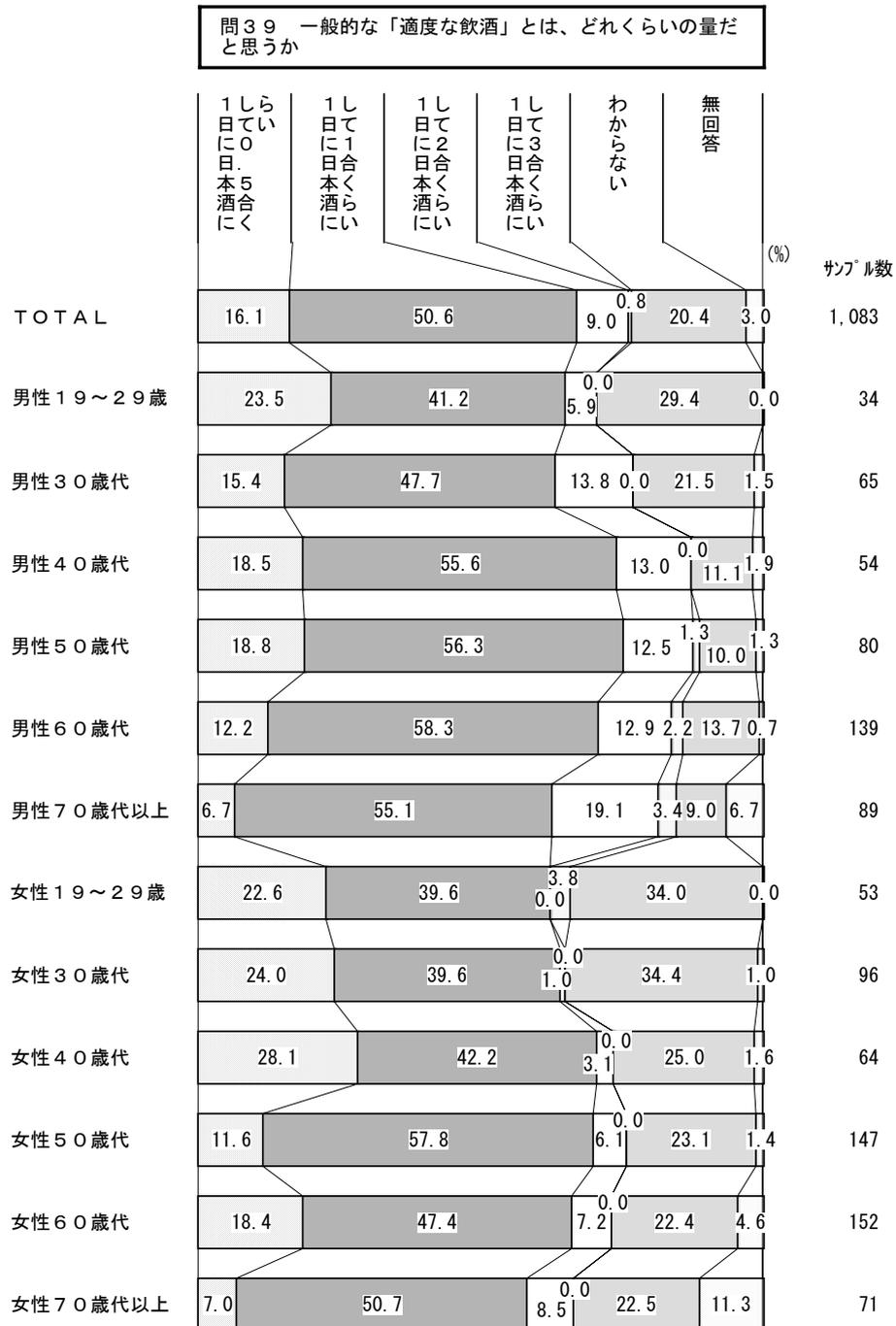
いずれの年代も「いまのままでよい」が最も多い。「やめたい」「回数や量を減らしたい」は男性 40 歳代が他の年代より多い。「回数や量を増やしたい」は男性 19～29 歳、女性 40 歳代で、ともに 7.1% である。



(4) 一般的な「適度な飲酒」量についての認識 (問 39)

問 38 で「ほぼ毎日」「週に 3～5 回」「週に 1～2 回」と回答した人に、一般的にいわれている「適度な飲酒」はどれくらいの量だと思うかたずねた。「1 日に日本酒にして 1 合くらい」が 50.6% で最も多い。次いで「わからない」が 20.4%、「1 日に日本酒にして 0.5 合くらい」が 16.1%、「1 日に日本酒にして 2 合くらい」が 9.0%、「1 日に日本酒にして 3 合くらい」が 0.8% である。

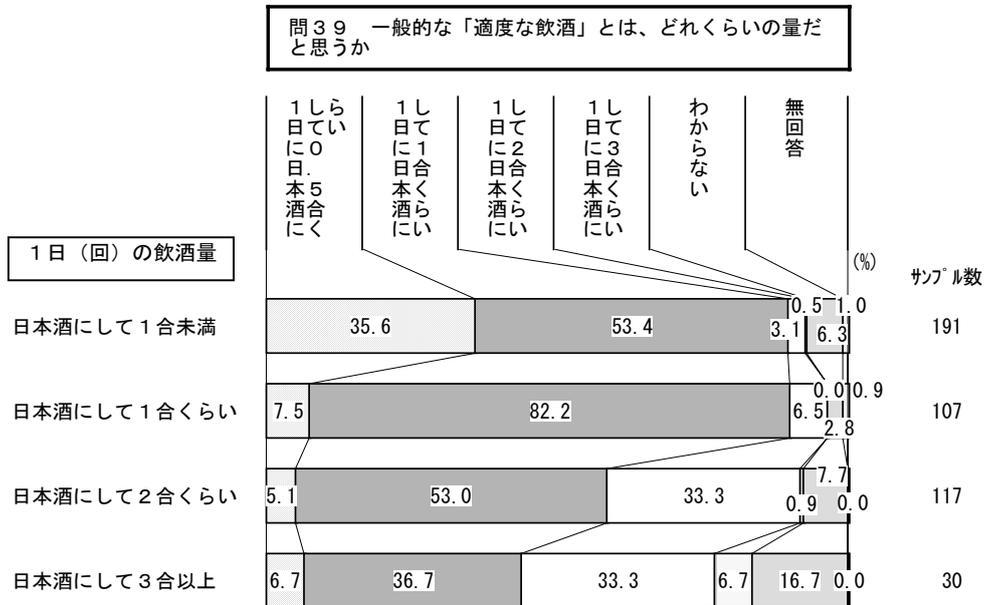
いずれの年代も「1 日に日本酒にして 1 合くらい」が最も多い。男性のほうが、1 日の適量を多目に回答している傾向がある。女性では「わからない」の割合が男性より高く、女性 19～29 歳・30 歳代では 3 割以上である。



1日の飲酒量と「適度な飲酒」と思う量の関係を見ると、飲酒量が多いほど、「適度な飲酒」と思う量が多い。

一般的に「適度な飲酒」の量は「1日に日本酒にして1合くらい」であるが、飲酒量が2合の人では、「1日に日本酒にして2合くらい」が33.3%、「1日に日本酒にして3合くらい」が0.9%、「わからない」が7.7%である。

飲酒量が3合の人では「1日に日本酒にして2合くらい」が33.3%、「1日に日本酒にして3合くらい」が6.7%、「わからない」が16.7%である。



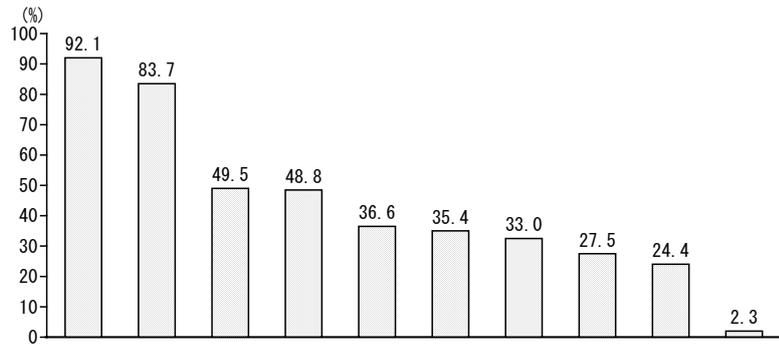
(5) 多量の飲酒を長時間続けることで影響がでると思うもの (問40)

「肝臓病」が 92.1%で最も多く、次いで「アルコール依存症・アルコール中毒」が 83.7%、「妊娠(胎児)への悪影響」が 49.5%、「糖尿病」が 48.8%である。

「肝臓病」「アルコール依存症・アルコール中毒」はいずれの年代においても割合が高い。「妊娠(胎児)への悪影響」は男性よりも女性で高い割合となっている。

問40 多量の飲酒を長期間続けることで影響がでると思うもの (複数回答)

□ TOTAL n=1,083



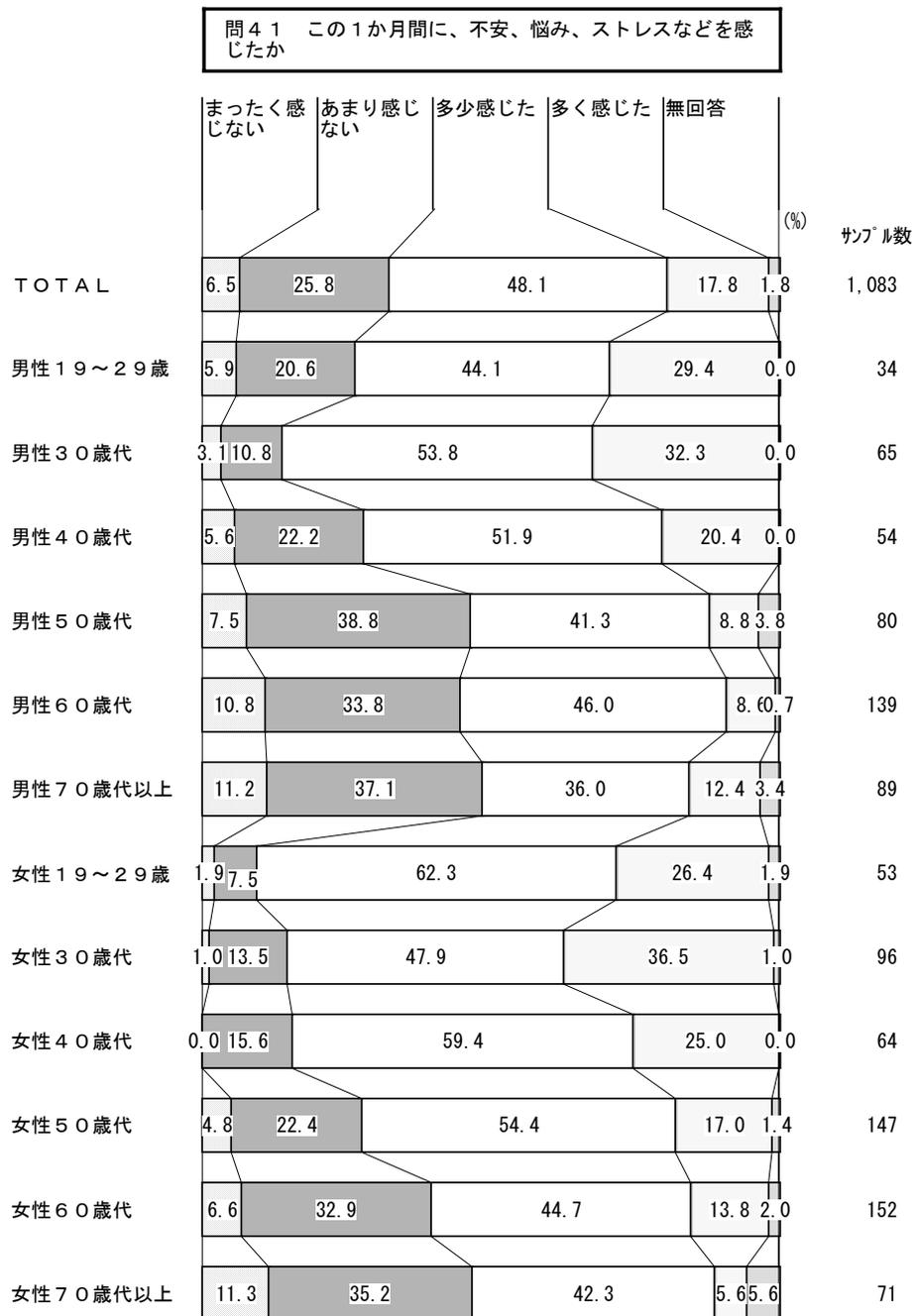
性別・年代別	n	1	2	8	5	3	9	7	4	6	10
		肝臓病	アルコール依存症・アルコール中毒	妊娠(胎児)への悪影響	糖尿病	脳卒中	乳幼児・青少年の発達への悪影響	動脈硬化	心臓病	がん	無回答
0 TOTAL	1,083	92.1	83.7	49.5	48.8	36.6	35.4	33.0	27.5	24.4	2.3
1 男性19～29歳	34	76.5	94.1	35.3	41.2	17.6	29.4	29.4	17.6	8.8	0.0
2 男性30歳代	65	98.5	73.8	49.2	49.2	21.5	29.2	21.5	20.0	12.3	1.5
3 男性40歳代	54	92.6	77.8	46.3	55.6	31.5	37.0	25.9	29.6	29.6	1.9
4 男性50歳代	80	96.3	85.0	27.5	43.8	30.0	21.3	27.5	17.5	16.3	0.0
5 男性60歳代	139	92.8	82.0	31.7	56.8	39.6	23.0	33.1	31.7	22.3	0.7
6 男性70歳代以上	89	91.0	82.0	38.2	49.4	53.9	30.3	39.3	36.0	24.7	4.5
7 女性19～29歳	53	88.7	94.3	79.2	41.5	34.0	49.1	39.6	20.8	26.4	0.0
8 女性30歳代	96	94.8	84.4	64.6	44.8	29.2	43.8	27.1	22.9	18.8	0.0
9 女性40歳代	64	96.9	90.6	64.1	53.1	45.3	51.6	31.3	31.3	29.7	1.6
10 女性50歳代	147	95.2	81.6	57.1	46.3	34.0	39.5	36.7	27.9	26.5	2.0
11 女性60歳代	152	92.1	86.2	53.9	49.3	37.5	38.8	36.2	28.9	30.3	3.3
12 女性70歳代以上	71	87.3	87.3	54.9	53.5	47.9	42.3	42.3	38.0	40.8	7.0

7 休養・心の健康について

(1) 不安、悩み、ストレスの有無（問41）

この1か月間に、不安、悩み、ストレスなどを感じたかについては、「多少感じた」が48.1%、「多く感じた」が17.8%で、合わせて6割以上が不安、悩み、ストレスを感じている。「まったく感じない」は6.5%、「あまり感じない」は25.8%である。

おおむね年齢が低いほど、「多少感じた」「多く感じた」の割合が高い傾向にある。「多く感じた」は男性30歳代で32.3%、女性30歳代で36.5%と他年代よりも割合が高い。

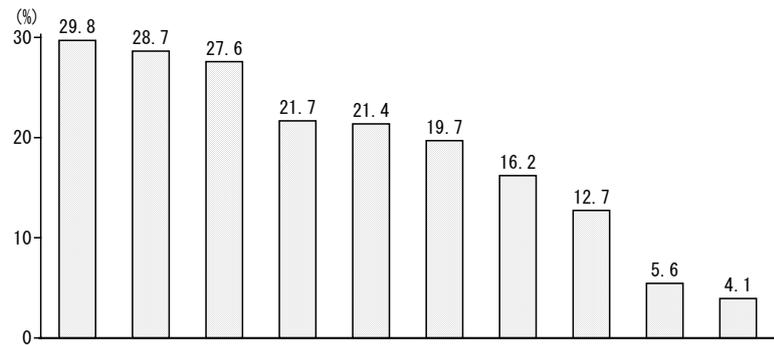


(2) 不安、悩み、ストレスなどの原因 (付問 41-1)

不安、悩み、ストレスなどの原因では、「仕事・勉強」が 29.8% で最も多い。次いで「学校や職場、近所での人間関係」(28.7%)、「自分の健康上の問題」(27.6%)、「家族の健康上の問題」(21.7%)、「経済上の問題」(21.4%) となっている。

「仕事・勉強」は男性で割合が高く、女性では 19~29 歳で他年代より割合が高い。「学校や職場、近所での人間関係」は男性 30 歳代・50 歳代、女性 19~29 歳・40 歳代で他より高い。「自分の健康上の問題」「家族の健康上の問題」では男性 70 歳代以上、女性 50 歳代・60 歳代・70 歳代以上で他より高い。「子育て・教育問題」では女性 30 歳代・40 歳代で他より割合が高い。

付問 41-1 不安、悩み、ストレスなどの原因 (複数回答)
 □ TOTAL n=714

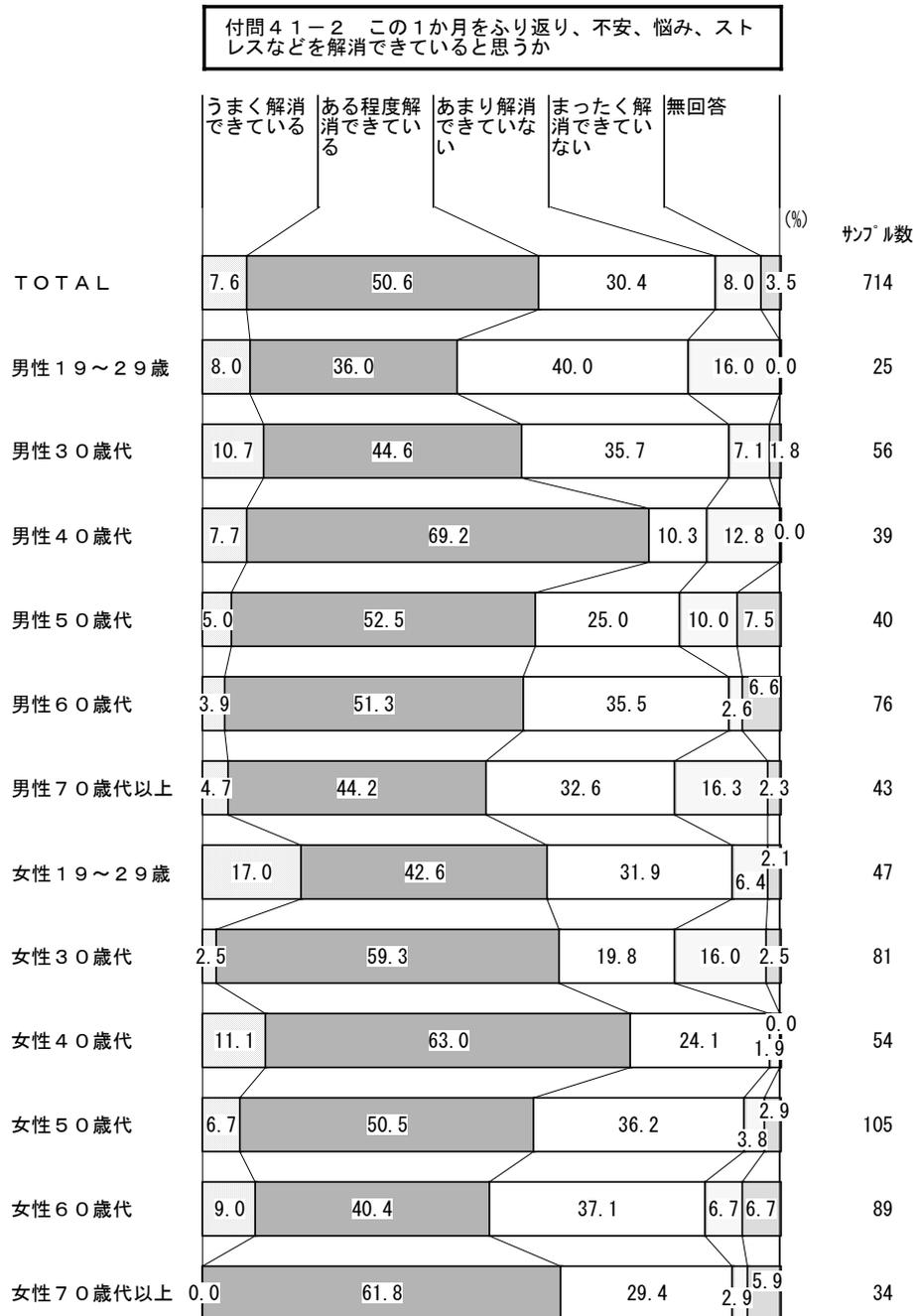


性別・年代別	n	3	1	5	6	7	2	8	4	9	10
		仕事・勉強	学校や職場、近所での人間関係	自分の健康上の問題	家族の健康上の問題	経済上の問題	家族の中での人間関係	漠然とした不安や孤独感	子育て・教育問題	その他	無回答
0 TOTAL	714	29.8	28.7	27.6	21.7	21.4	19.7	16.2	12.7	5.6	4.1
1 男性 19~29 歳	25	60.0	36.0	16.0	0.0	24.0	12.0	28.0	4.0	8.0	8.0
2 男性 30 歳代	56	66.1	50.0	5.4	5.4	23.2	19.6	16.1	8.9	3.6	7.1
3 男性 40 歳代	39	71.8	30.8	17.9	5.1	17.9	10.3	2.6	12.8	2.6	5.1
4 男性 50 歳代	40	50.0	40.0	12.5	10.0	30.0	15.0	10.0	10.0	5.0	2.5
5 男性 60 歳代	76	21.1	19.7	32.9	27.6	32.9	18.4	10.5	2.6	3.9	5.3
6 男性 70 歳代以上	43	9.3	7.0	60.5	37.2	23.3	25.6	9.3	2.3	9.3	7.0
7 女性 19~29 歳	47	63.8	40.4	8.5	6.4	8.5	10.6	23.4	10.6	2.1	4.3
8 女性 30 歳代	81	24.7	37.0	22.2	18.5	21.0	24.7	14.8	39.5	3.7	6.2
9 女性 40 歳代	54	31.5	44.4	24.1	16.7	24.1	20.4	11.1	38.9	1.9	1.9
10 女性 50 歳代	105	19.0	32.4	28.6	37.1	20.0	24.8	21.0	10.5	7.6	1.0
11 女性 60 歳代	89	4.5	9.0	39.3	33.7	18.0	23.6	16.9	3.4	9.0	3.4
12 女性 70 歳代以上	34	0.0	2.9	58.8	20.6	11.8	20.6	26.5	0.0	8.8	0.0

(3) 不安、悩み、ストレスを解消できているか (付問 41-2)

「あまり解消できていない」が30.4%、「まったく解消できていない」が8.0%で、合わせて約4割が不安、悩み、ストレスの解消が十分にできていない。「うまく解消できている」は7.6%、「ある程度解消できている」は50.6%である。

「うまく解消できている」「ある程度解消できている」合わせた割合は、男女ともに40歳代で他年代よりも高い。男性19～29歳・70歳代以上、女性30歳代では他の年代より「まったく解消できていない」割合が高い。



(4) 不安、悩み、ストレスへの対処 (問 42)

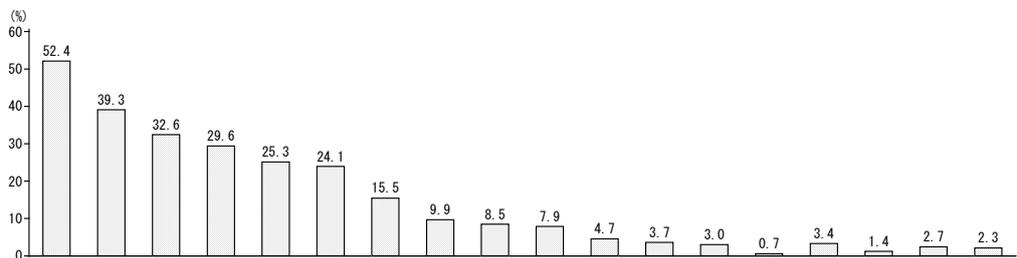
不安、悩み、ストレスへの対処方法では、「睡眠をとる、休養をとる」が52.4%で最も多い。以下、「趣味に取り組む」(39.3%)、「家族や仲間と過ごす」(32.6%)、「運動をする」(29.6%)、「読書や音楽鑑賞をする」(25.3%)、「好きなものを食べる」(24.1%)となっている。

「睡眠をとる、休養をとる」はいずれの年齢でも割合が高いが、特に女性40歳代で高い。「趣味に取り組む」は男性70歳代以上で高い。「家族や仲間と過ごす」は男性では19歳～29歳・30歳代、女性では19～29歳・30歳代・40歳代で割合が高い。「運動をする」は男性60歳代・70歳代以上で高い。「読書や音楽鑑賞をする」は男女とも19～29歳での割合が高い。

「どのようにしてよいかわからず、対処できていない」「相談先がわからず、対処できていない」は、男性30歳代が多い。

問 42 不安、悩み、ストレスにどのように対処しているか (複数回答)

□ TOTAL n=1,083

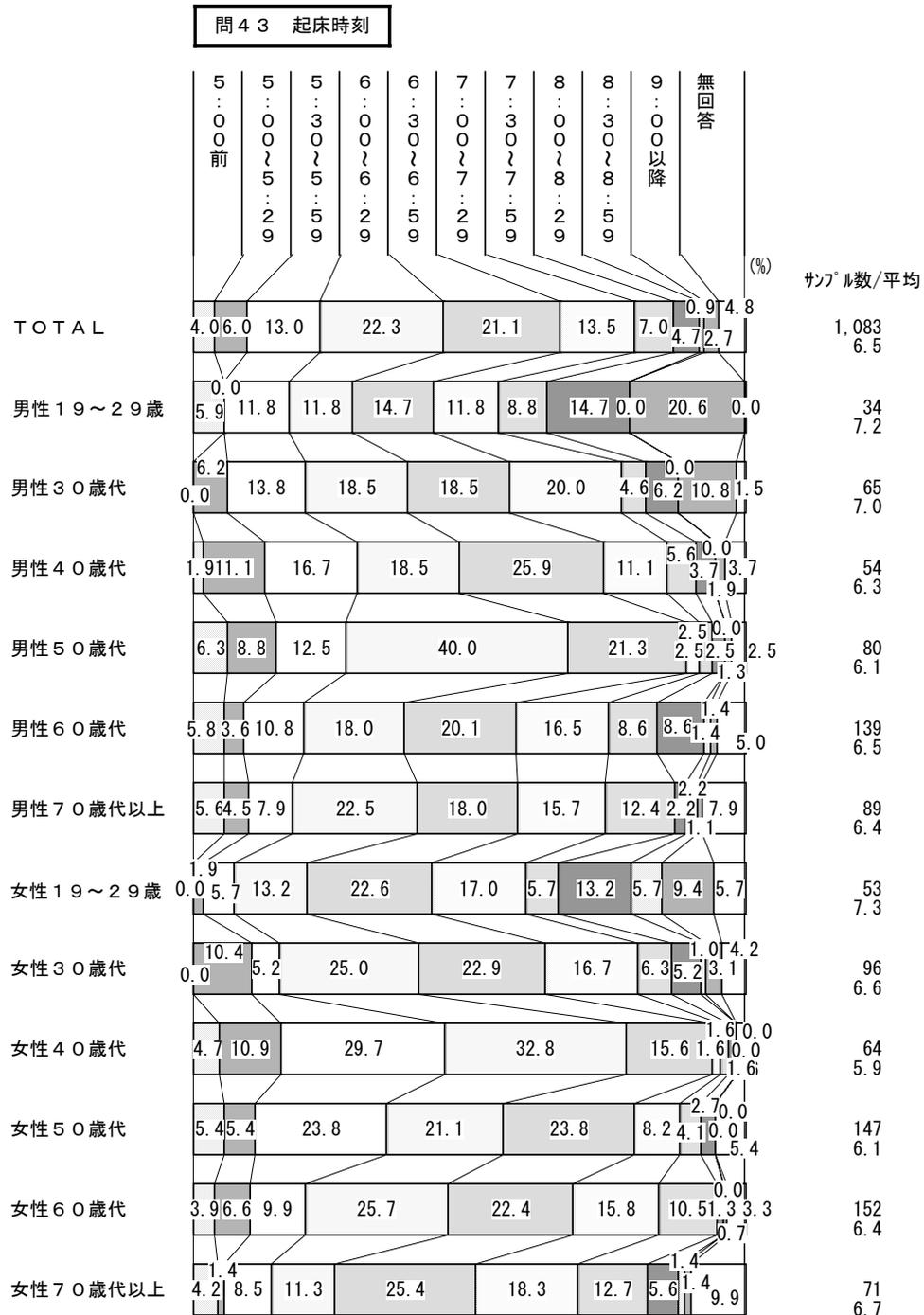


性別・年代別	n	4	3	8	1	2	5	7	9	13	6	14	10	12	11	15	16	17	18
		睡眠をとる、休養をとる	趣味に取り組む	家族や仲間と過ごす	運動をする	読書や音楽鑑賞をする	好きなものを食べる	お酒を飲む	ペットを飼う	病院・診療所を受診する	たばこを吸う	その場で対処した、対処して	インターネット上で相談をし	学校や職場等で相談する	市役所、保健所・保健センタ	どのようしてよいかわからず、対処でき	相談先がわからず、対処でき	不安い、悩み、ストレスは特に	無回答
0 TOTAL	1,083	52.4	39.3	32.6	29.6	25.3	24.1	15.5	9.9	8.5	7.9	4.7	3.7	3.0	0.7	3.4	1.4	2.7	2.3
1 男性19～29歳	34	61.8	44.1	47.1	26.5	35.3	32.4	14.7	2.9	5.9	11.8	5.9	5.9	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0
2 男性30歳代	65	56.9	40.0	52.3	27.7	15.4	23.1	35.4	3.1	1.5	24.6	4.6	3.1	6.2	0.0	7.7	4.6	1.5	0.0
3 男性40歳代	54	50.0	40.7	33.3	27.8	20.4	22.2	38.9	3.7	3.7	16.7	0.0	7.4	5.6	1.9	1.9	1.9	5.6	1.9
4 男性50歳代	80	55.0	36.3	23.8	35.0	16.3	10.0	25.0	11.3	3.8	7.5	6.3	5.0	3.8	0.0	5.0	1.3	3.8	2.5
5 男性60歳代	139	52.5	47.5	20.9	48.9	25.9	6.5	23.0	9.4	5.8	9.4	2.2	2.9	2.2	1.4	0.7	0.7	5.8	2.9
6 男性70歳代以上	89	46.1	49.4	11.2	39.3	31.5	7.9	16.9	11.2	11.2	4.5	2.2	2.2	0.0	1.1	3.4	0.0	2.2	3.4
7 女性19～29歳	53	60.4	37.7	54.7	11.3	35.8	52.8	20.8	9.4	3.8	7.5	1.9	3.8	9.4	0.0	3.8	1.9	0.0	3.8
8 女性30歳代	96	57.3	34.4	47.9	20.8	33.3	47.9	15.6	9.4	9.4	9.4	6.3	9.4	1.0	1.0	3.1	2.1	0.0	1.0
9 女性40歳代	64	75.0	34.4	46.9	18.8	29.7	42.2	9.4	15.6	3.1	9.4	4.7	3.1	14.1	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0
10 女性50歳代	147	55.8	29.9	36.1	20.4	23.1	27.2	8.8	13.6	9.5	3.4	5.4	4.8	3.4	0.0	4.8	1.4	0.7	3.4
11 女性60歳代	152	44.1	46.7	32.2	35.5	23.0	21.1	2.6	12.5	11.8	2.6	3.9	0.0	0.0	0.0	3.3	1.3	3.9	2.0
12 女性70歳代以上	71	40.8	35.2	22.5	22.5	23.9	26.8	0.0	7.0	23.9	2.8	5.6	2.8	0.0	2.8	1.4	0.0	4.2	0.0

(5) 起床時刻 (問 43)

起床時刻は、「6:00～6:29」が22.3%で最も多く、次いで「6:30～6:59」が21.1%、「7:00～7:29」が13.5%、「5:30～5:59」が13.0%である。

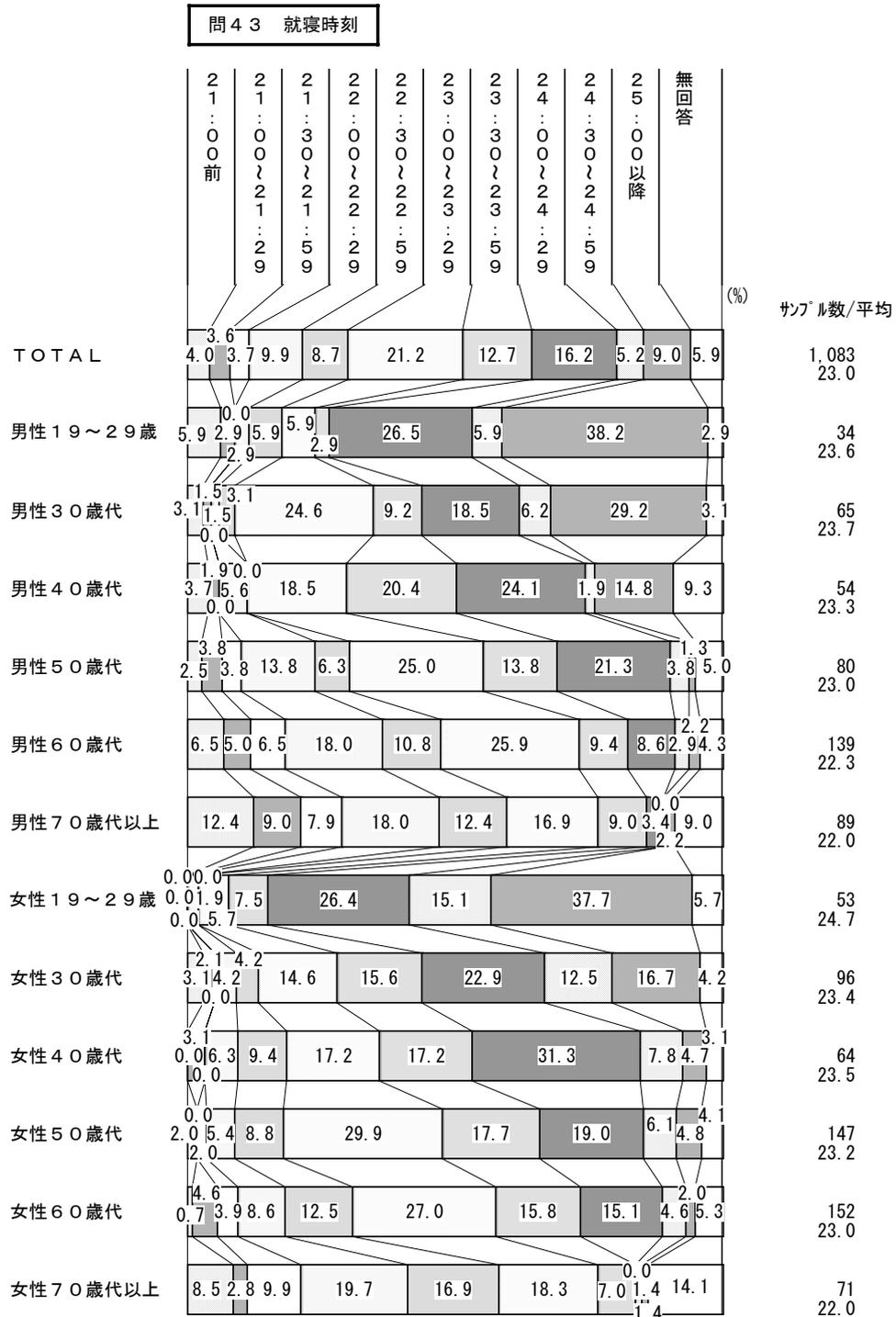
年代によって起床時刻に差があり、男性19～29歳では7時前の起床が44.2%、女性19～29歳では43.4%であるが、男性50歳代では7時前の起床が88.9%、女性40歳代では93.7%である。



(6) 就寝時刻 (問 43)

就寝時刻は、「23:00～23:29」が 21.2%で最も多く、次いで「24:00～24:29」が 16.2%、「23:30～23:59」が 12.7%である。

男女とも年齢が低いほど就寝時刻が遅い。「25:00 以降」は男性 19～29 歳で 38.2%、女性 19～29 歳では 37.7%である。



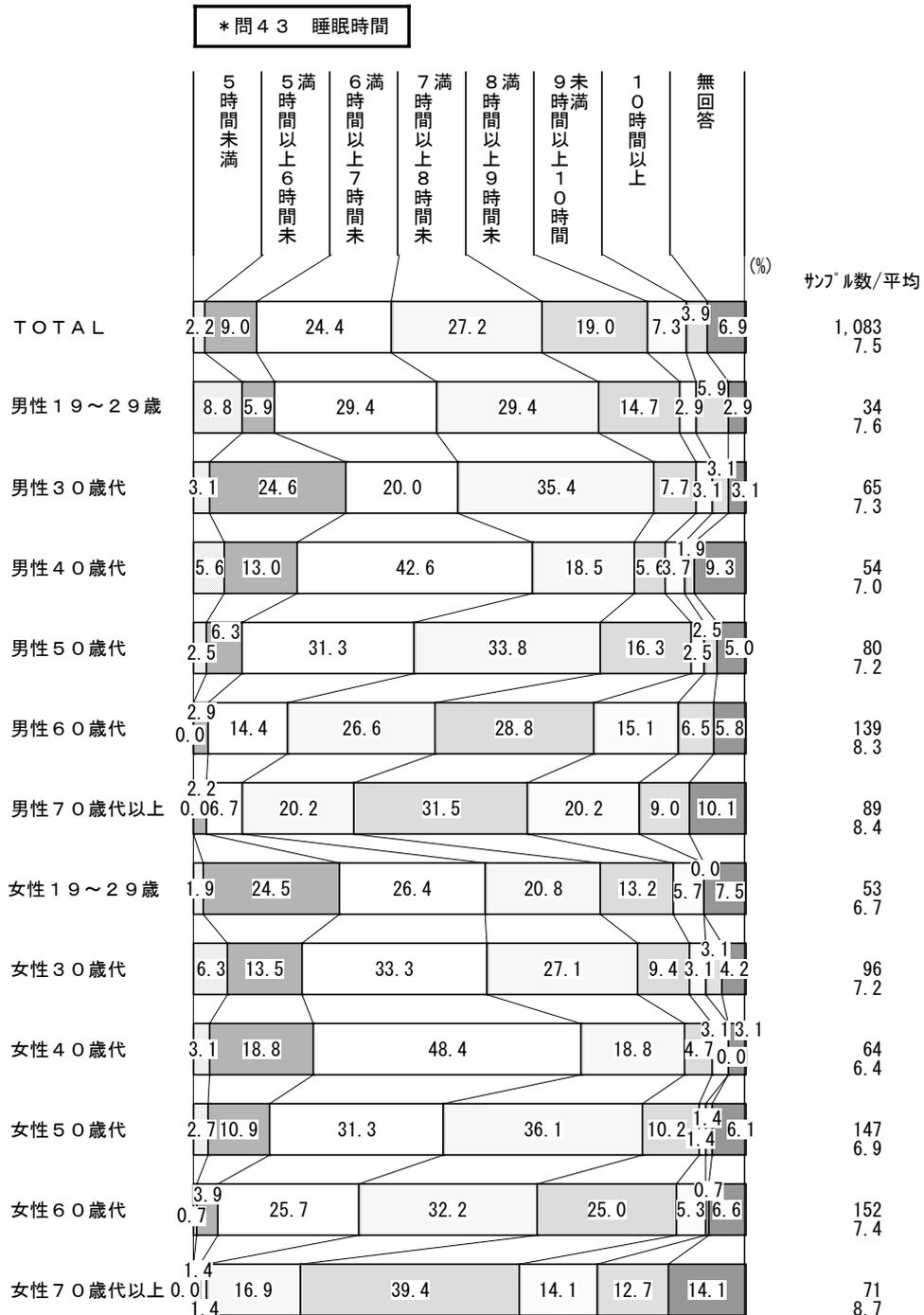
(7) 睡眠時間 (問 43)

問 43 の起床時刻と就寝時刻をもとに睡眠時間を算出した。

「7 時間以上 8 時間未満」が 27.2% で最も多い。次いで「6 時間以上 7 時間未満」が 24.4% である。

「5 時間未満」が 2.2%、「5 時間以上 6 時間未満」が 9.0% と、睡眠時間が 6 時間に満たない人は約 1 割である。

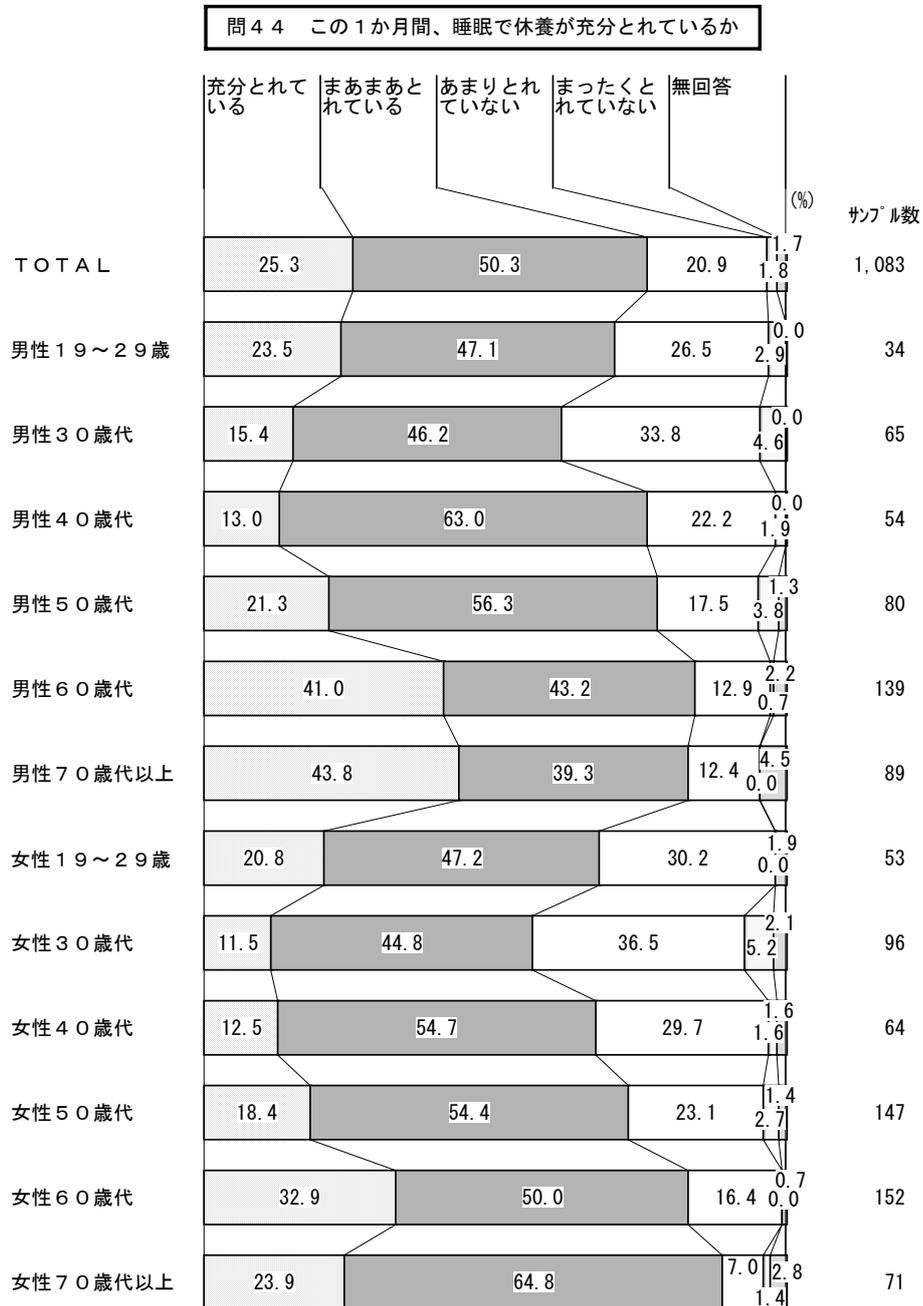
男女とも 40 歳代が最も平均睡眠時間が短い。



(8) 睡眠で休養が充分とれているか (問 44)

「充分とれている」が 25.3%、「まあまあとれている」は 50.3%で、合わせて 75.6% は休養がとれていると感じている。一方、「あまりとれていない」は 20.9%、「まったくとれていない」は 1.8%である。

「あまりとれていない」「まったくとれていない」は男性 30 歳代、女性 30 歳代で割合が高い。「充分とれている」はいずれの年代においても男性の方がやや割合が高い。

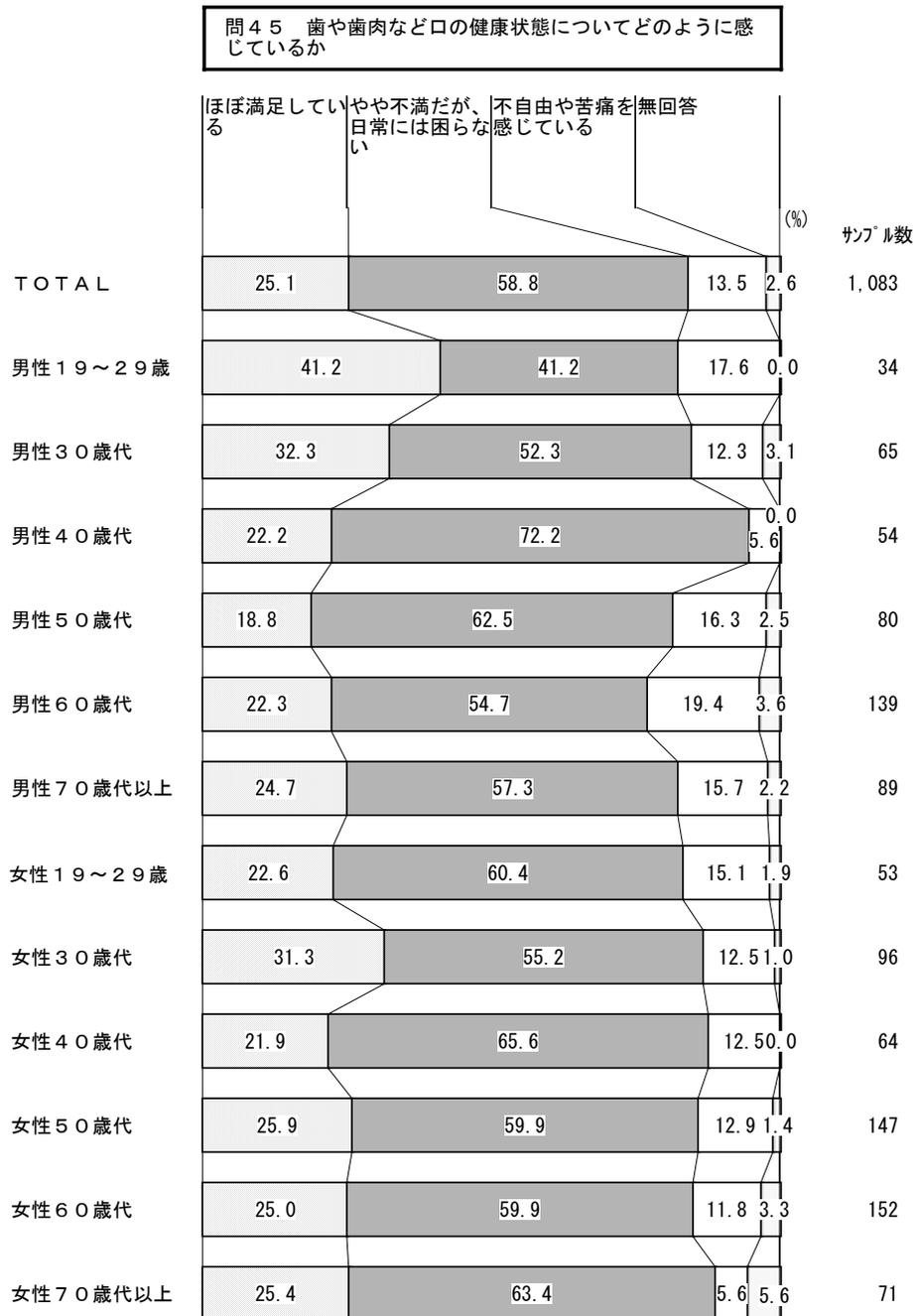


8 歯の健康について

(1) 自分の歯や歯肉など口の健康状態についての認識 (問 45)

「ほぼ満足している」が 25.1%、「やや不満だが、日常生活には困らない」が 58.8%、「不自由や苦痛を感じている」が 13.5%である。

男性 19～29 歳では「ほぼ満足している」が他の年代よりも割合が高い。「やや不満だが、日常生活には困らない」「不自由や苦痛を感じている」は男性では 50 歳代、女性では 40 歳代で割合が高い。



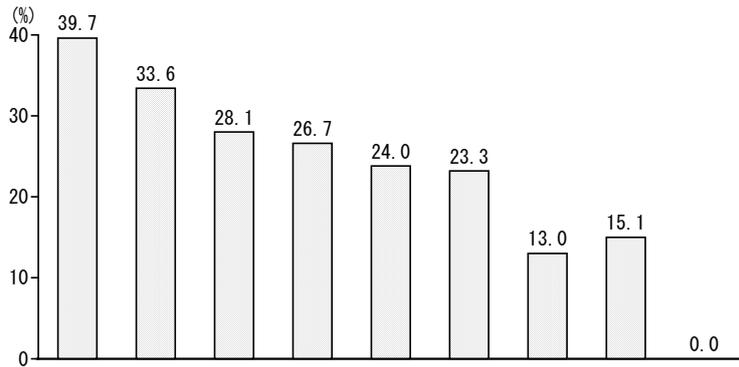
(2) 不自由や苦痛を感じる理由 (付問 45-1)

問 45 で、「不自由や苦痛を感じている」と回答した人に理由をたずねたところ、「歯肉が腫れたり、血が出る」が 39.7%で最も多く、次いで「食べ物がよくかめない」(33.6%)、「痛みがある」(28.1%)、「口臭がある」(26.7%)、「歯の色が気になる」(24.0%)、「歯並びが悪い」(23.3%)、「口内炎がしやすい」(13.0%)となっている。

「歯肉が腫れたり、血が出る」は、男性 30 歳代、女性 60 歳代で他年代より割合が高い。「食べ物がよくかめない」は 60 歳代以降で割合が高い。「痛みがある」は男性 30 歳代、女性 40 歳代で割合が高い。「口臭がある」は男性 30～40 歳代の割合が高い。「歯の色が気になる」「歯並びが悪い」は低年齢層で多く、男性より女性の方が割合が高い。

付問 45-1 不自由や苦痛を感じる理由 (複数回答)

□ TOTAL n=146



性別・年代別	n	1	6	7	2	5	4	3	8	9
		歯肉が腫れたり、血が出る	食べ物がよくかめない	痛みがある	口臭がある	歯の色が気になる	歯並びが悪い	口内炎がしやすい	その他	無回答
0 TOTAL	146	39.7	33.6	28.1	26.7	24.0	23.3	13.0	15.1	0.0
1 男性 19～29 歳	6	16.7	0.0	16.7	33.3	16.7	50.0	16.7	16.7	0.0
2 男性 30 歳代	8	62.5	25.0	50.0	50.0	50.0	25.0	37.5	12.5	0.0
3 男性 40 歳代	3	33.3	33.3	33.3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
4 男性 50 歳代	13	38.5	38.5	23.1	23.1	23.1	30.8	7.7	7.7	0.0
5 男性 60 歳代	27	40.7	48.1	18.5	29.6	7.4	11.1	11.1	11.1	0.0
6 男性 70 歳代以上	14	21.4	42.9	21.4	21.4	0.0	7.1	14.3	35.7	0.0
7 女性 19～29 歳	8	25.0	12.5	25.0	37.5	87.5	62.5	12.5	0.0	0.0
8 女性 30 歳代	12	25.0	0.0	33.3	25.0	66.7	50.0	8.3	16.7	0.0
9 女性 40 歳代	8	37.5	12.5	50.0	25.0	37.5	12.5	12.5	25.0	0.0
10 女性 50 歳代	19	42.1	26.3	26.3	21.1	26.3	31.6	15.8	10.5	0.0
11 女性 60 歳代	18	61.1	61.1	27.8	27.8	11.1	5.6	5.6	16.7	0.0
12 女性 70 歳代以上	4	25.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0

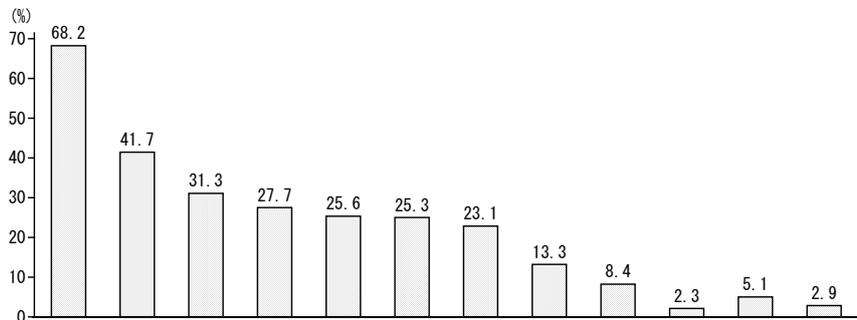
(3) 口の健康維持のために意識して行っていること (問 46)

口の健康維持のために意識していることでは、「1日1回はていねいに歯をみがいている」が68.2%で最も多く、以下「歯みがき剤を使うようにしている」(41.7%)、「デンタルフロスや歯間ブラシ、電動ブラシを使っている」(31.3%)、「歯ブラシはよく取り替えるようにしている」(27.7%)、「軽い力で磨くようにしている」(25.6%)、「歯科健診を受けるようにしている」(25.3%)、「ときどき歯石を取ってもらう」(23.1%)となっている。「特に意識していない」が5.1%である。

「1日1回はていねいに歯をみがいている」はいずれの年代も割合が高い。「歯みがき剤を使うようにしている」は男女とも19～29歳・30歳代が他の年代よりも高い。「デンタルフロスや歯間ブラシ、電動ブラシを使っている」は男性40歳代、女性30～60歳代で割合が高い。「歯科健診を受けるようにしている」は女性70歳代以上で割合が高い。

問46 歯や歯肉など口の健康維持のために意識して行っていること (複数回答)

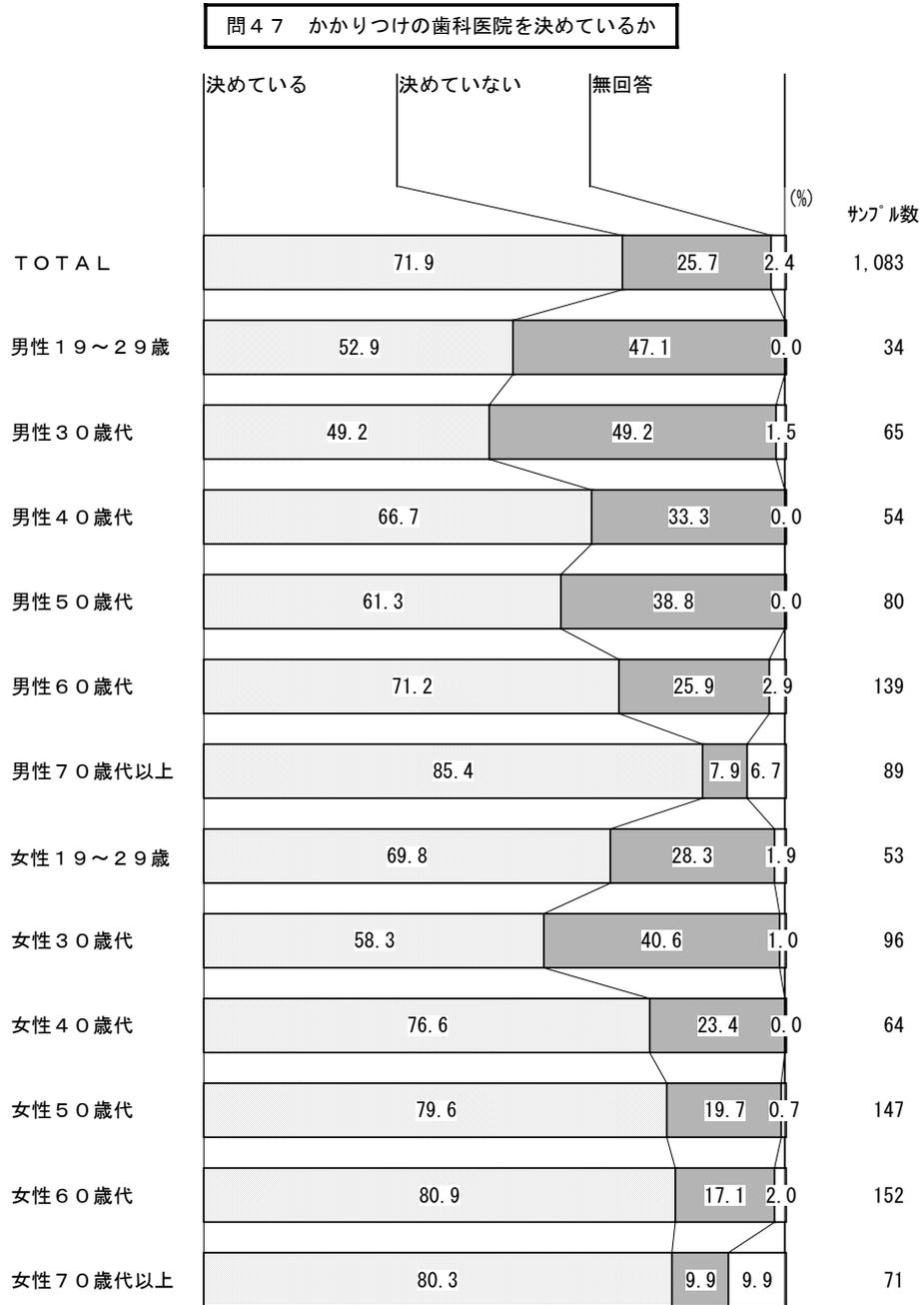
□ TOTAL n=1,083



性別・年代別	n	1	6	3	5	4	9	8	2	7	10	11	12
		1日1回はていねいに歯をみがいている	歯みがき剤を使うようにしている	デンタルフロスや歯間ブラシ、電動ブラシを使っている	歯ブラシはよく取り替えるようにしている	軽い力でみがくようにしている	歯科健診を受けるようにしている	ときどき歯石を取ってもらう	鏡などを観察して、歯や歯肉の様子を使っている	間食や甘いものを控えるようにしている	その他	特に意識していない	無回答
0 TOTAL	1,083	68.2	41.7	31.3	27.7	25.6	25.3	23.1	13.3	8.4	2.3	5.1	2.9
1 男性19～29歳	34	67.6	58.8	8.8	11.8	23.5	8.8	17.6	11.8	0.0	0.0	8.8	0.0
2 男性30歳代	65	70.8	55.4	29.2	12.3	9.2	9.2	9.2	12.3	6.2	0.0	3.1	3.1
3 男性40歳代	54	64.8	46.3	40.7	24.1	25.9	24.1	24.1	13.0	14.8	1.9	5.6	0.0
4 男性50歳代	80	60.0	31.3	25.0	20.0	22.5	18.8	20.0	3.8	8.8	1.3	8.8	1.3
5 男性60歳代	139	72.7	33.8	27.3	29.5	19.4	32.4	30.9	9.4	12.9	1.4	4.3	5.0
6 男性70歳代以上	89	69.7	38.2	27.0	23.6	25.8	22.5	25.8	7.9	10.1	5.6	3.4	4.5
7 女性19～29歳	53	69.8	54.7	11.3	22.6	26.4	17.0	13.2	15.1	1.9	0.0	5.7	1.9
8 女性30歳代	96	68.8	55.2	37.5	24.0	25.0	21.9	21.9	27.1	6.3	1.0	6.3	1.0
9 女性40歳代	64	70.3	50.0	37.5	37.5	35.9	25.0	21.9	20.3	4.7	1.6	9.4	1.6
10 女性50歳代	147	66.0	34.0	39.5	32.0	23.8	27.2	23.1	11.6	4.8	1.4	3.4	2.7
11 女性60歳代	152	70.4	39.5	38.2	34.9	36.2	30.3	27.6	15.1	8.6	3.9	3.3	1.3
12 女性70歳代以上	71	64.8	43.7	28.2	35.2	29.6	38.0	26.8	16.9	14.1	2.8	7.0	7.0

(4) かかりつけの歯科医院を決めているか (問47)

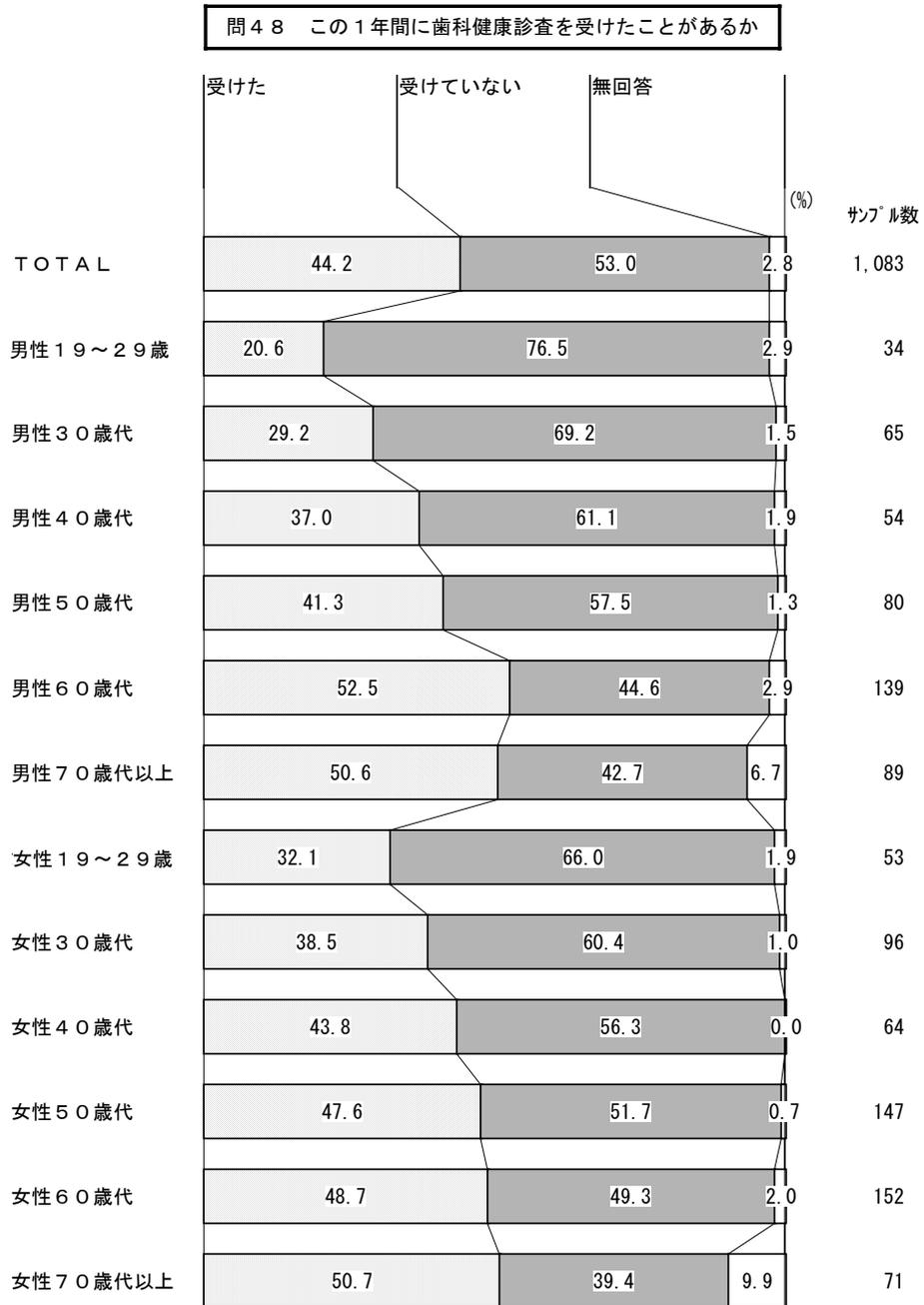
かかりつけの歯科医院を「決めている」が71.9%、「決めていない」が25.7%である。おおむね年齢が高くなるほど、「決めている」割合が高く、いずれの年代も男性の方が「決めていない」割合が高い。特に男性30歳代では決めていないが約5割である。



(5) 歯科健康診査の受診状況 (問 48)

この1年間に歯科健康診査を「受けた」が44.2%、「受けていない」が53.0%で、5割以上は未受診である。

おおむね年齢が高くなるほど、「受けた」割合が高い。男女とも19～50歳代までは「受けていない」が5割以上である。

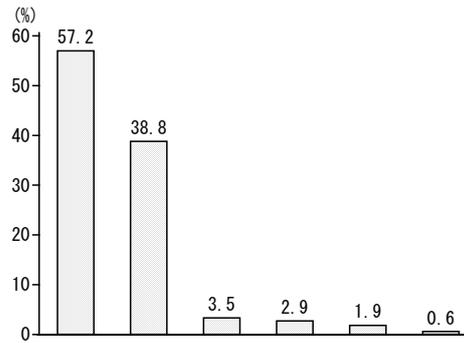


(6) 歯科健康診査の受診先 (付問 48-1)

問 48 で「受けた」と回答した人に、歯科健康診査をどのようなときに受けたかをたずねたところ、「歯科診療のついでに受けた」が 57.2%で最も多く、次いで「医療機関で定期的に受けている」が 38.8%、「学校や職場で受ける機会がある」が 3.5%、「市で実施している成人歯科健診を受けている」が 2.9%である。

付問 48-1 歯科健康診査をどのようなときに受けたか (複数回答)

□ TOTAL n=479

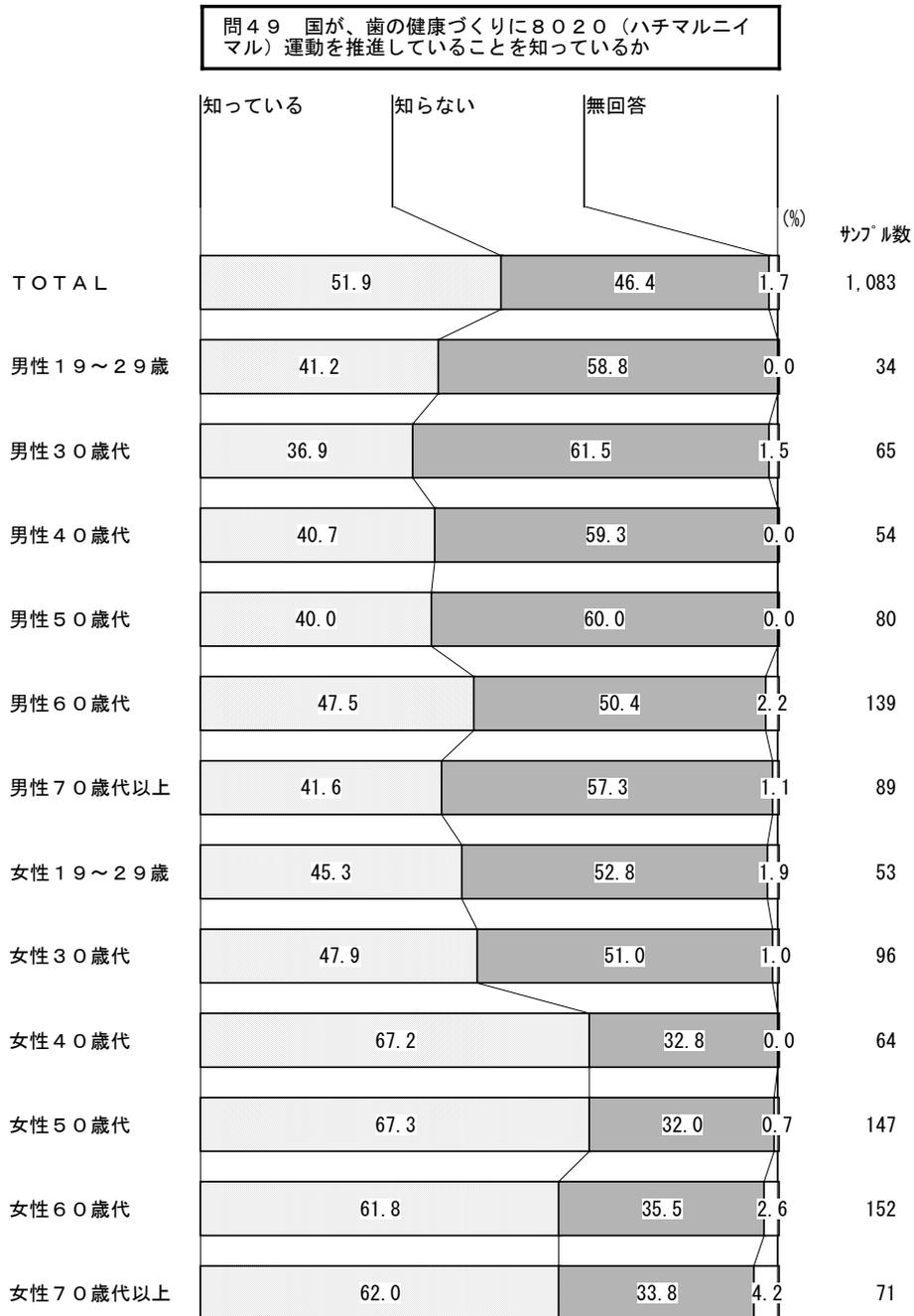


性別・年代別	n	3	2	4	1	5	6
		歯科診療のついでに受けた	医療機関で定期的に受けている	学校や職場で受ける機会がある	市で実施している成人歯科健診を受けている	その他	無回答
0 TOTAL	479	57.2	38.8	3.5	2.9	1.9	0.6
1 男性 19~29歳	7	57.1	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0
2 男性 30歳代	19	57.9	15.8	26.3	0.0	0.0	0.0
3 男性 40歳代	20	60.0	35.0	5.0	5.0	0.0	0.0
4 男性 50歳代	33	60.6	27.3	12.1	0.0	3.0	0.0
5 男性 60歳代	73	58.9	38.4	2.7	2.7	0.0	0.0
6 男性 70歳代以上	45	55.6	42.2	0.0	0.0	6.7	0.0
7 女性 19~29歳	17	76.5	11.8	11.8	5.9	0.0	0.0
8 女性 30歳代	37	54.1	43.2	0.0	0.0	2.7	2.7
9 女性 40歳代	28	50.0	39.3	0.0	7.1	3.6	3.6
10 女性 50歳代	70	51.4	44.3	4.3	1.4	4.3	0.0
11 女性 60歳代	74	54.1	48.6	0.0	5.4	0.0	0.0
12 女性 70歳代以上	36	63.9	41.7	0.0	2.8	0.0	2.8

(7) 8020 (ハチマルニイマル) 運動の認知 (問49)

「8020 (ハチマルニイマル) 運動」を「知っている」が51.9%、「知らない」が46.4%である。

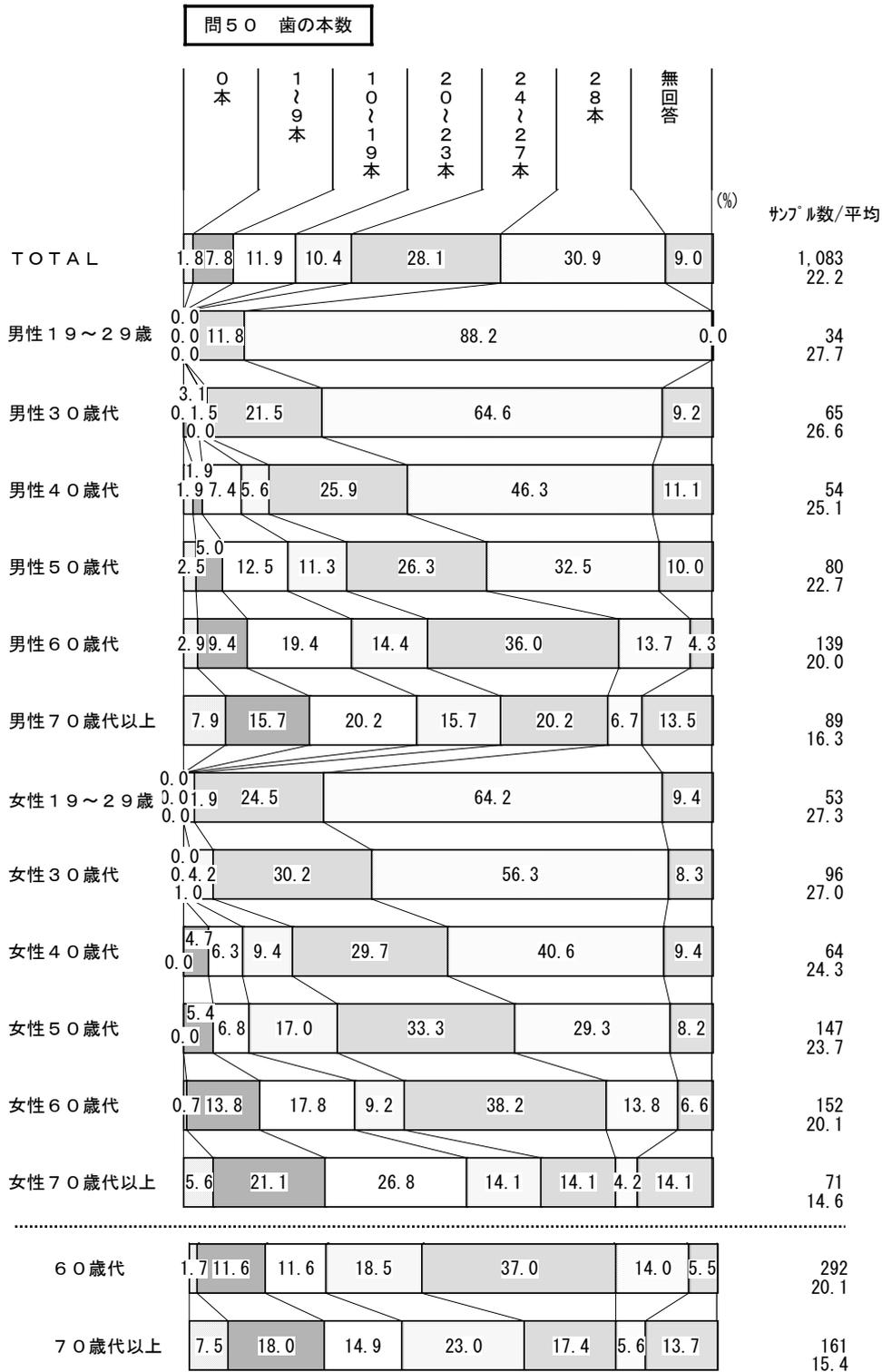
男性はいずれの年代においても、「知らない」の割合が「知っている」を上回っている。女性では19～29歳・30歳代では「知っている」は5割未満だが、40歳代以降では「知っている」が6割を超えている。



(8) 歯の本数

現在の歯の本数（親しらずは含まず）をたずねたところ、「28本」は30.9%である、「24～27本」は28.1%、「20～23本」は10.4%、「10～19本」は11.9%、「1～9本」は7.8%、「0本」は1.8%である。平均本数は22.2本である。

『6024』を達成している60歳代は51.0%である。平均本数は20.1本である。年齢が高くなるにつれて20本未満の割合が増え、男性70歳代以上では43.8%、女性70歳代以上では53.5%、70歳代以上の平均本数は15.4本である。



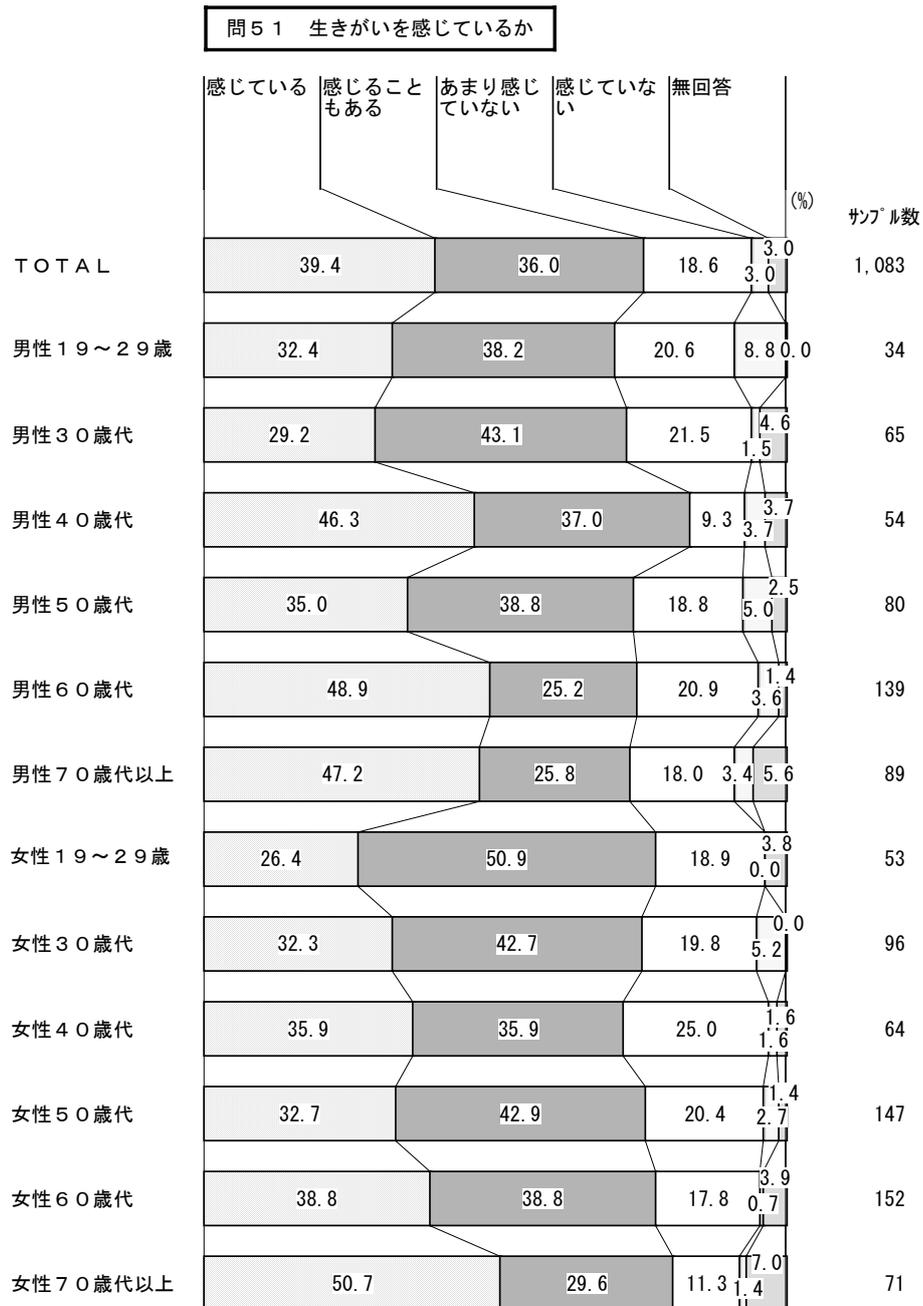
9 生きがいづくり、まちづくりについて

(1) 生きがいについて (問51)

生きがいを感じているかについて、「感じている」が 39.4%、「感じることもある」が 36.0%である。一方、「あまり感じていない」が 18.6%、「感じていない」が 3.0%で、約 2 割が生きがいを感じられていない。

「感じている」が最も高い割合だったのは女性 70 歳代以上で、50.7%である。次いで男性 60 歳代・70 歳代以上も他の年代に比べ高い。

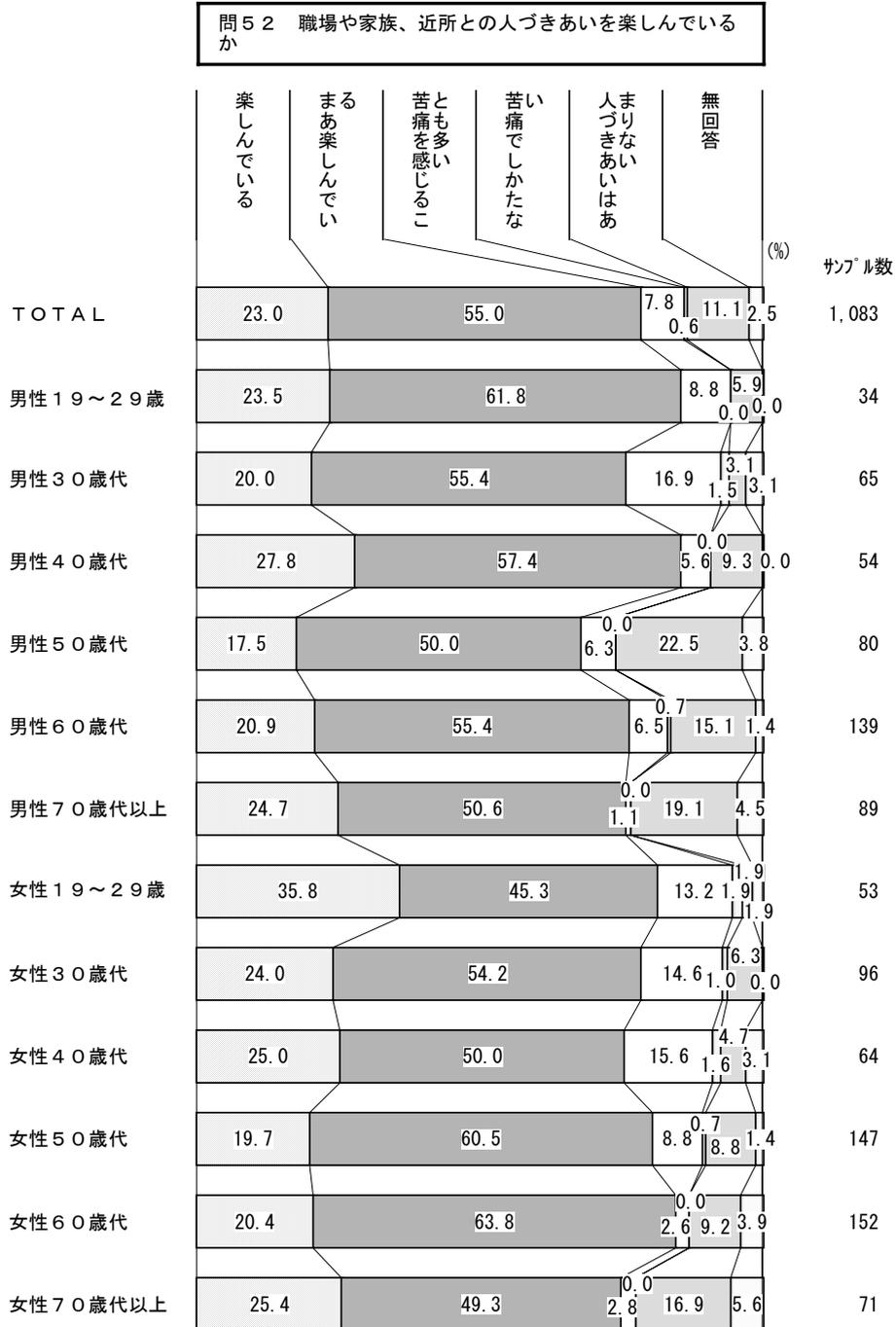
一方、男性 19～29 歳では「感じていない」が 8.8%で、約 1 割が生きがいを感じられていない。



(2) 職場や家族、近所との人づきあいについて (問 52)

「楽しんでいる」が23.0%、「まあ楽しんでいる」が55.0%で、約8割が肯定的にとらえている。「苦痛を感じることも多い」が7.8%、「苦痛でしかたない」が0.6%である。「人づきあいはあまりない」は11.1%である。

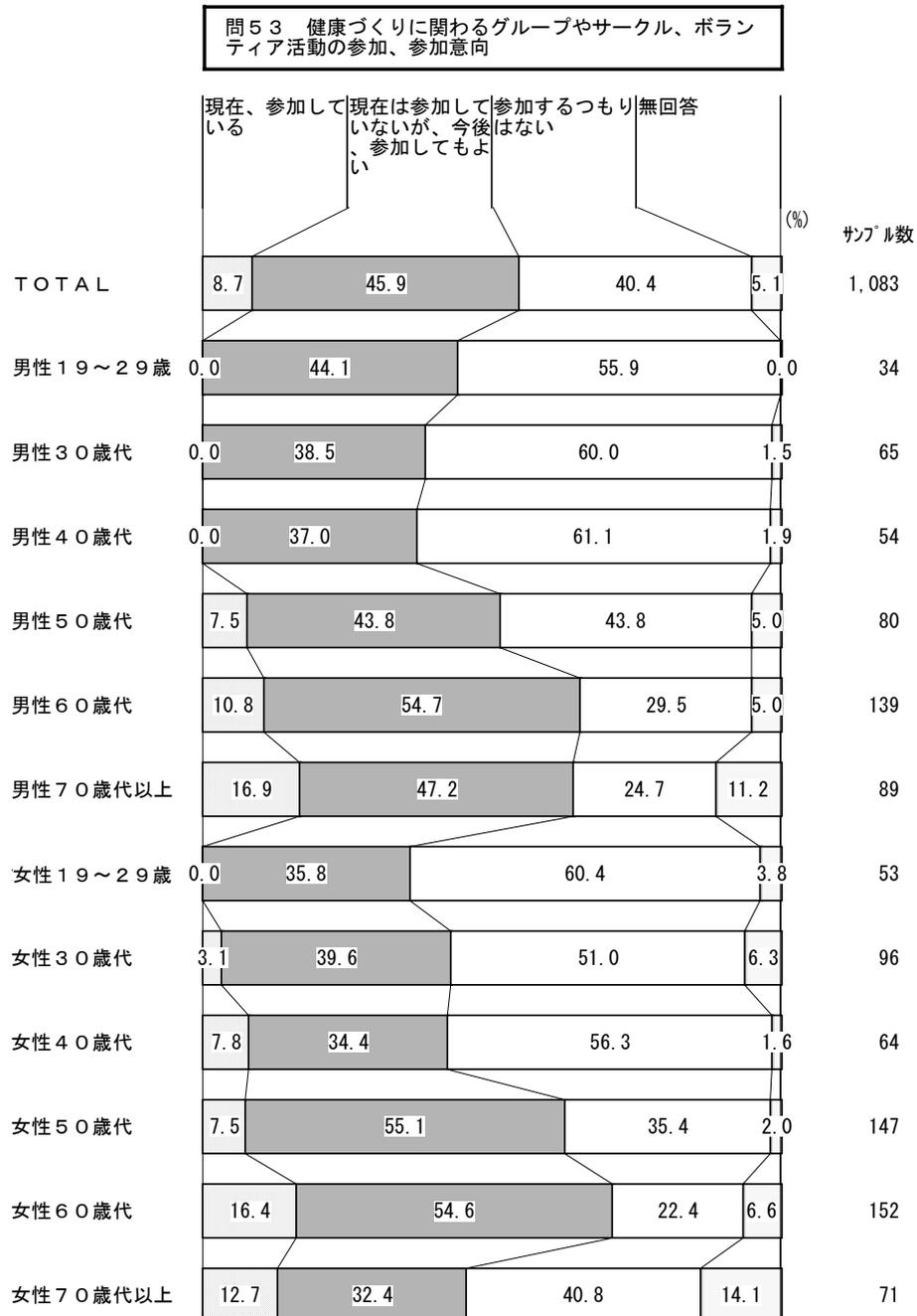
男性の方が「人づきあいはあまりない」と回答している割合が高く、男性50歳代では22.5%にのぼる。



(3) 健康づくりに関わるグループやサークル、ボランティア活動の参加状況、参加意向 (問 53)

現在の健康づくりに関わる活動への参加状況と、今後の参加意向をたずねた。「現在参加している」は8.7%、「現在は参加していないが、今後、参加してもよい」が45.9%、「参加するつもりはない」が40.4%、「参加するつもりはない」が40.4%である。

おおむね年齢が高いほど「現在、参加している」割合が高い。男性60歳代、女性50歳代・60歳代では、「現在は参加していないが、今後、参加してもよい」が他の年代より割合が高い。

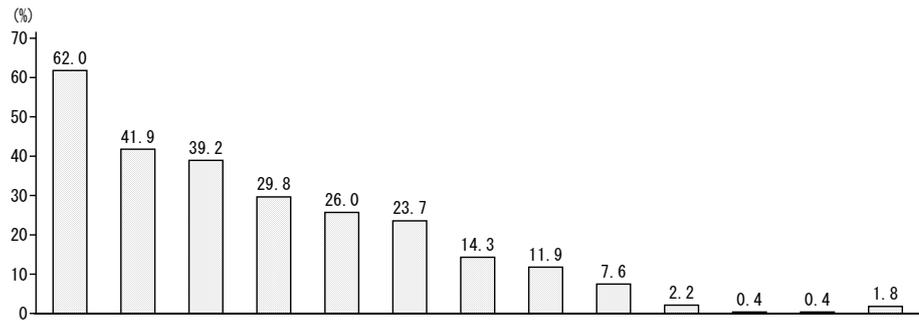


(4) グループ活動に参加するために必要な条件 (付問 53-1)

問 53 で、「現在は参加していないが、今後、参加してもよい」と回答した人に、問 53 のようなグループ活動に参加するために必要な条件をたずねたところ、「身近な場所で参加できる」が 62.0%で最も多い。以下、「自分の都合のよい時間帯に参加できる」(41.9%)、「自分や家族の健康づくりに役立つことができる」(39.2%)、「費用が手ごろである」が 29.8%、「専門家の指導が得られる」(26.0%)、「活動によって人間関係が広がる」が 23.7%である。

付問 53-1 グループ活動に参加するために必要な条件 (〇は3つまで)

□ TOTAL n=497

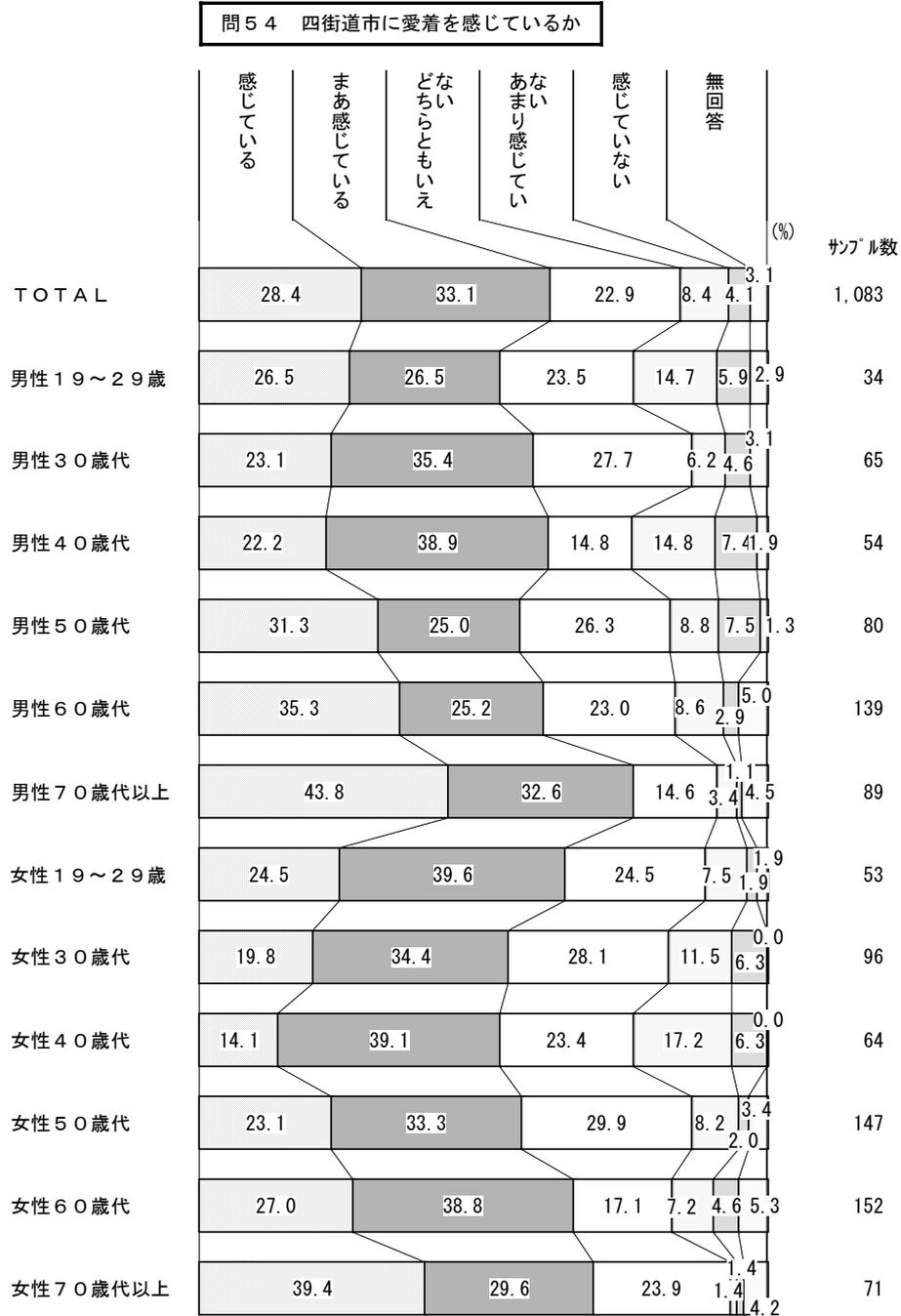


性別・年代別	n	2	5	1	3	4	6	7	9	8	10	11	12	13
		身近な場所で参加できる	自分の都合のよい時間帯に参加できる	自分や家族の健康づくりに役立つことができる	費用が手ごろである	専門家の指導が得られる	活動によって人間関係が広がる	気の合う人や同年代の人が多く参加している	自分の趣味や経験、知識が活かせる	取り組み内容についての情報が得やすい	家族をあらかじめ介助・介護が必要ない	その他	特になし	無回答
0 TOTAL	497	62.0	41.9	39.2	29.8	26.0	23.7	14.3	11.9	7.6	2.2	0.4	0.4	1.8
1 男性 19～29歳	15	60.0	20.0	33.3	26.7	40.0	40.0	13.3	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0
2 男性 30歳代	25	52.0	40.0	48.0	32.0	24.0	36.0	16.0	12.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0
3 男性 40歳代	20	65.0	60.0	35.0	25.0	10.0	20.0	20.0	25.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4 男性 50歳代	35	57.1	40.0	40.0	28.6	28.6	28.6	14.3	20.0	8.6	0.0	0.0	0.0	2.9
5 男性 60歳代	76	53.9	39.5	51.3	25.0	27.6	26.3	14.5	9.2	6.6	1.3	1.3	0.0	3.9
6 男性 70歳代以上	42	71.4	33.3	47.6	35.7	23.8	28.6	23.8	11.9	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0
7 女性 19～29歳	19	42.1	63.2	21.1	36.8	42.1	26.3	21.1	15.8	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0
8 女性 30歳代	38	55.3	50.0	26.3	34.2	23.7	15.8	10.5	5.3	2.6	15.8	2.6	0.0	2.6
9 女性 40歳代	22	63.6	63.6	22.7	45.5	18.2	18.2	18.2	4.5	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0
10 女性 50歳代	81	70.4	40.7	39.5	25.9	27.2	16.0	12.3	11.1	16.0	0.0	0.0	0.0	1.2
11 女性 60歳代	83	68.7	39.8	41.0	30.1	27.7	24.1	9.6	13.3	7.2	2.4	0.0	0.0	2.4
12 女性 70歳代以上	23	73.9	34.8	30.4	26.1	17.4	30.4	13.0	8.7	8.7	4.3	0.0	0.0	0.0

(5) 四街道市への愛着 (問 54)

四街道市に愛着を感じているかについて、「感じている」が 28.4%、「まあ感じている」が 33.1%で約 6 割が愛着を感じている。「どちらともいえない」が 22.9%、「あまり感じていない」が 8.4%、「感じていない」が 4.1%である。

男女とも 70 歳代以上で、「感じている」「まあ感じている」と回答している割合が高い。



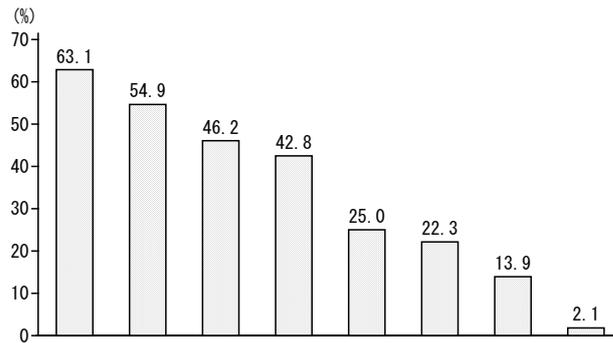
(6) 健やかに暮らすために特に重要だと思うこと (問55)

「年をとっても安心して暮らせること」が 63.1%で最も多く、次いで「病気にならず元気に生活ができること」が 54.9%、「生きがいをもって暮らせること」が 46.2%、「自分の健康を守るよう一人ひとりこころがけること」が 42.8%である。

「年をとっても安心して暮らせること」「病気にならず元気に生活ができること」は、女性の方がやや割合が高く、年齢が高いほど回答している割合が高い。「生きがいをもって暮らせること」は、若い年代で割合が高い。

問55 自身にとって、健やかに暮らすために特に重要だと思うこと (〇は3つまで)

□ TOTAL n=1,083

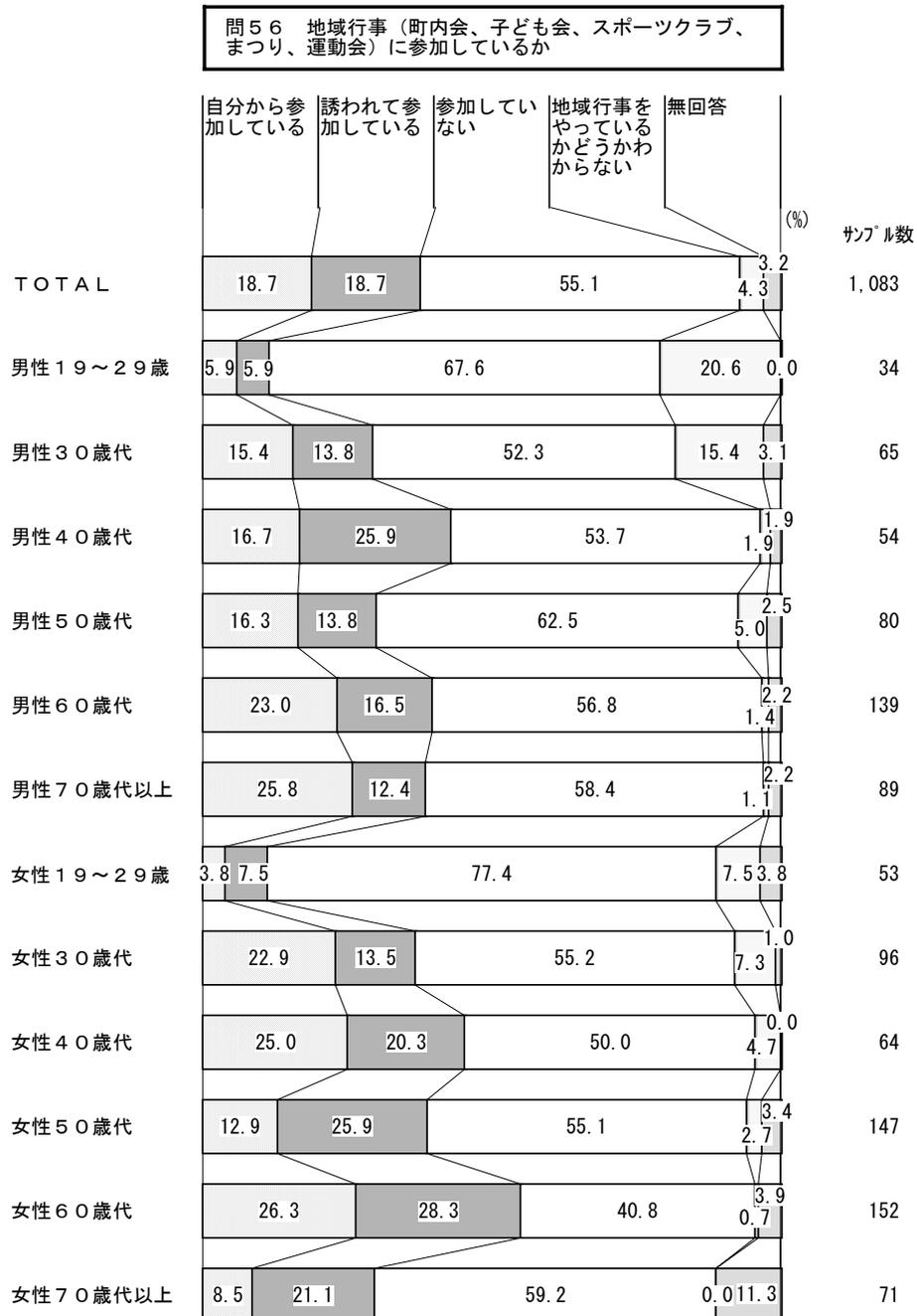


性別・年代別	n	3	7	2	1	6	5	4	8
		年をとっても安心して暮らせること	病気にならず元気に生活ができること	生きがいをもって暮らせること	自分の健康を守るよう一人ひとりがこころがけること	水や空気がきれいであること	自然が豊かであること	地域のつながりが密接であること	無回答
0 TOTAL	1,083	63.1	54.9	46.2	42.8	25.0	22.3	13.9	2.1
1 男性19～29歳	34	38.2	47.1	58.8	26.5	35.3	32.4	5.9	0.0
2 男性30歳代	65	47.7	58.5	61.5	29.2	24.6	13.8	15.4	1.5
3 男性40歳代	54	59.3	53.7	51.9	33.3	31.5	18.5	11.1	1.9
4 男性50歳代	80	55.0	57.5	42.5	37.5	22.5	33.8	12.5	3.8
5 男性60歳代	139	67.6	53.2	43.9	45.3	18.7	28.1	18.7	2.2
6 男性70歳代以上	89	61.8	44.9	36.0	55.1	22.5	22.5	18.0	3.4
7 女性19～29歳	53	56.6	39.6	50.9	34.0	39.6	28.3	17.0	1.9
8 女性30歳代	96	49.0	67.7	52.1	32.3	32.3	18.8	12.5	0.0
9 女性40歳代	64	68.8	56.3	59.4	31.3	25.0	23.4	15.6	0.0
10 女性50歳代	147	69.4	63.9	53.7	46.3	17.0	15.6	10.9	2.0
11 女性60歳代	152	74.3	52.0	38.8	50.0	25.7	21.1	15.1	2.0
12 女性70歳代以上	71	74.6	57.7	25.4	57.7	28.2	15.5	9.9	4.2

(7) 地域行事の参加状況 (問 56)

地域行事への参加状況をたずねたところ、「参加していない」が 55.1%で最も多い。「自分から参加している」が 18.7%、「誘われて参加している」が 18.7%、「地域行事をやっているかどうかわからない」が 4.3%である。

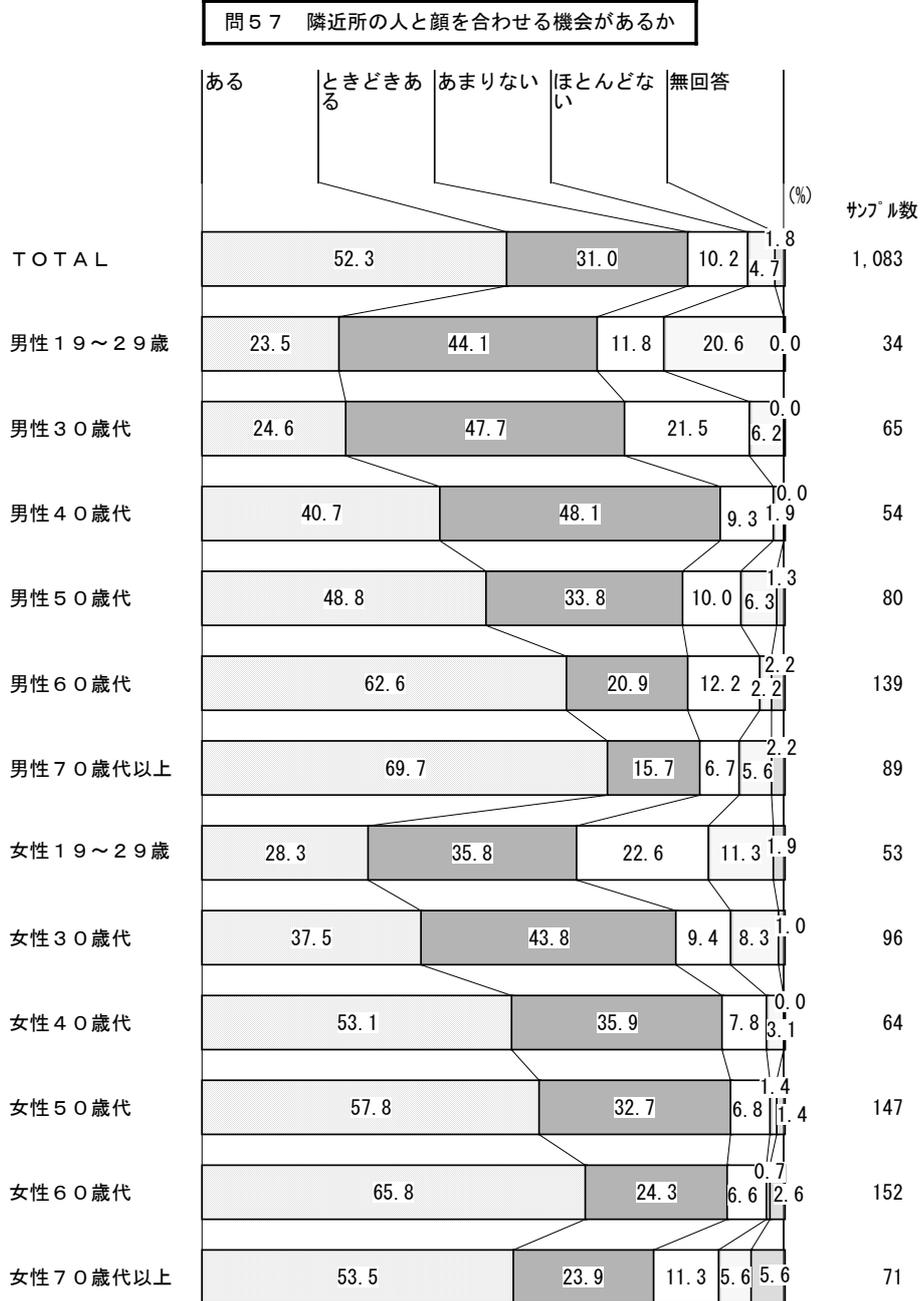
男性では、年齢が高いほど、「自分から参加している」割合が高く、女性では 30 歳代・40 歳代・60 歳代で他より割合が高い。男性 19～29 歳は「参加していない」「地域行事をやっているかどうかわからない」の割合が他より高い。



(8) 隣近所の人と顔を合わせる機会の有無 (問57)

隣近所の人と顔を合わせる機会が「ある」が52.3%、「ときどきある」が31.0%、「あまりない」が10.2%、「ほとんどない」が4.7%である。

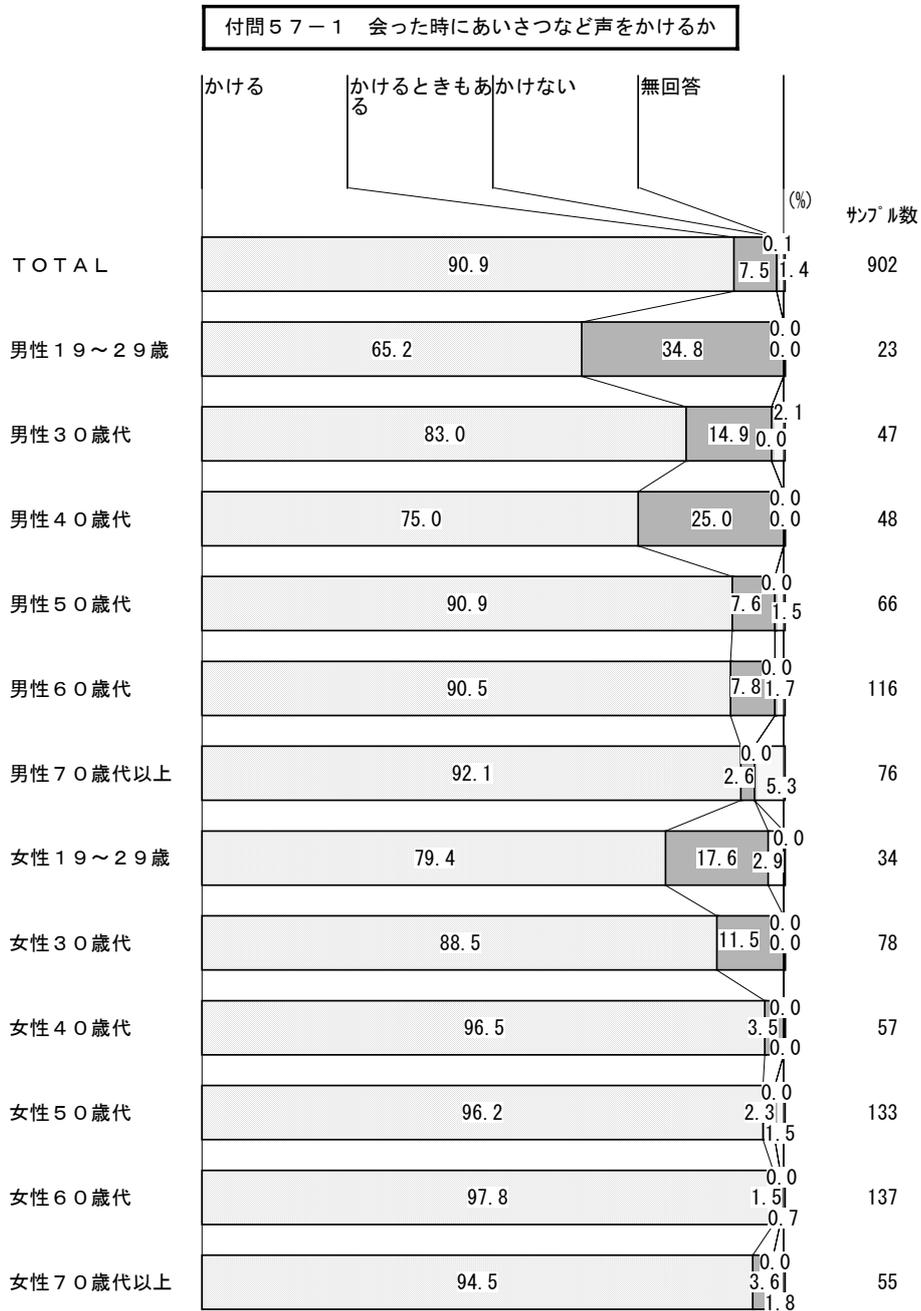
男女ともおおむね年齢が高いほど「ある」の割合が高い。男性19～29歳では「ほとんどない」が約2割にも及んでいる。



(9) 隣近所の人に出会った時のあいさつの状況 (付問 57-1)

問 57 で、「ある」「ときどきある」と回答した人に、会った時にあいさつなど声をかけるかたずねた。「かける」が 90.9%、「かけるときもある」が 7.5%である。「かけない」は 0.1%にとどまっている。

男性の方が「かけるときもある」の割合が高く、男性 19～29 歳・40 歳代で他の年代より割合が高い。



(10) 隣近所の子どもを気軽に注意できるか (問 58)

隣近所の子どもを気軽に注意できるかについて、「できる」は 46.8%、「できない」は 49.7%で、「できない」がやや多い。

男性では 40 歳代・70 歳代以上が「できる」の割合が他よりも高い。女性では 60 歳代・70 歳代以上が「できる」の割合が他の年代より高い。女性 19～29 歳は「できる」が 17.0%にとどまっている。

